



JAPAN
GAMES

わたSHIGA輝く国スポ

BASKET BALL

2025
10/3(金)7(火)

第79回 国民スポーツ大会 バスケットボール競技会

【競技会場】

- 大津市 滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)
- 野洲市 野洲市総合体育館
- 草津市 YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)



【主催】

公益財団法人 日本スポーツ協会・文部科学省・滋賀県

公益財団法人 日本バスケットボール協会・大津市・野洲市・草津市

国民スポーツ大会



国民スポーツ大会(国スポ)は、広く国民の間にスポーツを普及し国民の体力向上を図るとともに、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的として、毎年開催される国内最大の総合スポーツ大会です。

都道府県対抗で行われる正式競技・特別競技・公開競技のほか、年齢・性別・障害のあるなしを問わず、誰もが参加することができるデモンストラーションスポーツが実施されます。

第79回国民スポーツ大会

大会愛称

わたSHIGA輝く国スポ

選手、ボランティアをはじめ、滋賀県で開催するこの大会に関わるすべての人が、様々な場面で主役として光り輝き、夢や感動、連帯感を共有できる大会を目指します。

大会スローガン

湖国の感動 未来へつなぐ

「琵琶湖」を擁する湖国滋賀で生まれた感動が、この大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるようにとの願いが込められています。

大会マスコットキャラクター

琵琶湖に生息する固有種「ビワコオオナマズ」をモチーフにしたキャラクターです。



■ キャッフィー

どんくさいわりにチャレンジ精神が旺盛で何事にも一生懸命。子ども好きで人を楽しませることが大好きです。



■ チャッフィー

「キャッフィー」の幼なじみで、昔から仲の良い友達です。泳ぐことは得意ですが、陸のスポーツは少し苦手です。「キャッフィー」に教えてもらっています。

「キャッフィー」と「チャッフィー」を合わせて「キャッチ」。人の心をキャッチする、という意味が込められています。



目 次

あ い さ つ

公益財団法人日本スポーツ協会	会長 遠藤 利明	2
文部科学大臣	あべ 俊子	3
公益財団法人日本バスケットボール協会	会長 島田 慎二	4

歓迎のことば

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 実行委員会会長	滋賀県知事 三日月大造	5
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 大津市実行委員会会長	大津市長 佐藤 健司	6
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 野洲市実行委員会会長	野洲市長 櫻本 直樹	7
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 草津市実行委員会会長	草津市長 橋川 渉	8
一般社団法人滋賀県バスケットボール協会	会長 宇野 正信	9

規 程

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	10
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	11

役 員

大会役員	12
競技会役員	16
競技役員	19
競技補助員・競技会係員・競技会補助員	22

大会実施要項

総則	23
バスケットボール競技実施要項	42

式 典

表彰式 次第	50
--------	----

競 技

競技上の取り決め事項	54
競技日程	55
バスケットボール競技組合せ表	56
バスケットボールの競技の見方	58
都道府県別参加申込人数一覧表	60
参加監督・選手（成年男子・成年女子・少年男子・少年女子）	61

資 料

男女総合（天皇杯得点）成績一覧	85
女子総合（皇后杯得点）成績一覧	86
過去の成績一覧	87
会場案内図（滋賀ダイハツアリーナ・野洲市総合体育館・YMIT アリーナ）	89
関係機関連絡先一覧	105
広告・協賛一覧	106



あ い さ つ



公益財団法人日本スポーツ協会
会 長 遠 藤 利 明

約400万年の歴史を持つ日本最大で最古の湖である琵琶湖を中心に雄大な風景が広がり、古くから日本の文化や経済の先進地として栄えたここ滋賀県において、第79回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りです。

大会愛称である「わた SHIGA 輝く国スポ」のとおり、大会に関わる全ての方々が主役となり、光り輝くことができる大会となることを願っております。

スポーツは、目標に向かっての努力と達成感、そして観戦する人をワクワクさせ、楽しく、心を動かすものであるからこそ、人々を、社会を元気にする力を持ちます。

本年6月、14年ぶりに改正されたスポーツ基本法では、スポーツを「する」「みる」「ささげる」に加え、「集まる」「つながる」として明示されています。

厳しい予選を勝ち抜き、郷土の代表として集まったアスリートの皆様には、フェアプレーを通じて友情を深め、つながり、スポーツが楽しいものであることを体現いただき、開催地の皆様とも交流を深め、全国にスポーツの力と滋賀県の魅力を発信する伝道者になっていただければ幸いです。

さて、昭和21(1946)年にスタートした「国民体育大会」は、昨年「国民スポーツ大会」へ名称を変えて新たなスタートを切るなど、大きな変革期にあります。

日本スポーツ協会では、本年3月、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から示された「提言」に基づき、国民の皆様がこれまで以上にワクワクし持続可能な魅力ある大会となるよう、様々な改革に取り組んでいくこととしています。

結びに、本大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元滋賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



あ い さ つ



文部科学大臣

あ べ 俊 子

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ滋賀県において第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

滋賀県は、日本最大の湖である「琵琶湖」、四季折々の表情を見せる「伊吹山」等、美しく彩りある豊かな自然の魅力にあふれ、世界文化遺産である「比叡山延暦寺」や国宝「彦根城」等、歴史と文化が息づく県です。

昭和56年のびわこ国体以来44年ぶりの滋賀県での開催となり、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、本大会は、様々な場面で環境に配慮した取組を行い、スポーツの力を活用し、持続可能な社会づくりに貢献していくすばらしい大会となっています。「わた SHIGA 輝く国スポ」が、国民に夢と感動、連帯感を共有できる大会、また、開催地である滋賀県の活性化に資する大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や滋賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

昨年度は、パリオリンピック・パラリンピック競技大会が、今年度は東京2025世界陸上競技選手権大会、第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心はますます高まっているところです。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「わた SHIGA 輝く国スポ」の開催に当たり御尽力いただいた地元滋賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様への御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。



あいさつ



公益財団法人日本バスケットボール協会
会長 島田 慎二

このたびは「第79回国民スポーツ大会」バスケットボール競技が10月3日から7日までの期間、滋賀県で盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本大会は、国民スポーツ大会へ名称を変更し2回目の大会となります。公益財団法人日本スポーツ協会主導のもと、広く国民にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を図り、スポーツの推進と文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的に、昭和21年に開催された前身の国民体育大会第1回大会以降、長く我が国最大のスポーツの祭典として親しまれてきました。

今大会で示された「明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれるように」との想いは、まさにこれまで積み重ねてこられた本大会の歴史と意義を象徴するものでしょう。一方、当協会は「バスケで日本を元気に」の理念を掲げています。それらの想いを皆様がそれぞれの形に融合させ、そこから生み出される「活力」や「元気」をここ滋賀県から日本全国へ、そして未来へ向けて発信していただけますことを期待しています。

出場する選手・指導者の皆様におかれましては郷土の誇りをもって、日ごろ培った力をコート上で存分に発揮し悔いのないプレーを披露していただくとともに、スポーツに向き合う原点として、バスケットボールを大いに楽しんでいただきたいと思います。

結びに、公益財団法人日本スポーツ協会、滋賀県、大津市、野洲市、草津市、一般社団法人滋賀県バスケットボール協会の皆様をはじめ、本大会の開催にあたりご支援・ご尽力いただきますすべての皆様にお礼を申し上げますとともに、本大会の成功を祈念いたしましてごあいさつといたします。



歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
実行委員会会長

滋賀県知事 **三日月 大造**

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から選手・役員の皆様をはじめ多くの方々をお迎えし、ここ滋賀県において「わた SHIGA 輝く国スポ」を開催できますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、本大会の開催にあたり多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げます。

本大会は、「湖国の感動 未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれることを目指しています。

大会における共生社会の実現に向けた取組や環境配慮の実践、さらには心のこもったおもてなしなど、長年培ってきた滋賀ならではの視点により、みんなが輝く大会にしたいと考えております。

本県は、我が国最大の湖である琵琶湖をはじめとする豊かな自然環境や、古くから交通の要衝として栄えてきた歴史を有するとともに、先人が人と人、人と自然のつながりの中で育んできた文化が今も脈々と息づいています。是非、滋賀のリズムに触れていただき、心のリズムを整え、本県での滞在を楽しんでください。

選手の皆様方におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されますとともに、地域をこえた交流に触れ、本大会を思い出に残る素晴らしい大会にさせていただきたいと存じます。

結びに、本大会に関わる皆様の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げ、歓迎のことばいたします。



歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
大津市実行委員会会長

大津市長 **佐藤 健司**

わた SHIGA 輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会 バasketボール競技会」が、大津市にて盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。全国各地より参加される選手・監督、大会関係者の皆様をはじめ、大津市にお越しいただく方々を、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

わた SHIGA 輝く国スポ「第79回国民スポーツ大会」は、昭和56年の「びわこ国体」以来、44年ぶりに滋賀県での開催となります。大津市では、選手の皆様が最大のパフォーマンスを発揮できるように会場の準備を整えるとともに、応援のほり旗などの会場装飾づくりや地元食材を盛り込んだ「OTSU 国スポこだわり弁当」の献立づくり、市内にちりばめられた歓迎装飾など大津市民をあげたおもてなしでお迎えできるように取り組んでまいりました。

また、各会場では、ボランティアによる大津の銘菓などのふるまいのほか、特に子どもたちが様々なスポーツに興味を持ってもらえるように、選手の皆様の競技を観戦することに加え、競技体験などの企画も準備いたしました。スポーツの素晴らしさを体現・体感し、皆様の記憶に残るような大会となりますことを、心より願っております。

さて、琵琶湖の恵みと比良・比叡の山々の緑に囲まれた大津市は、紫式部ゆかりの地である石山寺や三井寺、世界遺産比叡山延暦寺などの自然と歴史が調和した、豊かな文化が息づく地域です。今年は琵琶湖疏水施設が国宝・重要文化財に、坂本城跡が国史跡にそれぞれ指定されるなど、改めてその魅力が注目されています。また、近江牛や文化庁の「100年フード」の認定を受けた大津のうなぎなどの滋賀県・大津市の特産品や郷土料理に加え、琵琶湖でのクルーズなどのアクティビティもお楽しみください。

結びに、本大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘を祈念申し上げます、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
野洲市実行委員会会長

野洲市長 **櫻本 直樹**

第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」バスケットボール競技会が、全国各地から選手・監督ならびに大会関係者の皆様をお迎えし、ここ野洲市で開催できますことは誠に光栄であり、野洲市民を代表し心から歓迎申し上げます。

野洲市は、滋賀県南部に位置し、北に日本最大の湖である琵琶湖を有し、南にはその美しさから「近江富士」とも称される三上山を望むまちで、弥生時代に使用された日本最大の「銅鐸」が発掘されたまちでもあります。市内には日本を代表する街道の一つである中山道が通り、江戸時代に朝鮮通信使が江戸へ赴くために通行した朝鮮人街道との分岐点もあります。近年では、京都や大阪といった大都市のベッドタウンとして、また、ものづくり企業の製造・研究拠点が集積するまちとして発展を続けてまいりました。令和10年には県立高等専門学校が開校予定となっており、産業のまちとしてさらなる発展が期待されているところです。

さて、野洲市での国民スポーツ大会（国民体育大会）開催は、今から44年前、昭和56年の第36回国民体育大会「びわこ国体」にさかのぼります。当時は滋賀県希望が丘文化公園にてラグビーフットボール競技が開催されました。今回の国民スポーツ大会では、正式競技3競技（県運営競技を含む）、公開競技1競技、デモンストレーションスポーツ2競技が本市で開催されます。選手・監督の皆様におかれましては、各都道府県の代表として、日ごろの練習の成果を存分に発揮され、実りある大会となりますことを心よりお祈り申し上げます。

また、大会期間中に全国各地からお越しになる皆様に心のこもったおもてなしでお迎えできるよう準備を進めてまいりました。今回の来訪をきっかけに湖国の食や自然の魅力に触れていただけますと幸いです。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、大会の成功を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば



わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ
草津市実行委員会会長

草津市長 **橋 川 渉**

第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」バスケットボール競技会が、ここ草津市で開催できますことを大変嬉しく思いますとともに、全国各地からお越しの選手や監督、関係者の皆様を、草津市民を代表して心から歓迎いたします。

「わた SHIGA 輝く国スポ」は、昭和56年に開催された第36回国民体育大会「びわこ国体」以来、44年ぶり2回目の開催となり、草津市ではバスケットボール競技をはじめとする5競技8種目の正式競技を行います。

また、バスケットボール競技会場である「YMITアリーナ（くさつシティアリーナ）」につきましては、「新たな『にぎわい』と『ALL くさつ』のスポーツライフの創造」を基本コンセプトとし、令和元年6月に供用開始以降、多くのスポーツ大会の会場として利用されてきました。

全国から訪れる多くの方々を心のこもったおもてなしで温かくお迎えするとともに、夢や感動、連帯感を共有できる大会となるよう、市民総参加で準備を進めてまいりました。

ふるさとを代表して出場される選手の皆様におかれましては、日頃の厳しい練習の成果を遺憾なく発揮されるとともに、本大会が、皆様にとって更なる飛躍と交流の場となりますことを期待しております。

草津市は、古くから東海道と中山道が分岐・合流する宿場町として、また交通の要衝として栄えており、当時の面影を残す貴重な史跡である「草津宿本陣」や、一年を通して数多くのスイレンの花を觀賞いただける「水生植物公園みずの森」、草津市の新しい観光スポットとして天井川であった廃川敷地を整備した、一年を通して四季折々の花が咲いている「草津川跡地公園」などにもお立ち寄りいただけると幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なる御尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様の御活躍を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



歓迎のことば



一般社団法人滋賀県バスケットボール協会

会長 宇野 正信

世界中を震撼させたコロナ禍を乗り越え、2023年に特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」が帰ってきました。昨年は装いも新たに第78回国民スポーツ大会「SAGA2024国スポ」が開催されました。

そして、今年には第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ 2025」が本県で開催となり、バスケットボール競技は天津市の滋賀ダイハツアリーナ、野洲市の野洲市総合体育館、草津市の YMIT アリーナを会場に開催する運びとなりました。

全国、各ブロックの大会を勝ち抜き本大会に出場されますチーム、選手、スタッフの皆さん、本大会への出場おめでとうございます。

皆さんがそれぞれの都道府県を代表して、天皇杯、皇后杯を目指し、競技別の得点を獲得するべく、より上位を目指して全力を尽くされることを願っています。

ご来場の皆様には、選手たちへの温かい応援をお送りいただき、スポーツの楽しさと感動を共に分かち合っていただければ幸いです。そのために、県協会を挙げて大会運営に努めてまいります所存です。

さて、本県は近畿の水がめ、母なる湖、琵琶湖を擁し、ユネスコ世界文化遺産比叡山延暦寺をはじめとして多くの国宝神社仏閣、東海道、中山道の観光名所など見どころがいっぱいです。ぜひこの機会に足を運んでいただき、滋賀のすばらしさを体感してください。

最後になりましたが、今大会の開催にあたり、多くのご支援、ご協力を賜ります各種団体の皆様、本大会を運営して下さる皆様方に、心より深く感謝申し上げ、歓迎のあいさつとさせていただきます。



天皇杯



皇后杯

国民スポーツ大会 天皇杯・皇后杯授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行なうものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに对应しなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



大会役員

令和7年7月31日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	あべ 俊子								
会長	遠藤 利明								
副会長	益子 直美	田中 不二夫		三宮 恵利子				森岡 裕策	
	室伏 広治	三日月 大造		河本 英典					
顧問	伊藤 雅俊	森 喜朗		橋本 聖子				安西 孝之	
	岡崎 助一	越川 均		坂元 要之				勝田 隆	
	室伏 由佳	村松 さやか		湯川 和之				植田 実	
	櫻井 由香	鹿島 丈博		吉岡 成子				石井 砂織	
	笠師 久美子	飯塚 悟		久保 正美				浦 美奈子	
	木平 芳定	中嶋 実		小寺 洋				桐木 陽子	
	旗生 康之	池田 めぐみ		工藤 保子				久保 直生	
	藤田 裕司	藤原 誠		室城 信之				金子 日出澄	
	貝瀬 智洋	森 晃		土橋 登志久				石丸 元国	
	多氣 洋平	井崎 洋志		鬼頭 有紀子				長谷川 洋子	
	吉田 長寿	齋木 尚子		多賀 恒雄				安藤 淳	
	上治 丈太郎	湧永 寛仁		上原 絵美				佐藤 健司	
	馬場 美香	山口 宏		南 和文				宮永 美寿津	
	千田 健一	中里 壮也		岡本 友章				大野 淳	
	加藤 出	田村 恒彦		蒔田 実				山崎 勝洋	
	浅見 敬子	山口 徹正		田中 伸周				村田 利衛	
	建部 彰弘	市野 保己		丸石 博美				中村 ゆり子	
	齋藤 良太郎	谷田部 和彦		木村 博美				井上 弘	
	今川 啓一	近藤 重和		池谷 正成				大澤 明美	
	古城 資久	小野 賢二		園山 和夫				中山 俊行	
	田中 徹	知念 かおる		出口 弘之				田邊 哲人	
	城門 政文	前川 恵		上杉 晃央				布村 幸彦	
	茂野 直久	生島 典明		大沢 陽子				谷藤 節雄	
	熊谷 幸一	千葉 玲佳		奥山 雅信				酒井 祐一	
	藤田 知巳	北條 俊明		田子 昌之				新井 彰	
	山崎 成夫	塩見 清仁		田名部 高雄				井出 仁博	
	今西 博一	中村 宏平		松本 智広				森山 健次	
	南部 則雄	福永 秀樹		高山 繁浩				山本 恭幸	
	増田 和彦	猪飼 敏		山本 誠三				松本 慎太郎	
	船田 一幸	奥田 晃		横尾 英祐				小西 浩三	
	近藤 一幸	堂本 ひさ美		河村 祐一				渡邊 浩三	



顧問	田中稔	馬越祐希	青木章泰	城戸英敏
	藤本武格	小柳元幸	辛木秀子	宮成康藏
	藤本格	岩元幸成	平良朝治	藤原正樹
	大河原嘉朗	川上隆弘	佐藤廣子	奈良久美
	小菅司孝	宇津木純子	菊部新一	小野中厚
	寺澤正邦	山口健行	武増子宏	野矢野和彦
	金城泰毅	赤松敦	有村治子	上野賢一郎
	茂里敏孝	浅野由紀子	北野裕子	小寺裕雄
	大岡隆史	嘉藤アレックス	武村展英	宮本和宏
	こやり信悟	村井泰彦	北村嘉英	小椋正清
	目藤定勉	草野聖地	杉浦和人	永深明子
	有森裕子	鈴木大地	宮本恒靖	深澤祐二
	坂田東一	三須和泰	仲間達也	川合俊一
	藤田直志	三屋裕子	富山英明	馬場益弘
	砂岡良治	金丸恭文	安道光二	河田正也
	豊田章男	千玄室	中村真一	牧島かれん
	村井満男	永谷喜一郎	真砂弘威	土田雅人
	町田幸男	大野正次	世耕弘成	笹川善弘
	番匠幸一郎	久保素子	丹羽秀樹	岩城光英
	寶馨	荒川裕生	小谷知也	達増拓也
	鶴田有司	吉村美栄子	北村清士	大井川和彦
	福田富一	遠藤祐司	大野元裕	熊谷俊人
	山本博浩	岡本伸浩	花角英世	新阿部八朗
	田口義隆	杉中谷多加	高野秀章	阿部藤歳
	西脇隆俊	高橋知史	大齋藤元彦	池田宗誠
	宮崎泉	林昭男	丸藤山達也	越田孝昌
	苺田知英	村岡嗣政	後藤田正純	榎田賢吾
	大塚岩男	服部誠太郎	山口祥義	大石康
	甲斐隆博	麻生益直	日隈俊郎	塩田康
	玉城デニー			
参与	井圭子	大杉住子	赤井康彦	有村國俊
	井狩辰也	今江政彦	岩崎和也	小河文誠
	小川泰江	奥村芳正	海東英浩	加藤真
	河井昭成	川島隆二	河村千代	桐田佳
	九里学	桑野仁		佐口惠



参	与	重田剛	柴田栄一	柴田清行	清水鉄次
		清水ひとみ	白井幸一	周防清二	菅沼利紀
		田中英樹	田中誠明	田中松太郎	谷成隆子
		谷口典隆	富波義明	中川雅史	中沢啓秀
		中山和行	野田武宏	節木三千代	本田秀樹
		村上元庸	木沢成人	森重重則	東村早苗
		岸本織江	土井真一	窪田知子	野村千春
		塚本晃弘	森村守人	園田達也	山田忠信
		東郷寛彦	中田暁久	中村佳隆	山吹田誠
		奥山光稔	藤原久晃	正木隆義	保田純二
		小林雅史	池内一成	原見宣義	北川裕貴
		佐藤健司	田島中高	浅見克啓	小西航純
		橋川直樹	森浦加代子	竹城国和	岩永純司
		堀江和良	西田善久	有村津堂	寺本昌弘
		久保祥二郎	藤田井義伸	甲藤智昭	堤村英明
		高熊正志一	市涌寺林幸太	岸金田戸恒	野武山西保
		山本真也	竹井野とし	山川三木野	上畑太忠
		一圓健太郎	石草富大	川三佐山	田市川千恵子
		高上赤山	大	崎	太
委	員	長			
副	委	員			
総	務	委			
		山本浩	田中秀和	辻野英弘	加藤光国
		岩田史昭	稲垣公博	笠野基和	三ヶ田礼一
		菅原哲裕	田吉橋誠	出崎内慎大	宇野栄博
		山澤利彦	佐橋弘治	田小澤島政	山野博
		熊谷千晴	加安高福	小西吉栗	佐野
		江橋克了	安高福	西吉栗	若月野
		青平野了夫	高福佐久	吉栗品喜	細濱野
		松本康圭	福佐久間	栗品喜	濱野
		渡邊淳	黒川重男	舟喜信生	高野
委	員				



委	員	中	梶	秀	則	安	藤	正	美	加	藤	憲	二	宮	川	良	輔
		鈴	木	章	広	川	口		巖	和	田		潔	岡	泉		茂
		田	口	大	祐	平	井	宏	治	岸	川	剛	之	西	原	斗	司
		菅	原	正	幸	高	橋		昇	長	南	哲	生	衛	藤	敬	輔
		渡	辺	久	雄	三	井	千	壽	鈴	木	信	吾	山	中	博	史
		井	本		亘	関	根	明	子	中	山	二	三	越	前	浩	司
		吉	田	由	美子	杉	本	好	二	東	野	眞	理子	川	口	雅	三
		金	子	和	裕	野	口	友	里	品	治	恵	子	富	澤	佑	也
		政	岡	航	大	坊		百	花	小	河	原	百	田	口	雅	紀
		寺	垣	佑	介	田	中	遥	大	宇	高	章	弘	沼	波		潤
		南	野	芳	広	池	本	佳	子	横	江	弘	昭	見	田	茂	紀
		門		久	仁裕	清	水	直	子	高	井	和	紀	大	貫	大	輔
		加	藤	雄	樹	鈴	木		敦	瀬	谷	尚	男	深	谷	祐	紀
		太	田	真	美	高	野	正	規	岩	埜	直	史	児	玉	晶	香
		金	田	貴	人	新	保		暢	戒		由	香	稻	葉	晴	伸
		村	松	達	也	井	澤	克	行	林		剛	史	木	原	哲	也
		杉	浦	美	紀	藤	田	隆	司	曾	我		学	前	田	康	博
		高	橋	健	二	吉	村	宗	浩	中	嶋	純	也	河	口	英	史
		松	本	守	正	松	本	綾	子	田	口	新	也	前	田	義	朗
		久	次	米	成	高	田	孝	行	辻	岡	英	幸	濱	本	昌	宏
		笠	井	康	行	尾	鷺	一	成	松	山	度	良	宮	城	直	人
		吉	野	賢	一郎	横	山	美	和	山	元	尚	史	菅	間	裕	晃
		高	野	瑞	洋	遠	藤	信	哉	千	葉	雅	也	竹	内	延	和
		須	藤	勇	司	角	田	眞	司	柄	澤	宏	之	菅	内	延	和
		東	瀬	義	人	酒	井	雅	洋	碓	井		稔	武	田	知	巳
		井	上		哲	今	後	元	彦	沼	田	守	弘	田	部	長	右衛門
		竹	内	俊	勝	松	井		守	吉	岡	直	彦	刈	谷	好	孝
		寺	崎	雅	巳	荒	木	健	治	平	江	公	一	黒	木	淳	一郎
		渡	嘉	敷	之	綾	部	吉	也								



競技会役員

令和7年9月29日現在
(順不同・敬称略)

名誉会長	佐藤健司	櫻本直樹	橋川涉	
会長	島田慎二			
副会長	多田明弘	高橋雅弘	宇野正信	小野清司
	山本博一	奥村芳正	伊藤義樹	吉川一仁
	岩城弘宜			
顧問	萩原一利	石黒一之	赤坂俊幸	佐々木桂二
	千田裕之	大神訓章	佐藤淳一	岡田裕昭
	小曾戸和彦	銭谷和雄	吉敷賢一郎	野村俊郎
	橋本信雄	半田真一郎	古谷昭彦	夏目敏
	鷲尾英一郎	野上浩太郎	青木隆	山岸俊一
	新井裕輔	田中敏博	加藤宣明	八木秀行
	福山哲郎	山岡秀雄	宮倉義輝	奥田晃
	南條輝志男	牧尚志	福田正明	辻尚志
	岡嶋鉄也	河村建夫	福井秀樹	出射隆文
	松尾和久	池康晴	祖岩亨道	中尾善蔵
	桑原洋征	加藤裕三	神戸博明	鮫島俊秀
	日越延利	草野聖地	山本剛	西村隆行
	鳥崎輝久	北脇泰久	藤田雅也	
参与	平井和博	三輪隆樹	杉澤和雄	山本茂喜
	松田秋子	箕浦博樹	大菅志濃夫	岡野博人
	岡本直輝	奥俊一郎	奥村和彦	原毅人
	川嶋典明	北川晴雄	清川佳子	草野圭司
	久保山寛	後藤明	西條義信	滋賀樹義
	七里源一	末松史彦	菅井孝明	諏訪武仁
	高木和久	茶谷不二雄	徳富敬一	西澤基治
	拜藤國彦	馬場健之	林三郎	藤野智誠
	堀井博樹	水野裕美	三和郁子	横田誠一
	若野哲夫	團初太郎	目片清明	安西将也
	中山敦生	野々口義信	富波義明	駒井朔男
	黒川孝治	小傳良輝男	馬場久昭	草川肇
	小林宣彦	東田敏郎	須田武志	尾松素樹
	服部和平	山本増夫	細川俊行	細川力男
	葉月陽	浜奥修利	栗野靖七	青山三四郎
	井元潔	奥村功徳	改田勝彦	笠谷洋佑
	嘉田修平	川口正徳	幸光正嗣	小島義雄



参	与	佐藤弘	杉浦智子	竹内照夫	竹内基二
田中知久	田中康博	谷祐治	出町明美		
寺田英幸	寺谷吉寛	川哲也	中田一孝		
八田憲児	林まり晶	原田優太	伴川えりな		
日隈慈	福永英晶	船本力美	森川垣誠亮		
森脇謙一	荒川泰宏	石川恵美	稲垣菅康子		
岩井智恵子	奥山文市郎	木下伸二	小東郷克己		
鈴木市朗	田中陽介	津村俊弘	山崎有子		
橋崎敦志	服部嘉仁	藤井三恵子	西田剛		
杉江昇郎	中嶋昭雄	西垣和美	瀬川裕海		
伊吹達郎	小野元嗣	横江政則	八木良人		
遠藤覚治	土肥浩資	井上俊士	服部利比郎		
田中香織	福田美徳	先成本晶	野村友和		
田村靖二	周防美智子	大西祐司	関理子		
本田亘美	瀬古良勝	南出久仁子	山崎玲子		
我孫子智美	森川等步	小辻川明直	國松睦久		
北濶弘康	田中昌幸	内川由紀子	初田一真		
苗村英和	小野昌生	中村昌克	菊池浩幸		
川嶋一郎	宿谷美幸	三坂則行	小高野早人		
岡堀弘典	清水昭彦	弓池秀一	川尻井文		
辻村拓巳	井出徹哉	小北田明美	駒岸本敏		
布施篤朗	中塚政和	田川一郎	金森川克彦		
角村昌良	北相合裕	太田浦辰巳	黒杉田貢		
野垣裕之	山本陽一	一福奥谷美津子	杉下池則浩		
高松弘泰	奥山敏良	原宮崎千鶴	萩菊田真		
福田三男	武村彰彰	宮田畑太郎	稲新木村欣		
武田正大	吉園実乘	田松尾房郎	北井上田康		
清河本英典	津田新嘉樹	中谷緑一	前藤原健		
木村善夫	北野佳樹				



参	与	二 宮 康 人	小 椋 正 清	こ や り 隆 史	田 濃 良 和
		石 井 智	久 保 洋 司	西 田 元	米 田 博 文
		岸 智 昭	田 矢 隆 一	人 見 和 宏	杉 原 真 也
		田 畑 太 郎	大 森 聖 一	八 木 正 樹	大 西 延 明
		北 川 有 紀	田 中 勉	金 子 博 美	前 川 賢 慈
		間 岩 太 郎	大 岡 敏 孝	川 端 達 夫	杉 田 浩 一 郎
		山 本 真 嗣	辻 幹 雄	永 石 利 行	宇 野 比 呂 久
		入 江 定 勝	辻 基 裕	前 川 聡	西 村 健 茂
		佐 野 孝 次	前 川 為 夫	川 口 ひ と み	永 田 高 司
		合 田 典 宏	浮 田 吉 浩	奥 村 展 秀	西 河 井 昭 成
		高 橋 敏 夫	若 吉 川 千 秋	片 岡 信 一	河 井 井 和 暢
		木 原 彰 彦	南 羽 田 賢 一		横 井 井 和 暢
		田 畑 泉			
競 技 会 委 員 長		渡 邊 信 治		上 田 秀 樹	大 塩 勲
競 技 会 副 委 員 長		野 村 貞 夫	中 村 幸 道		
		新 庄 貴 史			
競 技 会 委 員		増 田 博 徳	井 手 口 孝 子	鷹 野 志 穂	河 野 宏 子
		山 花 英 司	浜 田 敬 子	原 田 裕 花	及 川 晋 平
		大 江 修 子	守 屋 志 保	佐 野 正 昭	田 臥 勇 太
		大 神 雄 子	福 元 直 樹	五 十 嵐 慎 久	寺 田 均
		西 村 育 浩	大 音 健 司	山 本 茂 雄	小 田 柿 幸 男
		池 本 忠 好	岩 井 憲 吾	野 村 幸 生	田 中 優 志
		王 立 人 宏	平 川 清 士	川 端 竜 太	春 山 頼 子
		清 水 健 宏	吉 田 聡 和	森 地 信 晴	川 村 善 則
		木 村 九 九 則	齊 田 政 義	矢 野 廣 助	奥 村 恭 弘
		岡 森 正 人	木 澤 村 隆	田 中 桂 子	森 下 秀 巳



競技役員

令和7年9月1日現在
(順不同・敬称略)

総括	野村 貞夫						
副総括	五十嵐 慎久	福元 直樹	渡邊 浩二				
総務委員長	福元 直樹						
総務副委員長	田中 助典 (大津会場)	土屋 俊之 (大津会場)	児玉 庄次 (野洲会場)	花房 真夕 (野洲会場)	神谷 信広 (草津会場)		
	中西 祐二 (草津会場)						
総務委員 (大津会場)	野村 幸生	保田 弥生	國門 香奈恵	奥田 信子	西澤 春菜		
	山内 幸	芝山 公子	柳田 功	箕浦 司			
(野洲会場)	上林 敏恵	三田村 宏一	川上 竜樹	三添 研司	福永 博和		
	長 彩	甲藤 雅彦	甲藤 見取				
(草津会場)	五十嵐 愛	氏原 尚子	服部 藍	吉岡 佐記子	津賀 美恵子		
	寺町 直記						
放送・式典委員長	春山 頼子						
放送・式典副委員長	正木 幸子 (大津会場)	濱頭 めぐみ (野洲会場)	村山 由美 (草津会場)				
放送・式典委員 (大津会場)	安井 奈津子	宮島 佳子	吉川 真由美	上田 桃子	丹治 ころろ		
	赤井 七海						
(野洲会場)	井野 美帆	福井 道昭	西野 知恵子	濱頭 風花			
(草津会場)	西川 麻起子	津田 江利子	福永 裕子				
競技委員長	五十嵐 慎久						
競技副委員長	三澤 裕	中澤 亨	増田 博徳	西村 育浩 (大津会場)	西澤 毅 (大津会場)		
	山本 茂雄 (野洲会場)	片岡 秀教 (野洲会場)	宮本 博夫 (草津会場)	大音 健司 (草津会場)			
競技委員 (大津会場)	奥村 公滋	足立 亮	黒崎 浩暉	結城 郁	野田 宏		
	尾村 崇浩	隼瀬 憲一郎					
(野洲会場)	井上 隆宏	成瀬 宙元	小林 富美一	岩波 正樹			
(草津会場)	大前 雅裕	中島 正登	佐々木 健一	門松 亜実	藤原 恵子		
	石見 寧那						
会場施設委員長	安富 太介						
会場施設副委員長	岩井 憲吾 (大津会場)	川西 尚二 (野洲会場)	小森 正人 (野洲会場)	草野 翔 (草津会場)	辻 尚樹 (草津会場)		



会場施設委員 (大津会場)	藤村 享史 久保 志帆	川端 竜太	望月 健司	種子田 孝彦	戸島 康博
(野洲会場)	中村 幸道	田中 延美	松岡 健太		
(草津会場)	木村 正邦	園内 久仁彦	草川 透	南部 康弘	
審判委員長	前田 喜庸				
審判副委員長	小澤 勤	上田 篤拓	田中 優志		
審判委員	堀田 幸一 武藤 沙紀 柳生 志乃 伊藤 亮介 飯尾 勝紀 早崎 康祐 汐野 壱歩 北山 拓海 川路 宗勅 鈴木 恵里奈 赤井 正史 田中 真規 今 正之 渡邊 浩二 外川 雄介 奥田 耕士 大前 雅裕 鉢窪 駿斗 森 拓哉 石塚 三穂子 上田 聡一郎 岡本 健 西村 拓也 福田 真由美 小森 脩矢	土門 亮太 北村 仁 小畑 治 大倉 哲也 辻 健太郎 深野木 慧 東谷 昌弥 新居田 はなの 加藤 毅 真下 香子 嶋田 博昭 相澤 慎之介 上西 星太 松原 伊吹 田村 拓己 宮田 光博 長井 一哉 中川 大州 杉江 功多 片岡 秀教 麻原 七星 多賀 伸治 竹村 優輝 増井 洸介	板谷 修平 津田 弥子 大野 哲広 浅野 祐樹 嶋崎 貴 小松 綾実 栗山 一平 石井 寛都 陳 海登 山下 大輔 木村 裕也 加藤 始 佐藤 慎士 山本 毅 高木 圭 小西 由依 岡本 貴文 山本 貴彦 石見 寧那 朝比 寿子 宮腰 周 藤田 權也 西銘 鉄矢 田中 友美子	丸山 詩織 山田 佳奈 富島 健司 小出 聡子 嶋崎 尚美 河崎 亮介 笹川 尚宏 高畑 昇平 堂國 和昭 大溝 貴広 塚本 圭右 佐多 裕樹 堤 健太郎 山本 聡 中村 隼規 松井 悠美 苗村 幸弘 中西 大延 福井 大輝 西市 村峻介 梶井 貴弘 薦 公雄 田中 麻子	了舟 文弥 野田 宏樹 細見 竜太 那須 弘幸 幡丸 登志久 伊達 桃子 矢野 涼介 石川 淳也 西川 恵輔 高木 悠 花谷 慎子 田上 敬一 加藤 加織 玉木 真 岡本 健太郎 飛戸 洋美 加藤 善明 麻田 優 保知 星河 杉元 勇仁 小森 裕紀子 佐藤 曜始 川邊 祥史 中村 真理子
TO委員長	王 立人				
TO副委員長	和嶋 陽一	横江 光 (大津会場)	松居 哉 (野洲会場)	東出 俊一 (野洲会場)	能登 聖太 (野洲会場)
	馬場 恵子 (草津会場)	沢井 芳崇 (草津会場)			



TO委員 (大津会場)	山本浩之 徳原真也 漣 夢大	田中利弘 村松秀太 山本隆一	福田 遼 安江初月 吉永海渡	西村大輝 小森隆浩	梶本祥史 花城一誠
(野洲会場)	北村祐貴	田濃 南	日根野秀平	小西信昭	中島友希乃
(草津会場)	木本章紀 藤原純平	篠原朋宏	成谷洸香	横江英彦	鉢窪駿斗
記録・報道委員長	小関優花				
記録・報道副委員長	豆田浩一 (大津会場)	森 敏浩 (野洲会場)	北居 雅 (草津会場)	西村亮太 (草津会場)	
(サブスコア担当)	中畑俊平 (大津会場)	西田幸司 (大津会場)	穂上太郎 (大津会場)	志富田直喜 (野洲会場)	野田咲幸 (野洲会場)
	平川清士 (草津会場)	北村菜央 (草津会場)			
記録・報道委員 (大津会場)	寺西慶通	岡田裕也			
(サブスコア担当)	川越康平	箕形明香里	河原崎祐嗣	楠本雅司	加藤 樹
(野洲会場)	木部岳詩	水原祥雄	山中理夫	瀧 亮太郎	高尾 昂
(サブスコア担当)	石黒加奈	久松なつき	高橋聖香	藤吉真希	
	保知星河	中村将士	右近詩歩	松居茂雄	西垣和英
(草津会場)	浅川雄大				
(サブスコア担当)	山本剛規	石原加奈	村沢和志	本多美紗希	
	日下部 春	山本龍之介	西川悠麻	脇 友美	佐治瑞穂
	谷口晋吾	武田有菜			
総合成績計算委員長	山花英司				
総合成績計算副委員長	品田奥義	石坂雅彦			
総合成績計算委員	小林萌子	神谷陸斗			



競技補助員・競技会係員・競技会補助員

競技補助員

【滋賀ダイハツアリーナ(成年男子・少年男子)】

- びわこ成蹊スポーツ大学女子バスケットボール部
- 滋賀県立東大津高等学校男子バスケットボール部
- 滋賀県立石山高等学校男子バスケットボール部
- 滋賀県立瀬田工業高等学校男子バスケットボール部
- 滋賀県立大津商業高等学校男子バスケットボール部
- 滋賀県立大津商業高等学校女子バスケットボール部
- 滋賀県立河瀬高等学校男子バスケットボール部
- 滋賀県立彦根翔西館高等学校男子バスケットボール部
- 滋賀県立玉川高等学校男子バスケットボール部
- 滋賀県立大津高等学校放送部
- 滋賀県立草津東高等学校放送部

【野洲市総合体育館(成年女子)】

- 滋賀県立八幡商業高等学校女子バスケットボール部
- 滋賀県立八幡高等学校女子バスケットボール部
- 滋賀県立彦根工業高等学校男子バスケットボール部
- 滋賀県立彦根東高等学校男子バスケットボール部
- 滋賀県立守山高等学校放送部

【YMITアリーナ(少年女子)】

- 滋賀県立国際情報高等学校男子バスケットボール部
- 滋賀県立国際情報高等学校女子バスケットボール部
- 滋賀県立玉川高等学校女子バスケットボール部
- 滋賀県立石山高等学校女子バスケットボール部
- 滋賀県立東大津高等学校女子バスケットボール部
- 滋賀県立草津高等学校男子バスケットボール部
- 近江兄弟社高等学校女子バスケットボール部
- 滋賀県立国際情報高等学校放送部

競技会係員・競技会補助員

競技会係員(実施本部)

- わたSHIGA輝く国スポ・障スポ
- 大津市実施本部一同
- 野洲市実施本部一同
- 草津市実施本部一同

競技会補助員

- 大津市ボランティア一同
- 野洲市ボランティア一同
- 草津市ボランティア一同



総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

滋賀県で開催する第79回国民スポーツ大会「わた SHIGA 輝く国スポ」は「湖国の感動未来へつなぐ」をスローガンに掲げ、年齢、性別、障害のあるなしを問わず、すべての人が様々な場面で主役として光り輝くとともに、大会を通じて湖国滋賀で生まれた夢や感動、連帯感が、大会に関わるすべての人の心に刻まれ、明日への活力、未来への希望として将来にわたって引き継がれる大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技 (37 競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技 (7 競技)

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ (26 競技)

インディアカ、ウォーキング、ウォーキングフットボール、小倉百人一首競技かるた、カローリング、還暦軟式野球、キンボールスポーツ・レクリエーション、里湖で地域を結ぶウォーキング、スポーツウエルネス吹矢、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ拳法、スポーツチャンバラ、スリースマイルゴルフ、スローイングビンゴ、ソフトバレーボール、ネットでポンポイ、ノルディック・ウォーク、ひこねスーパーカロム、ビリヤード、フットサル、マリンスポーツフェスティバル、ミックスバレーボール、モルック、ユニカール、ユニホック、ラジオ体操第3（初代・二代目）

(4) 特別競技 (1 競技)

高等学校野球



2 会期および会場地

(1) 正式競技・特別競技 (15市、4町:計19市町)

会 期	会 場 地
2025年9月28日(日) ～10月8日(水) 〔11日間〕	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、大阪府豊能郡能勢町、兵庫県三木市
2025年9月6日(土) ～9月15日(月) 〔10日間〕	大津市、長浜市、草津市 ※水泳、体操、バレーボール(ビーチバレーボール)競技会は上記会場地で実施
2025年9月21日(日) ～9月25日(木) 〔5日間〕	東近江市、京都府向日市 ※自転車(トラック・レース、ロード・レース)競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技 (7市:計7市町)

会 期	会 場 地
2025年8月23日(土) ～9月21日(日)	長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市

(3) デモンストラレーションスポーツ (13市、1町:計14市町)

会 期	会 場 地
2025年4月12日(土) ～9月14日(日)	大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、多賀町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2025年1月1日から2025年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動(ドーピング検査およびアンチ・ドーピング教育活動)は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」および別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」(TUE)の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名および親権者の署名がある同意書を所持すること。



5 参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準

選手および監督の参加資格、所属都道府県および選手の年齢基準は、次のとおりとする。
なお、参加資格については、「第79回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県および年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手および監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」または「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理および難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

[注] 上記(ウ) b について、大学および専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理および難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手および監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）とスポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 2023年開催の特別大会または第78回大会（都道府県大会およびブロック大会を含む）において選手または監督として参加した者は、次の場合を除き、2023年開催の特別大会または第78回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚または離婚に係る者

[注] a および b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）



- e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
 - (イ) 少年種別
 - a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者
 - b 結婚または離婚に係る者
 - c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

 - d JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
 - e 東日本大震災に係る参加資格特別措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
 - f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。
- オ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会および本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。
- カ 選手および監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。
- キ 選手、監督ならびに本部役員帯同のスポーツドクターおよびアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。
- ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。
- (ア) 都道府県大会およびブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
 - (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
 - (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。
- ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。
- (2) 所属都道府県
- 所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。
- ア 成年種別
- (ア) 居住地を示す現住所
 - (イ) 勤務地
 - (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）
- [注] 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。



イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2025年4月30日以前から本大会終了時(2025年10月8日)まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、または通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

- ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。
 - (ア) 成年種別に参加する者は、2007年4月1日以前に生まれた者とする。
 - (イ) 少年種別に参加する者は、2007年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者とする。
 - (ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2025年4月1日を基準とする。
- イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2010年4月2日から2011年4月1日までに生まれた者）とする。

- (4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会および当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する。



6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

- (1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績(天皇杯得点)および女子総合成績(皇后杯得点)とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものに加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

[注] 「種別」:種別などに与える競技得点 「種目」:種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会(ブロック大会を含む。)に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

- (2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。
ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。
- (3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

- (1) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。
- (2) 冬季大会および本大会で実施した全正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。
- (4) 各正式競技の男女総合成績および女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。
- (5) 各競技の各種別および各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員(監督を含む)の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、さらにその都道府県名と個人名を記載したもの、または都道府県名とチーム全員(監督を含む)の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。



8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県スポーツ協会会長（代表者）および競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会またはブロック大会において選抜された者および公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締切日	競 技
2025年 8 月20日(水) 【12 競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
2025年 9 月 4 日(木) 【27 競技】	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局

ウ わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ各競技会場市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団（視察員を除く）を派遣する都道府県スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。



区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3,000 円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	6,000 円

〔注〕 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県スポーツ協会に取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2025 年 9 月 5 日(金)

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。

12 都道府県選手団本部役員編成

(1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア 参加選手 500 名以上の場合、団長、総監督および総務ほか、計 20 名以内とする。

イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合、団長、総監督および総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ 参加選手 300 名未満の場合、団長、総監督および総務ほか、計 10 名以内とする。

(2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。

(3) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。

(4) 上記(1)および(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

(5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)および(2)による人数を上限とする。

(6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2025 年 9 月 4 日(木) までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

(1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2026 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定または内定している県については、青森県 100 名以内、宮崎県および長野県 60 名以内、群馬県および鳥根県 40 名以内とする。



- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2025年9月4日(木)までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 ADカードの交付

都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督および役員、大会役員・競技会役員および競技団体が指定した競技役員、大会主催者および競技会主催者が認めた者にはADカード（Accreditation Card）を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付されたADカードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報および肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ各競技会場地市町実行委員会および国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報および肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラムおよび競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体および報道機関等による新聞・雑誌および関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載



- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等】
- (2) 肖像権に関する取り扱い
- ア 写真
- 国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがある。
- イ 写真（写真撮影企業等）
- 国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。
- なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。
- ウ 映像
- 国スポ関係機関・団体またはこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映およびインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。
- (3) 対応
- ア 承諾の確認
- 大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
- なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。
- イ 役員等
- 大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者および大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会およびブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会および中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。
- なお、日本スポーツ協会および中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。
- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。
- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。
- なお、参加は1人1競技に限る。
- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会および当該主催団体が協議の上、作成する。
- なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において



別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。
- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。
- (7) 競技運営に差し支えない限り、滋賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会および都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会および本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員ならびにその他選手団役員とする。
- (2) 大会参加の都道府県スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。
- (3) 納入締切日および納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県スポーツ協会へ通知する。

19 わた SHIGA 輝く国スポの取組

- (1) 環境に配慮した大会の実施
スポーツの楽しさや感動を分かち合うとともに、滋賀県に受け継がれている身の回りの生活から自然環境を考える取組を県民や企業、大会に関わるすべての参加者が実践することで、「人と人、人と地域、人と自然」の繋がりを深めることができるよう取り組む。
- (2) おもてなしと滋賀の魅力発信
豊かな自然や歴史、文化、芸術、祭り、伝統芸能、特産品などの地域資源、湖上スポーツをはじめとした滋賀ならではのスポーツ環境など、滋賀の魅力を発信し、来県者が滋賀での滞在を楽しむことができるよう取り組む。
- (3) 誰もが主役として輝ける取組の推進
年齢や性別、障害の有無などを問わず、誰もが一層身近にスポーツを楽しむことができる環境をつくり、誰もがボランティアや大会関連行事等に積極的に参加できる環境をつくるなど、それぞれのスタイルで「する」「みる」「支える」の体験ができる大会となるよう取り組む。

20 その他

- (1) 参加申込および宿泊申込が、定められた締切日までに行われなかった場合、または、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が



判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。

- (3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項および同細則による。

別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号（参加資格および年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者および「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」に登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。



別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県スポーツ協会および都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号および第10項第4号(参加資格および年齢基準等)〕および別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

- 1 対象者
 - (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
 - (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者



2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-2)-②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項-(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会(都道府県大会を含む)と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項-(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容がJOCエリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。

別記4 「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置(以下「本特例」という。)」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第33回オリンピック競技大会(2024年・パリ)に参加した者。
- (2) 2025年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者
 - ア JOCオリンピック強化指定選手
 - イ 各競技(種目)における国内ランキング上位10位以内の者
 - ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上の



カテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会およびブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手またはチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」または「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、または自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③のとおりとする。



別記5 「東日本大震災に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県との6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県



の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

<例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度(小学校は2015年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。

別記6 「能登半島地震に係る選手および監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県(以下「特例対象県」という。)とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または



「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2025年4月30日以前から当該大会終了時（2025年10月8日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、2023年開催の特別大会または第78回大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2025年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第78回大会または第79回大会に参加した者が、第80回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。



- <例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度（小学校は2028年度）までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。



バスケットボール競技実施要項

1 期 日 2025年10月3日(金)から10月7日(火)まで(5日間)

種 別	10月3日(金)	10月4日(土)	10月5日(日)	10月6日(月)	10月7日(火)
成年男子	1 回 戦	準々決勝	準 決 勝	決 勝	
成年女子		1 回 戦	準々決勝	準 決 勝	決 勝
少年男子	1 回 戦	2 回 戦	準々決勝	準 決 勝	決 勝
少年女子	1 回 戦	2 回 戦	準々決勝	準 決 勝	決 勝

- 2 会 場**
- 大津市 (成年男子) 滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)
 (少年男子) 滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)
 野洲市 (成年女子) 野洲市総合体育館
 草津市 (少年女子) YMIT アリーナ (くさつシティアリーナ)

3 種別及び参加人員

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合計(人)
成年男子	1	11	16	192	1,024
成年女子	1	12	16	208	
少年男子	1	12	24	312	
少年女子	1	12	24	312	

(1) 成年男女において選手と監督は兼任できる。

※今年度の成年男子においては、選手と監督を兼任した場合、選手の人数を最大12名登録することができる。

(2) 選手的人数は最大12名とする。

4 スポーツ・ハラスメントについて

今大会に出場する指導者、選手、チーム関係者、大会運営者、その他全ての関係者は、「暴力暴言、ハラスメントなどの不適切行為(スポハラ)を排除し、安全・安心な大会になるよう心がける。」

5 競技上の規定及び方法

- 競技規則は、現行の公益財団法人日本バスケットボール協会競技規則による。
- 大会期間中の競技に関する(競技場内における競技・運営等含め)最終決定は、JBA 国スポ委員会にて行う。運営・競技に関わる関係者は、その全てにおいてJBAに情報を共有しなければならない。JBAは、決定事項を他主催者に共有する。
- 各種別とも都道府県対抗トーナメント方式とし、3位以降の決定戦は行わない。
- 試合時間は、全種別とも次表のとおりとする。



前 半			休 憩	後 半		
第 1 クォーター	休 憩	第 2 クォーター		第 3 クォーター	休 憩	第 4 クォーター
10 分	2 分	10 分	10 分	10 分	2 分	10 分

- (5) ユニフォームに関しては、JBA OFFICIAL BASKETBALL RULES に則り、公益財団法人日本バスケットボール協会ユニフォーム規則を参考とする。
- ア 参加チームは、濃淡 2 色のユニフォームを用意しなければならない。
 - イ ユニフォームの前面にユニフォームの色と異なり、明確に識別できる単色の文字で都道府県名を付けなければならない。(漢字でなくても良い)
都道府県名における縁取りおよび文字の大きさについては、公益財団法人日本バスケットボール協会が定めるユニフォーム規則に則る。
 - ウ ユニフォームの番号は、0、00 および 1 から 99 までとする。
 - エ その他、ユニフォームに付けることができるものの詳細については、公益財団法人日本バスケットボール協会ユニフォーム規則の別表 2 に則る。
 - オ ユニフォームは、会社名、クラブ名、学校名は必ず完全に見えないように被覆のこと。また、大会参加時に着用するトレーニングウェア（上下）においても同様とする。

6 予選方法

- (1) 各都道府県は、種別ごとに都道府県大会を実施し、ブロック大会及び本大会に出場する代表チームを決定する。
- (2) 各ブロック大会を主管する都道府県バスケットボール協会は、本大会実施要項に準じてブロック大会を実施し、本大会に出場する代表を決定する。
- (3) 各ブロック大会を主管する都道府県バスケットボール協会は、当該ブロック大会の日程及び会場について、2025 年 6 月 5 日(木)までに公益財団法人日本バスケットボール協会に報告すること。
- (4) 各ブロック大会区分及びその代表チーム数は次表のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
北海道	北海道	1	1	1	1
東 北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	2	2	3	3
関 東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	2	4	4
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	2	2	2	2
東 海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	2	2
近 畿	京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2	3	3
中 国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	2	2	2	2
四 国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	2	2
九 州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	2	2	4	4
開催県	滋賀	1	1	1	1
計		16	16	24	24



- (5) 各都道府県バスケットボール協会は、ブロック大会参加申込み時に全種別について、各種別 24 名まで選手（予備登録選手を含む）を登録すること。

なお、本大会参加申込み時の選手（予備登録選手を含む）については、ブロック大会参加申込み時からの追加を認めない。また、ブロック大会において予備登録選手と変更された選手は、本大会の参加にあたり予備登録選手と同じ扱いとする。

7 選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか、次による。

- (1) 各都道府県協会の成年男子・女子、少年男子・女子のチームは、単独、補強、選抜のうち、いずれかの方法により編成すること。
- (2) 成年男子・女子、少年男子・女子の選手（予備登録選手を含む）は、公益財団法人日本バスケットボール協会定款第 51 条に基づき制定された「JBA 基本規定 第 5 章登録および移籍 第 2 節 登録 第 101 条〔選手登録の義務〕」に定める登録選手が参加できる。
- (3) 成年男子
- ア 2008 年 12 月 31 日以前に生まれたものが参加できる。
 - イ 登録選手は、11 名とする。
 - ウ 成年男子代表チームについて、高校 2・3 年生のみの編成は不可とし、高校 2・3 年生の登録できる人数は 5 名以内とする。
 - エ 高校 2・3 年生のオンコート的人数や出場を必須にするといった制限は加えない。
- (4) 成年女子
- ア 2008 年 12 月 31 日以前に生まれたものが参加できる。
 - イ 登録選手は、12 名とする。
 - ウ 成年女子代表チームについて、高校 2・3 年生のみの編成は不可とし、高校 2・3 年生の登録できる人数は 5 名以内とする。
 - エ 高校 2・3 年生のオンコート的人数や出場を必須にするといった制限は加えない。
- ※成年男子・女子ともに選手の人数は最大 12 名とする。
- ※成年男子・女子ともに、「大学の所在地」は、所属都道府県の条件には当てはまらない。従って、「大学の所在地」を根拠とした都道府県よりの参加はできない。
- ※成年男子・女子における、早生まれを除く高校 2 年生及び高校 3 年生の参加資格（所在地等）については、当該年 4 月 1 日時点での年齢が、成年・少年どちらの年齢域に属するかで判断する。（総則 5(3)選手の年齢基準に定める年齢による）
- (5) 少年男子、少年女子
- ア 中学 3 年生を含む 2009 年 1 月 1 日～2011 年 4 月 1 日に生まれた者が出場できる。
 - イ 登録選手は、合計 12 名とする。
 - ウ 中学 3 年生の出場は、1 名以上が望ましい。
- (6) 外国籍競技者の参加
- 外国籍競技者の参加については総則 5(1)アに定めるもののほか、次による。
- ア 成年男子・女子



- (ア) 成年種別の選手の参加は1名までとする。
- (イ) 早生まれを除く高校2年生及び高校3年生（2007年4月2日～2008年12月31日までに生まれた者）の選手を参加させることができる。
- イ 少年男子・女子
 - (ア) 少年種別の選手の参加は2名までとし、オンコートは1名までとする。
 - (イ) 早生まれの高校2年生及び高校1年生、中学3年生の選手（2009年1月1日～2011年4月1日に生まれた者）を参加させることができる。
- (7) 選手の参加申し込み後の変更について（エントリー変更について）
 - ア 本大会に参加する選手は、原則としてブロック大会に出場した選手とし、変更は認められない。なお、選手の変更については、疾病、傷害等の特別な場合のみ、予備登録選手からの変更を認めるものとし、証明する書類（医師の診断書等）を添付し、手続きすること。なお、診断書とは、医師が、傷病名・障害名・医師の所見・治療の経緯や現症、結果などが記載されている証明書であり、実際に診察のあった医師と歯科医師のみが発行できるものである。（医師法第19条第2項による）
変更手続きについては、代表者会議開始までに手続きを完了すること。（代表者会議後の変更は認めない）
 - イ エントリー変更をした場合は、その選手に限りユニフォーム番号の変更を認める。（ユニフォーム番号のみの変更は、認めない）
 - ウ 少年男子・女子種別における、中学校3年生の選手については、24名の選手（予備登録選手含む）に入れておくことを前提とし、その中で、全国中学校体育大会／第55回全国中学校バスケットボール大会（予選含む）に出場したものに関しては予選大会に出場しなくても本大会に参加できる。（下記予選免除大会参照）
 - エ 他別途、JSPOが、国スポバスケットボール競技の予選免除大会と認めている大会（下記）以外は、予選免除にはならない。
2025FISU ワールドユニバーシティゲームズ
FIBA アジアカップ 2025 予選 Window ③
U16 アジア選手権東アジア予選
FIBA アジアカップ 2025
FIBA U16 アジア選手権
FIBA U19 女子ワールドカップ 2025
FIBA 女子アジアカップ 2025
FIBA U16 女子アジアカップ 2025
FIBA3x3 ネーションズリーグ 2025 (U23) (FIBA3x3U23 ワールドカップ 2025 予選)
FIBA3x3 ネーションズリーグ 2025 (U21) (FIBA3x3U23 ワールドカップ 2025 予選)
FIBA3x3 ウィメンズシリーズ 2025
FIBA3x3U23 ワールドカップ 2025
全国中学校体育大会／第55回全国中学校バスケットボール大会（予選含む）
第33回日・韓・中ジュニア交流競技会



8 監督・スタッフの参加資格、他について

総則 5 に定めるもののほか、次による。

- (1) 全種別の監督は、公益財団法人日本バスケットボール協会公認コーチライセンスに基づく JBA 公認 S 級コーチ、JBA 公認 A 級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ 4）、JBA 公認 B 級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ 3）、JBA 公認 C 級コーチ（日本スポーツ協会公認コーチ 2/日本スポーツ協会公認コーチ 1）いずれかを有するものとする。
- (2) 本大会に参加するスタッフは、監督 1 名、他スタッフ含めて合計 6 名以内とする。
 ※トレーナーについては、スタッフ（6 名）枠内にてエントリーすること。
 今大会より、活動制限区域内におけるビブス申請のトレーナーは認めない。
- (3) 監督・スタッフの変更について
 - ア 本大会に出場する監督は、原則としてブロック大会時と同様の監督とするが、疾病、傷害、その他特別な場合のみ変更を認めるものとし、証明する書類（医師の診断書等）を添付し、手続きをすること。変更手続きについては代表者会議開始までに手続きを完了すること。
 - イ 監督以外のスタッフの変更については、特に定めない。（本国スポ代表者会議直前のエントリー変更時にメンバー確認票に明記した者を他スタッフとする。）
 - ウ 急遽、監督・コーチに資格者が不在となる場合は、JBA 国スポ実施委員会にて、別途 JBA が定める（コーチ資格者が不在となった場合の対応）を適用するか否かを判断する。
 ※コーチ登録証の携帯について
 ベンチで指揮を執る者「8(1)を有する者」は、試合前、TO にてサインをする際、必ずコーチ登録証を提示すること。また、試合中は、コーチ登録証を公益財団法人日本バスケットボール協会指定のネックストラップを使用し、首から下げておくこと。

9 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第 1 位から第 8 位までを決定する。
 ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも 1 位 40 点、2 位 35 点、 3 位（2 チーム）各 27.5 点、 5 位（4 チーム）各 12.5 点の 競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。



10 表 彰

- (1) 男女総合成績及び女子総合成績の第 1 位から第 8 位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- (2) 男女総合成績第 1 位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各種別の第 1 位から第 5 位（4 チーム）までに、賞状を授与する。

11 参加申込み方法

総則 8 に定めるもののほか、次による。

- (1) 所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県スポーツ協会を通じて、2025 年 9 月 4 日（木）までに申込み手続きを完了すること。
- (2) 締切期限以降は、所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- (3) 各ブロック大会を主管する都道府県バスケットボール協会は、予選会成績表を各種別 2 通作成し、各予選会終了後、5 日以内に次の宛先にそれぞれ送付すること。

〔予選会成績表記載事項〕

- ア 予選会担当都道府県協会名
- イ 予選会開催期日
- ウ 予選会開催場所
- エ 参加チーム数
- オ 参加チーム名
- カ 予選会成績記録（1 回戦から各クォーターの得点記録を全部記録すること。）
- キ 本大会に出場する代表チーム名
- ク その他の特記事項

	提出先	必要書類
(ア)	(全種別) 〒 112-0004 東京都文京区後楽一丁目 7 番 27 号 後楽鹿島ビル 6F 公益財団法人日本バスケットボール協会 Mail kokutai-entry@basketball.or.jp	予選会成績表 (全種別)
(イ)	(成年男子・少年男子) 〒 520-0805 滋賀県大津市石場 10 番 53 号 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局 (大津市国スポ・障スポ大会局 大会競技課) TEL 077-528-0310・0320 FAX 077-522-7766	予選会成績表 (成年男子) (少年男子)
	(成年女子) 〒 520-2395 滋賀県野洲市小篠原 2100 番地 1 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会事務局 (野洲市市民部国スポ・障スポ大会推進室) TEL 077-587-8813 FAX 077-587-6961	予選会成績表 (成年女子)
	(少年女子) 〒 525-8588 滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会事務局 (草津市教育委員会事務局国スポ・障スポ推進室) TEL 077-561-6896 FAX 077-561-0181	予選会成績表 (少年女子)



(4) 参加申込み締切後の変更は、疾病、傷害等の特別な場合のみ認めるものとし、その取り扱いについては次のとおりとする。

ア 提出期限 代表者会議開始まで

イ 提出先

(ア)	〒 112-0004 東京都文京区後楽一丁目 7 番 27 号 後楽鹿島ビル 6F 公益財団法人日本バスケットボール協会 Mail kokutai-entry@basketball.or.jp
(イ)	〒 520-0807 滋賀県大津市松本一丁目 2 番 1 号 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会事務局 (滋賀県国スポ・障スポ大会局 競技運営室 競技第一係) TEL 077-528-3324 FAX 077-528-4836 Mail kokusupo-sanka@pref.shiga.lg.jp
	(成年男子・少年男子) 〒 520-0805 滋賀県大津市石場 10 号 53 号 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市実行委員会事務局 (大津市国スポ・障スポ大会局 大会競技課) TEL 077-528-0310・0320 FAX 077-522-7766 Mail koku-spo.basketball@city.otsu.lg.jp
(ウ)	(成年女子) 〒 520-2395 滋賀県野洲市小篠原 2100 番地 1 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ野洲市実行委員会事務局 (野洲市市民部国スポ・障スポ大会推進室) TEL 077-587-8813 FAX 077-587-6961 Mail kokusupo@city.yasu.lg.jp
	(少年女子) 〒 525-8588 滋賀県草津市草津三丁目 13 番 30 号 わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ草津市実行委員会事務局 (草津市教育委員会事務局国スポ・障スポ推進室) TEL 077-561-6896 FAX 077-561-0181 Mail basket2025@city.kusatsu.lg.jp

なお、(ア)~(ウ)については、原則メールにて提出とする。また、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、上記への提出後、別途、所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。



12 その他

(1) 組合せ抽選会

日 時 2025年9月7日(日) 午後1時

場 所 公益財団法人日本バスケットボール協会 会議室

〒112-0004 東京都文京区後楽一丁目7番27号 後楽鹿島ビル6階

Mail kokutai-entry@basketball.or.jp

(2) 代表者会議(全種別)

日 時 2025年10月1日(水) 午後3時

場 所 WEBにて開催

配信本部:キラリエ草津(草津市立市民総合交流センター)

(3) 審判会議(全種別)

日 時 2025年9月25日(木) 午後8時

場 所 WEBにて開催予定

(4) 総合表彰式

日 時 2025年10月7日(火) 少年男子決勝戦終了後

場 所 滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)

〒520-2164 滋賀県大津市上田上中野町779番地

TEL 077-545-0108



成年男子表彰式 次第

第5位表彰式

日時 令和7年10月4日(土)
 準々決勝終了後
 会場 滋賀ダイハツアリーナ
 (滋賀アリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第5位表彰(賞状・記念品授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

第3位表彰式

日時 令和7年10月5日(日)
 準決勝終了後
 会場 滋賀ダイハツアリーナ
 (滋賀アリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第3位表彰(賞状・記念品授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

種別表彰式

日時 令和7年10月6日(月)
 決勝戦終了後
 会場 滋賀ダイハツアリーナ
 (滋賀アリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	成績発表
3	第1位表彰(賞状・記念品授与)
4	第2位表彰(賞状・記念品授与)
5	閉式通告
	選手・役員解散



成年女子表彰式 次第

第5位表彰式

日時 令和7年10月5日(日)

準々決勝終了後

会場 野洲市総合体育館

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第5位表彰(賞状授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

第3位表彰式

日時 令和7年10月6日(月)

準決勝終了後

会場 野洲市総合体育館

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第3位表彰(賞状・記念品授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

種別表彰式

日時 令和7年10月7日(火)

決勝戦終了後

会場 野洲市総合体育館

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	成績発表
3	第1位表彰(賞状・記念品授与)
4	第2位表彰(賞状・記念品授与)
5	閉式通告
	選手・役員解散



少年男子表彰式・総合表彰式 次第

第5位表彰式

日時 令和7年10月5日(日)
 準々決勝終了後
 会場 滋賀ダイハツアリーナ
 (滋賀アリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第5位表彰(賞状・記念品授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

第3位表彰式

日時 令和7年10月6日(月)
 準決勝終了後
 会場 滋賀ダイハツアリーナ
 (滋賀アリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第3位表彰(賞状・記念品授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

種別表彰式・総合表彰式

日時 令和7年10月7日(火)
 決勝戦終了後
 会場 滋賀ダイハツアリーナ
 (滋賀アリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	少年男子成績発表
3	種別表彰第1位(賞状・記念品授与)
4	種別表彰第2位(賞状・記念品授与)
5	女子総合成績発表
6	女子総合表彰(表彰状・記念品授与)
7	男女総合成績発表
8	男女総合表彰(表彰状・記念品授与)
9	大会会長トロフィー授与
10	競技会会長あいさつ
11	歓送のことば
12	国旗儀礼
13	競技会終了宣言
14	閉式通告
	選手・役員解散



少年女子表彰式 次第

第5位表彰式

日時 令和7年10月5日(日)
 準々決勝終了後
 会場 YMITアリーナ
 (くさつシティアリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第5位表彰(賞状授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

第3位表彰式

日時 令和7年10月6日(月)
 準決勝終了後
 会場 YMITアリーナ
 (くさつシティアリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	第3位表彰(賞状・記念品授与)
3	閉式通告
	選手・役員解散

種別表彰式

日時 令和7年10月7日(火)
 決勝戦終了後
 会場 YMITアリーナ
 (くさつシティアリーナ)

順序	次第
	選手・役員整列
1	開式通告
2	成績発表
3	第1位表彰(賞状・記念品授与)
4	第2位表彰(賞状・記念品授与)
5	閉式通告
	選手・役員解散



競技上の取り決め事項

項目	内容説明
1 競技規則	2025～バスケットボール競技規則による（公益財団法人日本バスケットボール協会）
2 ウォーミングアップ会場	ウォーミングアップ会場での練習は次試合出場のチームのみです。（ボール使用不可）
	滋賀ダイハツアリーナ 10/3：多目的広場（フットサル場） 10/4～10/7：サブアリーナ （※ 10/3 はサブアリーナを競技で使用しアップ会場として使用できないため、インターバルを長く設定しています。）
	野洲市総合体育館 小アリーナ
	YMIT アリーナ サブアリーナ
3 ハーフタイム練習	第 3 クォーター開始 3 分前までとします。
4 更衣室・控室	各会場とも指定された更衣室・控室を使用してください。ただし、使用時間についての制限がある場合がありますので、各会場の指示に従ってください。
5 メンバー確認票とエントリー変更	メンバー確認票は、代表者会議前までにメールで提出となっています。全チーム対象です。エントリー変更一覧は、代表者会議終了後、チームへメールにて送信いたします。
6 ユニフォームの色及びベンチ	組み合わせ表の番号の若いチームが淡色（白）のユニフォームとし、ベンチはオフィシャル席に向かって右側とします。（2 試合目以降の試合については、双方のチームで相談の上ユニフォームの色を変更しても構いませんが、その旨を双方の代表者が各会場の競技本部に申し出てください。ただし、ベンチの変更はできません。）
7 チームベンチ	チームベンチに入れるのは、少年男女および成年女子は、選手 12 名、スタッフ 6 名以内の計 18 名。成年男子は選手 11 名、スタッフ 6 名以内の 17 名です。
8 スコアシート	試合終了後、各会場の受付のレターケースに準備します。（配布はしません）
9 前試合延滞時	試合開始までに 15 分間を確保します。
10 コーチ証	ゲーム前のコーチのサイン時に TO 主任がライセンス確認を行いますので、提示をお願い致します。試合で指揮を執る方は JBA コーチ証を着用してください。
11 タイムアウトの請求と取り消し	タイムアウトの請求及び取り消しについては、TO 席に出向いて、口頭と決められた合図で確認できるように行ってください。
12 交代の請求	プレイヤーが交代を TO に請求した後は、交代席に座ってください。
13 トレーナー	トレーナーについては、スタッフ（6名）の枠内に入れてエントリーしてください。ゲーム中の選手に対する処置については、ベンチエリア内で行えます。今大会より、活動制限区域内におけるビブス申請のトレーナーの活動は認められません。
14 脳震盪	脳震盪の疑いがあると医師が判断した場合、監督および選手が大丈夫だと主張しても、直ちに選手を交代させ、同日のゲーム復帰は避けさせていただきます。翌日の試合に関しては医師の判断を仰いでください。
15 開場時間	各会場ともに 10/3～10/4 は 8：30 に開場します。 10/5～10/6 は滋賀ダイハツアリーナは 8：30、野洲市総合体育館・YMIT アリーナは 10：00 に開場します。 10/7 は滋賀ダイハツアリーナは 12：00、野洲市総合体育館・YMIT アリーナは 8：30 に開場します。
16 ドーピング	ドーピングコントロールの対象となっています。その際にご協力ください。
17 その他	土足（外履き）と室内用シューズの履き替えの徹底をお願いします。



競 技 日 程

代表者会議【全種別】	10月1日(水) 15時00分	オンライン会議 (配信会場：キラリエ草津)
審判会議	9月25日(木) 20時00分	オンライン会議

		10月3日(金)	10月4日(土)	10月5日(日)	10月6日(月)	10月7日(火)
滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)	成年男子・少年男子	A 成年男子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:55～ 第3試合 13:50～ 第4試合 15:45～	成年男子 準々決勝 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～ (各準々決勝終了後5位表彰式)	少年男子 準々決勝 第1試合 10:00～ 第2試合 12:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式) 成年男子 準決勝 第3試合 14:00～ (準決勝終了後3位表彰式)	M メインコート 転換作業	M メインコート
		B 成年男子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:55～ 第3試合 13:50～ 第4試合 15:45～	少年男子 2回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	M メインコート 転換作業		少年男子 準決勝 第1試合 10:00～ 第2試合 12:00～ (各準決勝終了後3位表彰式) 成年男子 決勝 第3試合 14:00～ 種別表彰式 (決勝戦終了後)
		C 少年男子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:55～ 第3試合 13:50～ 第4試合 15:45～	少年男子 2回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～			少年男子 準々決勝 第1試合 10:00～ 第2試合 12:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式) 成年男子 準決勝 第3試合 14:00～ (準決勝終了後3位表彰式)
	D 少年男子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:55～ 第3試合 13:50～ 第4試合 15:45～	M メインコート 転換作業				
野洲市総合体育館	成年女子	E 成年女子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	成年女子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	成年女子 準々決勝 第1試合 12:00～ 第2試合 14:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式)	成年女子 準決勝 第1試合 12:00～ (準決勝終了後3位表彰式)	M メインコート 転換作業
		F 成年女子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	成年女子 準々決勝 第1試合 12:00～ 第2試合 14:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式)	成年女子 準決勝 第1試合 12:00～ (準決勝終了後3位表彰式)	M メインコート 転換作業	M メインコート 転換作業
YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)	少年女子	G 少年女子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	少年女子 2回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	少年女子 準々決勝 第1試合 12:00～ 第2試合 14:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式)	少年女子 準決勝 第1試合 12:00～ (準決勝終了後3位表彰式)	M メインコート 転換作業
		H 少年女子 1回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	少年女子 2回戦 第1試合 10:00～ 第2試合 11:45～ 第3試合 13:30～ 第4試合 15:15～	少年女子 準々決勝 第1試合 12:00～ 第2試合 14:00～ (各準々決勝終了後5位表彰式)	少年女子 準決勝 第1試合 12:00～ (準決勝終了後3位表彰式)	M メインコート 転換作業

表彰式	【成年男子】	10月6日(月)	決勝戦終了後	滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)メインアリーナ
	【成年女子】	10月7日(火)		野洲市総合体育館 大アリーナ
	【少年男子】			滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)メインアリーナ
	【少年女子】			YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)メインアリーナ
総合表彰式		少年男子決勝戦終了後	滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ)メインアリーナ	



バスケットボール競技組合せ表

【成年男子】

日程		10/3(金)	10/4(土)	10/5(日)	10/6(月)	10/5(日)	10/4(土)	10/3(金)	日程	
都道府県名		1回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1回戦	都道府県名	
愛知県	1	B4 15:45	A4 15:15	A3 14:00	M3 14:00	C3 14:00	A2 11:45	B2 11:55	茨城県	9
福岡県	2								北海道	10
徳島県	3	A4 15:45					A2 11:55	鹿児島県	11	
山形県	4							滋賀県	12	
京都府	5	B1 10:00	A1 10:00	A3 13:30	A3 13:50	B3 13:50	山口県	13		
富山県	6	奈良県					14			
広島県	7	A1 10:00					A3 13:50	石川県	15	
東京都	8							秋田県	16	

滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ) = A、B、C メインコート = M

【成年女子】

日程		10/4(土)	10/5(日)	10/6(月)	10/7(火)	10/6(月)	10/5(日)	10/4(土)	日程	
都道府県名		1回戦	準々決勝	準決勝	決勝	準決勝	準々決勝	1回戦	都道府県名	
栃木県	1	E4 15:15	E1 12:00	E1 12:00	M1 10:00	F1 12:00	F2 14:00	E2 11:45	福岡県	9
山口県	2								福井県	10
鹿児島県	3	F4 15:15					F2 11:45	大阪府	11	
滋賀県	4							北海道	12	
和歌山県	5	F1 10:00	F1 12:00	E2 14:00	E3 13:30	F3 13:30	秋田県	13		
新潟県	6	F1 12:00					E2 14:00	山梨県	14	
愛媛県	7							E1 10:00	E3 13:30	鳥取県
山形県	8	静岡県					16			

野洲市総合体育館 = E、F メインコート = M



【少年男子】

都道府県名	日程		10/3(金)	10/4(土)	10/5(日)	10/6(月)	10/7(火)	10/6(月)	10/5(日)	10/4(土)	10/3(金)	都道府県名
	1回戦	2回戦										
福岡県	1											13 静岡県
石川県	2	D1 10:00		B1 10:00						B3 13:30		14 広島県
神奈川県	3				A2 12:00						D3 13:50	15 東京都
福島県	4	C1 10:00							C1 10:00			16 岩手県
滋賀県	5			C1 10:00						C3 13:30		17 兵庫県
鳥取県	6					M2 12:00						18 佐賀県
山梨県	7						M1 14:00					19 福井県
愛知県	8	C4 15:45		C4 15:15					M1 10:00			20 熊本県
北海道	9									C2 11:45		21 青森県
宮崎県	10	D4 15:45							A1 10:00			22 愛媛県
徳島県	11			B4 15:15						B2 11:45		23 大阪府
京都府	12											24 茨城県

滋賀ダイハツアリーナ(滋賀アリーナ) = A、B、C、D メインコート = M

【少年女子】

都道府県名	日程		10/3(金)	10/4(土)	10/5(日)	10/6(月)	10/7(火)	10/6(月)	10/5(日)	10/4(土)	10/3(金)	都道府県名
	1回戦	2回戦										
京都府	1											13 岐阜県
北海道	2	G4 15:15		G4 15:15						G2 11:45		14 愛媛県
秋田県	3				G1 12:00							15 福岡県
埼玉県	4	H4 15:15							H2 14:00			16 兵庫県
宮崎県	5			H4 15:15						H2 11:45		17 千葉県
高知県	6											18 青森県
神奈川県	7				G1 12:00		M1 10:00		H1 12:00			19 大分県
宮城県	8	H1 10:00		H1 10:00						H3 13:30		20 福井県
鳥取県	9											21 広島県
石川県	10	G1 10:00							G2 14:00			22 滋賀県
沖縄県	11			G1 10:00						G3 13:30		23 山梨県
大阪府	12											24 愛知県

YMITアリーナ(くさつシティアリーナ) = G、H メインコート = M



バスケットボールの競技の見方

ゲームの進め方

▶ 時間

競技時間は10分を4回行うクォーター（Q）制です。（延長時間は1回5分）

第1Q	インターバル	第2Q	ハーフタイム	第3Q	インターバル	第4Q
10分	2分	10分	10分	10分	2分	10分
← 前半 →			休憩	← 後半 →		

▶ ゲームの開始

センターサークルで対面している両チームのジャンパーの間にクルーチーフがボールをトスアップし、ジャンパーはボールをタップしたところからゲームが開始します。

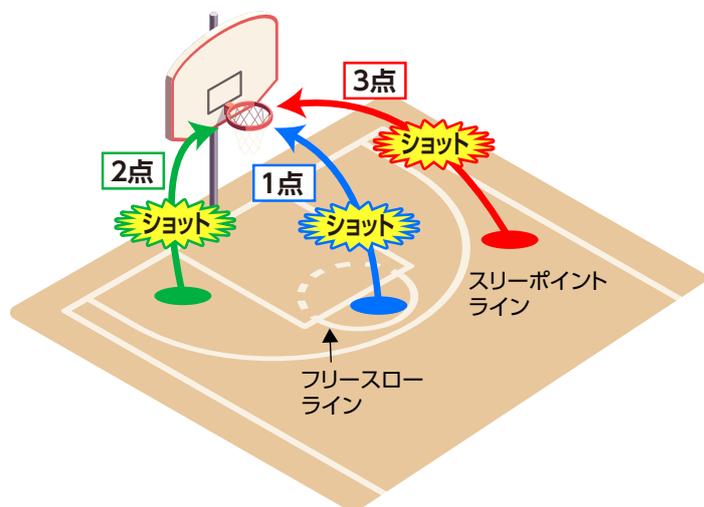
▶ オルタネイティングポゼッション

第2・3・4クォーター、各延長時限の開始や、どちらのチームがボールを所持しているのが分からなくなった場合を「ジャンプボールシチュエーション」と言い、この場合は、両チームが交互にスローインをし、ゲームを再開します。TO席に、次にスローインするチームの攻撃する方向（矢印）が表示されます。

▶ 得点の方法

次の3種類があります。

- 3点……スリーポイントラインの外側から
- 2点……スリーポイントラインの内側から
- 1点……フリースロー



▶ タイムアウト

1チームは前半2回、後半最大3回及び各延長時限に1回ずつタイムアウトを取ることができます。

1回のタイムアウトの時間は1分間です。

▶ 選手の交代

5回のファウルを宣せられるか、失格・退場にならない限り何度でも交代できます。



主な反則の種類

▶ バイオレーション 【ボールの扱いや境界線、時間に関する規則に対する違反】

- **トラベリング**……ボールを持って3歩以上歩くこと。
- **ダブルドリブル**……1度終わったドリブルを再び行ったり、両手でドリブルすること。
- **その他**……故意に足または脚（大腿部も含む）でボールを蹴ったり止めたりすること、ボールをこぶしてたたくこと。

▶ ファウル 【からだの触れ合い、またはスポーツマンらしくない行為を含む規則に対する違反】

パーソナルファウル相手プレイヤーとのからだの触れ合いによるプレイヤーファウル

- **プッシング**……手や体で相手を無理に押しのけたり、押して動かそうとすること。
- **イリーガルユースオブハンズ**……手や腕を使ってふれあいを起こし、相手の動きを妨げること。
- **ブロッキング**……体を使って相手の進行を不当に妨げること。
- **チャージング**……無理に進行し、相手の胴体に当たったり、押しのけたりすること。
- **ホールディング**……相手を押さえて、行動の自由を妨げること。

▶ パーソナルファウル時の処置

〈ショットの動作中でないプレイヤーがファウルをされたとき〉

- ファウルが起こった近くのサイドライン又はエンドラインからスローインを行います。
- チームのファウルが各クォーター4回を超えると、ボールを保持していないチームのファウル1回につき、相手チームに2本のフリースローが与えられます。

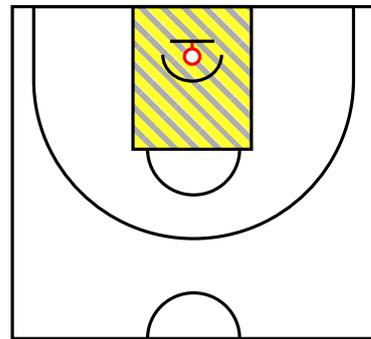
〈ショットの動作中のプレイヤーがファウルをされたとき〉

- ショットが成功……得点を認め、さらに1本のフリースローが与えられます。
- スリーポイントラインの内側からのショットが不成功……2本のフリースローが与えられます。
- スリーポイントラインの外側からのショットが不成功……3本のフリースローが与えられます。

バスケットボールの基本ルール

▶ 3秒ルール

相手チームの制限区域内に攻撃側プレイヤーは原則的に3秒を超えてとどまってははいけません。ラインも含まれます。



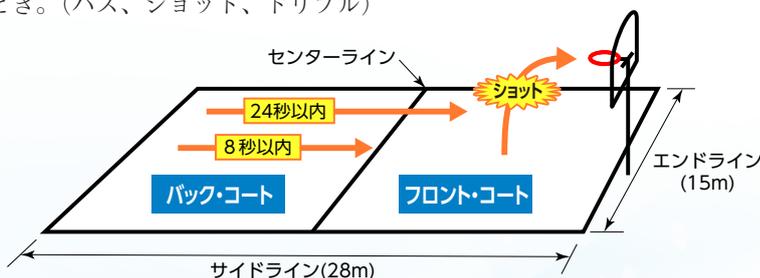
▶ 5秒ルール

次の場合、5秒以内にボールを手放さなければなりません。

- サイドラインまたはエンドラインからのスローインの時。(パス)
- フリースローで審判からボールを渡されたとき。(ショット)
- ディフェンス（守備側）が接近してガードされたとき。(パス、ショット、ドリブル)

▶ 8秒・24秒ルール

- ボールを保持したチームは、8秒以内にボールをフロントコートに運ばなければなりません。
- ボールを保持した時から数えて、24秒以内にショット（リングに触れる）をしなければなりません。





都道府県別参加申込人数一覧表

地区	番号	都道府県	成年男子			成年女子			少年男子		少年女子		合計			総計
			監督		選手	監督		選手	監督 専任	選手	監督 専任	選手	監督		選手	
			専任	兼任		専任	兼任						専任	兼任		
東北	1	北海道	1	()	11	1	()	12	1	12	1	12	4	()	47	51
	2	青森県		()			()		1	12	1	12	2	()	24	26
	3	岩手県		()			()		1	12			1	()	12	13
	4	宮城県		()			()				1	12	1	()	12	13
	5	秋田県	1	()	11	1	()	12			1	12	3	()	35	38
	6	山形県		(1)	12	1	()	12					1	(1)	24	25
	7	福島県		()			()		1	12			1	()	12	13
関東	8	茨城県	1	()	11		()		1	12			2	()	23	25
	9	栃木県		()		1	()	12					1	()	12	13
	10	群馬県		()			()						0	()	0	0
	11	埼玉県		()			()				1	12	1	()	12	13
	12	千葉県		()			()				1	12	1	()	12	13
	13	東京都	1	()	11		()		1	12			2	()	23	25
	14	神奈川県		()			()		1	12	1	12	2	()	24	26
北信越	15	山梨県		()		1	()	12	1	12	1	12	3	()	36	39
	16	新潟県		()		1	()	12					1	()	12	13
	17	長野県		()			()						0	()	0	0
	18	富山県	1	()	11		()						1	()	11	12
	19	石川県	1	()	11		()		1	12	1	12	3	()	35	38
東海	20	福井県		()		1	()	12	1	12	1	12	3	()	36	39
	21	静岡県		()		1	()	12	1	12			2	()	24	26
	22	愛知県		(1)	12		()		1	12	1	12	2	(1)	36	38
	23	三重県		()			()						0	()	0	0
近畿	24	岐阜県		()			()				1	12	1	()	12	13
	25	滋賀県	1	()	11	1	()	12	1	12	1	12	4	()	47	51
	26	京都府	1	()	11		()		1	12	1	12	3	()	35	38
	27	大阪府		()		1	()	12	1	12	1	12	3	()	36	39
	28	兵庫県		()			()		1	12	1	12	2	()	24	26
	29	奈良県	1	()	11		()						1	()	11	12
中国	30	和歌山県		()		1	()	12					1	()	12	13
	31	鳥取県		()		1	()	12	1	12	1	12	3	()	36	39
	32	島根県		()			()						0	()	0	0
	33	岡山県		()			()						0	()	0	0
	34	広島県	1	()	11		()		1	12	1	12	3	()	35	38
四国	35	山口県	1	()	11	1	()	12					2	()	23	25
	36	香川県		()			()						0	()	0	0
	37	徳島県	1	()	11		()		1	12			2	()	23	25
	38	愛媛県		()		1	()	12	1	12	1	12	3	()	36	39
九州	39	高知県		()			()				1	12	1	()	12	13
	40	福岡県	1	()	11	1	()	12	1	12	1	12	4	()	47	51
	41	佐賀県		()			()		1	12			1	()	12	13
	42	長崎県		()			()						0	()	0	0
	43	熊本県		()			()		1	12			1	()	12	13
	44	大分県		()			()				1	12	1	()	12	13
	45	宮崎県		()			()		1	12	1	12	2	()	24	26
46	鹿児島県		(1)	12	1	()	12					1	(1)	24	25	
47	沖縄県		()			()				1	12	1	()	12	13	
合計			13	(3)	179	16	()	192	24	288	24	288	77	(3)	947	1,024

※選手兼任監督の人数は、監督の「兼任」欄に記入し、選手数としてカウントする。

成年男子

競技会場

滋賀ダイハツアリーナ
(滋賀アリーナ)

参加都道府県

- | | |
|-------|---------|
| 1 北海道 | 9 滋賀県 |
| 2 秋田県 | 10 京都府 |
| 3 山形県 | 11 奈良県 |
| 4 茨城県 | 12 広島県 |
| 5 東京都 | 13 山口県 |
| 6 富山県 | 14 徳島県 |
| 7 石川県 | 15 福岡県 |
| 8 愛知県 | 16 鹿児島県 |





成年男子

1 北海道			
監督 佐々木 明彦			
選手名	番号	身長	所属
羽野 唯人	4	183	宮田自動車
皆川 悠太	5	188	Camellia
須藤 雄太	6	190	宮田自動車
福田 真生	7	193	ILL
八角 亮	⑧	174	宮田自動車
鳴海 貴裕	9	177	Camellia
越田 大翔	10	190	ILL
太田 樹	11	172	Camellia
菊池 允	12	185	ILL
佐竹 宥哉	13	190	Camellia
木村 優斗	14	196	ILL
緑・白			

2 秋田県			
監督 佐藤 光			
選手名	番号	身長	所属
森下 魁	4	203	JR 東日本秋田 PECKERS
ジャキテェ ダオウダ	5	198	JR 東日本秋田 PECKERS
秋野 風季	6	192	JR 東日本秋田 PECKERS
向 奏瑠	7	190	JR 東日本秋田 PECKERS
大川 颯斗	8	182	JR 東日本秋田 PECKERS
内藤 凌太	9	180	JR 東日本秋田 PECKERS
織田 祐光	10	191	JR 東日本秋田 PECKERS
山崎 渉真	11	185	JR 東日本秋田 PECKERS
三浦 拓	12	193	JR 東日本秋田 PECKERS
中澤 海斗	13	184	JR 東日本秋田 PECKERS
斉藤 大輔	⑭	188	JR 東日本秋田 PECKERS
エンジ・白			

3 山形県			
監督 畑 伸秀			
選手名	番号	身長	所属
土屋 真人	4	175	山形クベーラ
堀 直人	5	186	山形クベーラ
渡邊 諒	⑥	183	山形クベーラ
香取 昇汰	7	186	山形クベーラ
三浦 拓真	8	175	山形クベーラ
永田 晃司	9	182	山形クベーラ
Sissoko Dramane	10	205	山形クベーラ
今井 弘己	11	185	山形クベーラ
高橋 丈一郎	12	191	山形クベーラ
福井 歩	13	190	山形クベーラ
畑 伸秀	14	187	山形クベーラ
佐藤 寛太	15	190	山形クベーラ
紺・白			

4 茨城県			
監督 黒田 幸太			
選手名	番号	身長	所属
鈴木 雄馬	4	172	プロテリアルブルドッグス
須藤 陸	5	179	プロテリアルブルドッグス
藤沢 宏隆	6	186	株式会社リキマン
萩原 健斗	7	186	プロテリアルブルドッグス
種田 馨	8	192	日立大みか
石川 悠真	9	190	日立大みか
青木 裕哉	10	177	プロテリアルブルドッグス
山本 魁	11	187	プロテリアルブルドッグス
熊澤 圭祐	⑫	188	プロテリアルブルドッグス
細割 駿佑	13	198	プロテリアルブルドッグス
岩田 大輝	14	180	プロテリアルブルドッグス
青・白			



成年男子

5 東京都			
監督 川満翔太			
選手名	番号	身長	所属
井上 耀	4	181	横河電機 WILDBLUE
樋口 健太	5	198	横河電機 WILDBLUE
一戸 啓吾	6	180	横河電機 WILDBLUE
田口 航	7	185	横河電機 WILDBLUE
鴫田 風真	8	185	横河電機 WILDBLUE
畔上 樹音	9	175	横河電機 WILDBLUE
野本 康悟	10	175	横河電機 WILDBLUE
阿部 千寛	11	198	横河電機 WILDBLUE
小森 颯太	12	180	横河電機 WILDBLUE
相場 力斗	13	189	横河電機 WILDBLUE
杉野 晴輝	⑭	197	横河電機 WILDBLUE
紫・白			

6 富山県			
監督 堀田尚之			
選手名	番号	身長	所属
石附 大真	①	172	GROUSES. NET
佐藤 大地	2	180	GROUSES. NET
西川 智希	3	182	GROUSES. NET
工 陸都	4	191	GROUSES. NET
纒坂 宇翔	5	182	石川ブルースパークス
喜入 大地	6	191	GROUSES. NET
若月 風太	7	178	石川ブルースパークス
永野 俊輔	8	188	Donkey
柳瀬 亮	9	173	GROUSES. NET
原野 蓮大朗	10	186	富山大学
バガンブーラ 光	11	190	チーム新潟
緑・白			

7 石川県			
監督 高村和臣			
選手名	番号	身長	所属
駒田 善大	4	185	石川ブルースパークス
小室 悠太郎	5	190	三井住友海上火災保険
折坂 和希	⑥	173	石川ブルースパークス
古村 健一	7	190	黒田電機
松井 直輝	8	179	石川ブルースパークス
石黒 岳	9	190	石川ブルースパークス
吉本 龍星	10	185	黒田電気
長田 和也	11	177	石川ブルースパークス
小林 尚矢	12	173	石川ブルースパークス
竿漕 友喜	13	193	北陸大学
鷹合 力輝	14	184	北陸大学
青・白			

8 愛知県			
監督 田口昂大			
選手名	番号	身長	所属
出口 凌大	④	185	リントツ
出口 祥伍	5	186	リントツ
矢澤 樹	6	182	リントツ
田口 昂大	7	180	リントツ
高原 伊吹	8	187	リントツ
樋口 大倫	9	193	豊田合成スコープionsズ
伴 駿毅	10	193	リントツ
木伏 健太	11	180	リントツ
山本 颯太	12	191	ホシザキ
二村 響	13	180	ホシザキ
安藤 勇輝	14	169	ホシザキ
カミノコ オマール	15	200	豊田合成スコープionsズ
紺・白			



成年男子

9 滋賀県			
監督 浅村 典正			
選手名	番号	身長	所属
柏原 壮太郎	④	180	Lake Blue
川口 裕一	5	180	Lake Blue
犬山 咲人	6	184	Lake Blue
山下 輝	7	187	Lake Blue
中塚 隆仁	8	168	Lake Blue
千代 虎央太	9	189	日本無線
北村 暁士	10	196	Lake Blue
池田 丈太郎	11	183	Lake Blue
稲垣 守亮	12	171	Lake Blue
北村 雄太郎	13	193	Lake Blue
宇野 善昭	15	189	Lake Blue
青・白			

10 京都府			
監督 玉島 大蔵			
選手名	番号	身長	所属
河合 祥樹	④	178	京都教員
竹村 蓮	5	175	豊田合成
田中 夢大	6	172	同志社大学
福田 元気	7	177	Three Horses
榎野 侖	8	183	富士通
大西 一輝	9	184	中京大学
福田 侑介	10	188	日本無線
藪田 恵大	11	189	立命館大学
富田 頼	13	190	富士通
寺部 亮佑	14	191	エムプラス
宮脇 隼人	15	197	SPIRYTUS
ブルーグリーン・白			

11 奈良県			
監督 田中 一浩			
選手名	番号	身長	所属
浦西 将介	④	180	Three Horses
福永 雅刀	5	195	黒田電気株式会社
鷲本 将吾	6	178	ヤマトライジング奈良
山中 将輝	7	190	タツタ電線
村上 起哉	8	173	Three Horses
大正谷 理玖	9	180	Three Horses
藤高 宗一郎	10	190	ブラックジャック
仲西 佑起	11	191	蝶理株式会社
楊 裕貴	12	193	ヤマトライジング奈良
辻 永遠	13	171	立命館大学
鱒 勇輝	15	192	SCRAP
黒・白			

12 広島県			
監督 橋本 真			
選手名	番号	身長	所属
岩田 希巳	4	188	広島大学
大元 孝文	5	182	黒田電気 Bullet Spirits
松浦 慎哉	⑥	184	FOREVER
長岡 雄一	7	185	スリストム広島
佐々井 雄大	8	174	FOREVER
大道 拓将	9	178	FOREVER
國枝 岳弘	10	173	FOREVER
吉崎 綾汰	11	182	FOREVER
柿村 香佑	14	179	大阪教育大学
平田 成	15	173	広島県立広島皆実高等学校
深渡瀬 海	17	193	横河電機 WILDBLUE
エンジ・白			



成年男子

13 山口県			
監督 西村 悠			
選手名	番号	身長	所属
刀 柁 海 夢	4	172	JFEレッドホークス福山
大 脇 心太郎	5	190	JFEレッドホークス福山
上 田 直 輝	7	172	山口クラブ
佐 藤 大 輔	8	184	籠
山 田 雅 之	9	185	山口クラブ
梅 田 涼 雅	10	178	山口クラブ
石 井 悠 太	11	165	日本無線
小 嶋 秀 忠	13	186	山口県教員団
清 辻 款 矢	⑫	186	山口県教員団
山 田 洸 矢	14	185	山口クラブ
二 見 健 太	15	190	日本無線
オレンジ ・ 白			

14 徳島県			
監督 多田 孝司			
選手名	番号	身長	所属
黒 山 晃 輝	5	177	徳島クラブ
山 本 葵 依	6	172	TJ50
津 田 晟多郎	7	193	徳島クラブ
中 村 駿 希	8	185	ダブルラックス
内 藤 健 太	9	187	TJ50
赤 葉 玲 音	10	190	徳島クラブ
井 上 涼 介	⑪	177	徳島クラブ
高 松 秀太郎	12	185	徳島クラブ
西 山 修 人	13	180	徳島クラブ
古大内 雄 梨	14	183	Fantasia.Ltd
岡 澤 輝	15	185	徳島クラブ
紺 ・ 白			

15 福岡県			
監督 片桐 章光			
選手名	番号	身長	所属
平 岡 倅 汰	4	185	福岡大学
久 原 大 弥	5	180	九州電力アーティサンズ
田 邊 太 一	6	191	九州電力アーティサンズ
宮 崎 祐 輔	7	185	九州電力アーティサンズ
今 泉 太 陽	8	183	日本経済大学
児 玉 ジュニア	9	180	日本経済大学
永 野 聖 汰	11	176	九州電力アーティサンズ
森 駿 翔	12	186	日本経済大学
古 家 凜	⑬	177	九州電力アーティサンズ
辻 大 哉	14	190	九州電力アーティサンズ
組 崎 マテウス	15	190	日本経済大学
青 ・ 白			

16 鹿児島県			
監督 安慶 大樹			
選手名	番号	身長	所属
山 西 大 翔	4	183	Red Monsters
君 野 碧	5	177	日本経済大学
高 橋 颯 太	6	180	Red Monsters
我如古 圭	7	160	Red Monsters
下 野 雅 斗	8	170	Red Monsters
川 畑 颯太郎	⑨	180	Red Monsters
プライス 叙珠亜	10	189	日本経済大学
米 澤 協 平	11	183	日本無線
赤 塚 将 輝	12	191	鹿児島銀行
安 慶 大 樹	13	191	Red Monsters
武 藤 修 平	14	192	Red Monsters
キキエビ- ア リ	15	203	Red Monsters
青 ・ 白			

成年女子

競技会場

野洲市総合体育館

参加都道府県

- | | |
|-------|---------|
| 1 北海道 | 9 滋賀県 |
| 2 秋田県 | 10 大阪府 |
| 3 山形県 | 11 和歌山県 |
| 4 栃木県 | 12 鳥取県 |
| 5 山梨県 | 13 山口県 |
| 6 新潟県 | 14 愛媛県 |
| 7 福井県 | 15 福岡県 |
| 8 静岡県 | 16 鹿児島県 |





成年女子

1 北海道			
監督 横山 茜理			
選手名	番号	身長	所属
中村 泉 咲	4	160	日本航空高等学校北海道
高橋 優 希	5	163	札幌山の手高等学校
宇都 鈴々奈	6	163	日本航空高等学校北海道
佐藤 恋々	7	170	拓殖大学
庵原 有 紗	8	180	日本航空高等学校北海道
フアトウマタ カマラ	9	186	日本航空高等学校北海道
小熊 桃 華	⑩	168	星槎道都大学
大沼 華 楓	11	173	北翔大学
河合 菜 那	12	164	星槎道都大学
岩佐 紗 奈	13	164	北翔大学
柴田 柚 季	14	173	星槎道都大学
平下 結 夏	15	176	札幌大学
緑 ・ 白			

2 秋田県			
監督 佐藤 清美			
選手名	番号	身長	所属
齊藤 可 怜	4	170	秋田銀行 REDARROWS
村上 瑠 奈	5	163	秋田銀行 REDARROWS
佐藤 仁 美	6	170	秋田銀行 REDARROWS
浅利 千	7	165	秋田銀行 REDARROWS
熊谷 日 毬	8	163	秋田銀行 REDARROWS
小山内 夢 依	9	168	秋田銀行 REDARROWS
勝田 瞳 子	10	170	秋田銀行 REDARROWS
阿部 泉 美	⑪	168	秋田銀行 REDARROWS
高山 美 瑠	12	175	秋田銀行 REDARROWS
古野 実 希	13	174	秋田銀行 REDARROWS
片岡 瑤 稀	14	165	秋田銀行 REDARROWS
小野寺 紅 美	15	165	秋田銀行 REDARROWS
エンジ ・ 白			

3 山形県			
監督 木林 稚栄			
選手名	番号	身長	所属
福田 希 望	4	168	株式会社 山形銀行
萩田 美	5	175	株式会社 山形銀行
谷 優 実	6	174	株式会社 山形銀行
浅野 瑛 菜	7	176	株式会社 山形銀行
樋口 沙 彩	8	169	株式会社 山形銀行
西村 春 佳	9	182	株式会社 山形銀行
加藤 遥 菜	10	167	株式会社 山形銀行
近藤 萌	11	173	株式会社 山形銀行
円谷 愛 加	12	173	株式会社 山形銀行
木村 陽 菜	13	169	株式会社 山形銀行
宮寄 沙也加	14	180	株式会社 山形銀行
藤原 穂 香	⑮	161	株式会社 山形銀行
紺 ・ 白			

4 栃木県			
監督 佐藤 智信			
選手名	番号	身長	所属
池田 凜	4	164	白鷗大学
清水 絢	5	175	白鷗大学
高木 美 波	6	175	白鷗大学
佐々木 凜	7	177	白鷗大学
齋田 夢 良	8	167	白鷗大学
佐坂 光 咲	⑨	174	白鷗大学
東 小 姫	10	177	白鷗大学
伊藤 知 里	11	170	白鷗大学
武井 遙 菜	12	185	白鷗大学
林 咲 良	13	162	白鷗大学
伊東 友莉香	14	175	白鷗大学
谷口 憂 花	15	174	白鷗大学
緑 ・ 白			



成年女子

5 山梨県			
監督 林 五十美			
選手名	番号	身長	所属
アチャラ ガクケリン	4	180	山梨学院大学
AJEWOLE MERCY DADA	5	185	日本航空高等学校
岩佐 妃花	6	165	山梨学院大学
北條 瑚奈	7	163	山梨学院大学
京橋 菜々子	8	167	山梨学院大学
岡田 彩葉	9	160	山梨学院大学
平野 和々美	10	168	山梨学院大学
皆川 もえ	11	169	山梨学院大学
安藤 美優	12	169	山梨学院大学
牧野 琉依	13	165	山梨学院大学
藤澤 夢叶	⑭	162	山梨学院大学
秋谷 詩	15	175	山梨学院大学
エンジ ・ 白			

6 新潟県			
監督 小林 真里奈			
選手名	番号	身長	所属
相馬 嘉乃	④	165	新潟医療福祉大学
立原理 菜	5	158	新潟医療福祉大学
大井 暖々	6	174	新潟医療福祉大学
郷 六 柚 葉	7	170	新潟医療福祉大学
中野 璃 愛	8	168	新潟医療福祉大学
大野 萌 絵	9	165	新潟医療福祉大学
佐藤 萌 衣	10	166	新潟医療福祉大学
相馬 珠 里	12	166	新潟医療福祉大学
宮住 咲 希	11	171	新潟産業大学附属高等学校
草壁 紗 寧	13	162	新潟産業大学附属高等学校
Olamide Deborah Jenfa	14	185	新潟産業大学附属高等学校
佐藤 愛	15	168	新潟医療福祉大学
赤 ・ 白			

7 福井県			
監督 林 慎一郎			
選手名	番号	身長	所属
山田 愛 結	4	178	山梨学院大学
サジョ ライジョベ	5	189	福井工業大学附属福井高等学校
平野 里 奈	6	176	山梨学院大学
檜物 夏 奈	7	170	金沢学院大学
小池 昌 鈴	8	170	福井工業大学附属福井高等学校
姫路 莉 緒	9	169	福井工業大学附属福井高等学校
板橋 香 苗	10	174	福井工業大学附属福井高等学校
竹下 り の	11	168	名古屋経済大学
青山 由 奈	12	169	東京女子体育大学
片山 愛 悠	⑬	163	niko
廣野 智依菜	14	152	新潟医療福祉大学
菅原 砂 音	15	157	福井工業大学附属福井高等学校
紺 ・ 白			

8 静岡県			
監督 望月 奈穂			
選手名	番号	身長	所属
藤田 玲和音	4	174	RISE
遠藤 真 帆	5	173	アクアテック
小野 愛加里	6	165	RISE
濱本 希代加	7	160	RISE
篠宮 杏 奈	⑧	168	RISE
寺尾 友 里	9	177	RISE
見崎 南 美	10	165	RISE
黒川 菜津奈	11	160	RISE
石田 悠 月	12	168	Freeクラブ
陽本 麻 優	13	163	アクアテック
船山 穂 香	17	173	静岡産業大学
稲葉 叶	18	177	東海大学付属静岡翔洋高等学校
橙 ・ 白			



成年女子

9 滋賀県			
監督 藤堂 悠			
選手名	番号	身長	所属
岡田 咲 恵	4	158	滋賀銀行 Lake Venus
大橋 瑠 菜	5	173	滋賀銀行 Lake Venus
大橋 璃 菜	6	174	滋賀銀行 Lake Venus
藤田 夏 生	⑦	166	滋賀銀行 Lake Venus
杉 咲里奈	8	170	滋賀銀行 Lake Venus
前田 芽 生	9	175	滋賀銀行 Lake Venus
山岡 まつり	10	171	滋賀銀行 Lake Venus
石垣 優 衣	11	161	滋賀銀行 Lake Venus
井上 ひかる	12	158	滋賀銀行 Lake Venus
緒方 憇 乃	13	168	滋賀銀行 Lake Venus
高木 愛 華	15	176	滋賀銀行 Lake Venus
深津 彩 生	16	175	滋賀銀行 Lake Venus
青 ・ 白			

10 大阪府			
監督 村 上 なおみ			
選手名	番号	身長	所属
前田 心 咲	4	175	関西学院大学
熊谷 のどか	5	159	大阪人間科学大学
島袋 栞	6	174	大阪人間科学大学
升田 木 花	⑦	171	大阪体育大学
松本 莉緒奈	8	174	関西外国語大学
デイクソ ミッシェル	9	173	大阪人間科学大学
片山 朋 子	10	176	関西学院大学
木谷 夢 菜	11	168	大阪体育大学
木本 桜 子	12	167	大阪人間科学大学
三輪 美良々	13	177	大阪薫英女学院高等学校
幡出 麗 実	14	168	大阪薫英女学院高等学校
島村 曜 莉	15	160	関西外国語大学
黒 ・ 白			

11 和歌山県			
監督 古久保 亜 伊			
選手名	番号	身長	所属
浦野 来 望	4	158	紀陽銀行ハートビーツ
海老原 唯 花	5	161	紀陽銀行ハートビーツ
千葉 暁 絵	6	166	紀陽銀行ハートビーツ
大吉 ま な	7	167	紀陽銀行ハートビーツ
植田 雅 美	8	170	紀陽銀行ハートビーツ
前田 実 咲	9	171	紀陽銀行ハートビーツ
小柳 亜 結	10	173	紀陽銀行ハートビーツ
小野 佑 紀	⑪	175	紀陽銀行ハートビーツ
柴田 柚 菜	12	175	紀陽銀行ハートビーツ
水谷 優 月	13	171	紀陽銀行ハートビーツ
大城 椎 菜	14	180	紀陽銀行ハートビーツ
園田 夏 菜	15	177	紀陽銀行ハートビーツ
青 ・ 白			

12 鳥取県			
監督 板 井 寛 典			
選手名	番号	身長	所属
田川 想 和	4	158	大阪体育大学
亀田 ゆ な	5	170	関西学院大学
坂根 紡 希	6	172	鳥取城北高等学校
古賀 姫 莉	7	175	鳥取城北高等学校
佐藤 咲 菜	8	158	鳥取城北高等学校
中村 舞 星	9	160	武庫川女子大学
實井 佑里子	10	160	東京医療保健大学
小椋 名奈子	⑪	165	米子クラブ
山岡 千 桜	12	170	鳥取城北高等学校
山田 智 子	13	172	米子クラブ
小椋 ゆきみ	14	171	神戸親和大学
谷口 桃 花	15	167	米子クラブ
緑 ・ 白			



成年女子

13 山口県			
監督 梅田 貴之			
選手名	番号	身長	所属
桑原 結衣	4	156	笠戸ブレイブスター
金城 麻樹	5	163	笠戸ブレイブスター
山永 友美	6	173	笠戸ブレイブスター
幕 風沙	7	166	笠戸ブレイブスター
大脇 結	8	168	日本経済大学
青木 七海	9	177	広島文化学園大学
木村 美月	10	155	笠戸ブレイブスター
守田 日向子	11	162	広島大学
中久保 蘭	12	172	笠戸ブレイブスター
山野 沙彩	⑬	170	笠戸ブレイブスター
藤井 花歩	14	158	笠戸ブレイブスター
鈴木 恋杏	15	164	笠戸ブレイブスター
オレンジ・白			

14 愛媛県			
監督 松尾 政明			
選手名	番号	身長	所属
稲井 朋香	④	166	今治オレンジブロッサム
新谷 莉歩	5	170	今治オレンジブロッサム
田村 碧衣	6	165	今治オレンジブロッサム
矢野 紗也佳	7	165	今治オレンジブロッサム
山口 郁実	8	165	今治オレンジブロッサム
西田 恵菜	9	164	今治オレンジブロッサム
中村 真湖	10	166	今治オレンジブロッサム
大西 絢	11	153	今治オレンジブロッサム
幸田 みずき	12	160	今治オレンジブロッサム
高木 悠衣	13	174	今治オレンジブロッサム
ジョル セイナブ ライ	14	186	今治オレンジブロッサム
浅間 美佳	15	172	今治オレンジブロッサム
オレンジ・白			

15 福岡県			
監督 案浦 知仁			
選手名	番号	身長	所属
生地 蒼葉	4	162	日本経済大学
田中 夢理	5	163	日本経済大学
梶西 未知	6	164	日本経済大学
小材 叶奈子	⑦	162	福岡大学
宮崎 陽向	8	168	日本経済大学
神森 祐里	9	170	福岡大学
益田 遥菜	10	170	日本経済大学
白石 紗弓	11	174	日本経済大学
中老 小雪	12	175	日本経済大学
曾我部 希子	13	178	Gluck
柿元 舞音	14	175	日本経済大学
アキデーラウオ イダヤット	15	190	精華女子高等学校
青・白			

16 鹿児島県			
監督 前村 かおり			
選手名	番号	身長	所属
橋本 千優	4	159	鹿屋体育大学
我謝 美鈴	5	154	鹿屋体育大学
坂本 芙実乃	6	164	鹿屋体育大学
宇和 唯	7	166	鹿屋体育大学
脇田 愛香	8	168	鹿屋体育大学
金子 沙羅	9	160	鹿屋体育大学
森 天音	10	173	鹿屋体育大学
小浜 心夢	11	168	鹿屋体育大学
家永 祐花	12	177	鹿屋体育大学
恵 悠衣	13	167	鹿屋体育大学
福原 葵	14	158	鹿屋体育大学
松本 芽依	⑮	170	鹿屋体育大学
青・白			

少年男子

競技会場

滋賀ダイハツアリーナ
(滋賀アリーナ)

参加都道府県

- | | |
|--------|--------|
| 1 北海道 | 13 滋賀県 |
| 2 青森県 | 14 京都府 |
| 3 岩手県 | 15 大阪府 |
| 4 福島県 | 16 兵庫県 |
| 5 茨城県 | 17 鳥取県 |
| 6 東京都 | 18 広島県 |
| 7 神奈川県 | 19 徳島県 |
| 8 山梨県 | 20 愛媛県 |
| 9 石川県 | 21 福岡県 |
| 10 福井県 | 22 佐賀県 |
| 11 静岡県 | 23 熊本県 |
| 12 愛知県 | 24 宮崎県 |





少年男子

1 北海道			
監督 田島 範人			
選手名	番号	身長	所属
垣内 雄士郎	4	182	駒澤大学附属苫小牧高等学校
高橋 甘太郎	⑤	171	駒澤大学附属苫小牧高等学校
石川 恒星	6	172	駒沢大学附属苫小牧高等学校
熊谷 海凜	7	188	駒澤大学附属苫小牧高等学校
浜瀬 光希	8	173	駒澤大学附属苫小牧高等学校
小山 マテオ	9	187	駒澤大学附属苫小牧高等学校
的場 仁己呂	10	185	北海道栄高等学校
加藤 澄海	11	181	駒澤大学附属苫小牧高等学校
内海 颯太	12	193	東海大学付属札幌高等学校
小林 良輔	13	180	苫小牧工業高等学校
只野 孝太	14	170	レバンガ北海道 U15
三浦 斗真	15	180	東海大学付属札幌高等学校
緑・白			

2 青森県			
監督 佐々木 彰彦			
選手名	番号	身長	所属
浪岡 龍之介	4	180	八戸学院光星高等学校
八木橋 太助	5	180	八戸学院光星高等学校
佐藤 璃介	6	184	八戸学院光星高等学校
須々田 亜琉	7	187	八戸学院光星高等学校
加藤 優太郎	⑧	170	八戸学院光星高等学校
山内 一輝	9	171	八戸学院光星高等学校
福士 瑠輝	10	172	青森県立青森商業高等学校
和田 道仁	11	177	八戸工業大学第一高等学校
伊藤 鴻	12	184	八戸学院光星高等学校
佐藤 琉翔	13	175	八戸学院光星高等学校
鳴海 潤乃助	14	183	弘前市立第四中学校
細越 陸仁	15	192	八戸工業大学第一高等学校
青・白			

3 岩手県			
監督 佐々木 英了			
選手名	番号	身長	所属
照井 道頌	④	170	岩手県立一関工業高等学校
釜谷 康生	5	184	岩手県立一関工業高等学校
佐藤 翔真	6	187	岩手県立黒沢尻工業高等学校
安倍 然	7	181	岩手県立水沢高等学校
加藤 大翔	8	170	岩手県立一関工業高等学校
照井 琳久	9	177	岩手県立一関工業高等学校
渡邊 啓太	10	175	岩手県立一関工業高等学校
畠山 翔愛	11	181	岩手県立一関第一高等学校
水尻 稀大	12	183	岩手県立盛岡工業高等学校
小坂 瑠偉	13	189	岩手県立盛岡第一高等学校
日蔭 空良	14	189	岩手県立黒沢尻北高等学校
吉田 然莉	15	171	岩手県立盛岡工業高等学校
苔・白			

4 福島県			
監督 小川 貴之			
選手名	番号	身長	所属
栗原 奏	④	176	県立福島南高等学校
半田 秀太	5	183	福島東稜高等学校
吉田 遥斗	6	187	Bravely Nexus
柳 沼 奏汰	7	181	日本大学東北高等学校
長尾 奏汰	8	165	県立福島商業高等学校
北村 煌希	9	169	日本大学東北高等学校
高久 聖瑛	10	171	開志学園高等学校国際アート & デザイン 大学校高等課程
蛭田 悠斗	11	180	県立福島商業高等学校
柳 沼 虎士雅	12	174	帝京安積高等学校
小磯 大夢	13	174	日本大学東北高等学校
金澤 聖蓮	14	181	福島東稜高等学校
曲山 恵太	15	181	石川町立石川中学校
紺・白			



少年男子

5 茨城県			
監督 佐藤豊文			
選手名	番号	身長	所属
菊地廉世	④	179	土浦日本大学高等学校
タンジャキビリ	5	191	土浦日本大学高等学校
長谷川悠大	6	172	茨城県立下妻第一高等学校
森川旺亮	7	181	常磐大学高等学校
監物ジェイク空	8	186	つくば秀英高等学校
木幡雅之	9	183	土浦日本大学高等学校
大野蓮	10	183	土浦日本大学高等学校
青井遙臣	11	172	土浦日本大学高等学校
山越蓮大	13	183	つくば秀英高等学校
利根川優斗	15	185	土浦日本大学高等学校
近星己成	19	190	土浦日本大学高等学校
片根琥珀	20	195	土浦日本大学高等学校
青・白			

6 東京都			
監督 酒井良幸			
選手名	番号	身長	所属
村田伊織	4	168	國學院大學久我山高等学校
岸歩武	5	172	サンロッカーズ渋谷 U18
森田旭陽	6	177	國學院大學久我山高等学校
菅匠之介	7	179	國學院大學久我山高等学校
山野井皓	8	180	サンロッカーズ渋谷 U18
斉藤隼惺	9	183	成立学園高等学校
國近晃太郎	10	184	足立学園高等学校
古河シェーン	11	188	サンロッカーズ渋谷 U18
嶋原吏玖	12	190	國學院大學久我山高等学校
植垣元為	⑬	189	東海大学付属高輪台高等学校
小泉太陽	14	190	豊島学院高等学校
大田健介	15	190	國學院大學久我山高等学校
紫・白			

7 神奈川県			
監督 鈴木恭平			
選手名	番号	身長	所属
井田航里	4	175	東海大学付属相模高等学校
鈴木郁武	5	181	東海大学付属相模高等学校
高橋勇陸	6	190	湘南工科大学附属高等学校
山本瑠豪	7	190	東海大学付属相模高等学校
亀川龍之介	8	170	横浜清風高等学校
松宮拓真	9	193	立花学園高等学校
加藤律	10	190	法政大学第二高等学校
石川蓮	11	184	湘南工科大学附属高等学校
高橋秀成	12	176	U18 川崎ブレイブサンダース
中内惇貴	13	189	桐光学園高等学校
栗山泰青	⑭	175	U18 川崎ブレイブサンダース
福本燿	15	190	湘南工科大学附属高等学校
青・白			

8 山梨県			
監督 古屋貴弘			
選手名	番号	身長	所属
吉田壮志	4	180	日本航空高等学校
平野佑輔	5	184	日本航空高等学校
鼎大和	6	171	日本航空高等学校
青木煌桜	7	174	日本航空高等学校
長澤龍未	⑧	180	山梨学院高等学校
木戸彪悟	9	181	山梨学院高等学校
瀧沢龍成	10	192	日本航空高等学校
久保田湊	11	172	山梨学院高等学校
廣瀬大地	12	177	山梨県立日川高等学校
小山晃平	13	182	東海大学付属甲府高等学校
松本瞬	14	190	日本航空高等学校
河野斗真	15	174	山梨県立日川高等学校
エンジ・白			



少年男子

9 石川 県			
監督 宮村 徹			
選手名	番号	身長	所属
伊藤 騎士	④	170	北陸学院高等学校
吉岡 希竜	5	171	小松大谷高等学校
川俣 蒼太	6	174	北陸学院高等学校
西川 来輝	7	180	北陸学院高等学校
濱塚 璃一	8	184	北陸学院高等学校
宮木 利武	9	181	北陸学院高等学校
堀田 清翔	10	178	金沢学院大学附属高等学校
角谷 洸映	11	178	北陸学院高等学校
岡田 笙佑	12	185	金沢学院大学附属高等学校
池島 悠真	13	186	金沢市立工業高等学校
星野 一嘉	14	187	Jamane Youth
友寄 快星	15	192	北陸学院高等学校
青・白			

10 福井 県			
監督 八木 昌幸			
選手名	番号	身長	所属
竹田 明香	4	185	北陸高等学校
サリバシ 仁	5	185	北陸高等学校
島田 弥秋	6	185	北陸高等学校
岡川 久温	7	185	北陸高等学校
寿上 顕光	8	180	北陸高等学校
大島 漣斗	9	178	北陸高等学校
黒島 麻日	10	176	北陸高等学校
大釜 一順	11	175	北陸高等学校
外山 蒼空	12	175	北陸高等学校
小林 尊琉	13	174	北陸高等学校
伊藤 海秀	⑭	173	北陸高等学校
須藤 祐海	15	170	北陸高等学校
紺・白			

11 静岡 県			
監督 石谷 優二			
選手名	番号	身長	所属
永尾 咲翔	④	178	藤枝明誠高等学校
端野 恵音	5	185	藤枝明誠高等学校
森 秀野	6	177	藤枝明誠高等学校
濱崎 煌大	7	172	藤枝明誠高等学校
福本 彩人	8	187	藤枝明誠高等学校
森田 悠月	9	170	沼津中央高等学校
鈴木 柊矢	10	185	浜松開誠館高等学校
鐘ヶ江 咲人	11	179	浜松開誠館高等学校
須貝 頼勇	12	188	藤枝明誠高等学校
永留 悠星	13	182	藤枝明誠高等学校
関口 凜太郎	14	192	藤枝明誠高等学校
藺部 良介	15	188	浜松学院興誠高等学校
緑・白			

12 愛知 県			
監督 葛西 太勝			
選手名	番号	身長	所属
竹内 光一	④	167	桜丘高等学校
加藤 ヒロシヤベズ	5	189	中部大学第一高等学校
藤田 翔	6	179	名古屋ダイアモンドルフィンズU18
前田 晴舞	7	174	桜丘高等学校
遅 皓元	8	190	中部大学第一高等学校
鈴木 航	9	190	中部大学第一高等学校
佐藤 駿	10	185	名古屋ダイアモンドルフィンズU18
南 ルマニカサティ	11	183	名古屋ダイアモンドルフィンズU18
山本 夏生	12	168	中部大学第一高等学校
吉井 海斗	13	184	中部大第一高等学校
波多野 碧音	14	179	桜丘高等学校
小川 秦乃丞	15	183	桜丘高等学校
紺・白			



少年男子

13 滋賀県			
監督 武田 大輔			
選手名	番号	身長	所属
フミング アレキサンダー	④	189	私立光泉カトリック高等学校
岡崎 悠志	5	185	私立光泉カトリック高等学校
芝崎 叶	6	171	私立光泉カトリック高等学校
市村 峰大	7	181	私立光泉カトリック高等学校
桂田 慎仁	8	185	県立彦根翔西館高等学校
坂本 璃光	9	172	私立光泉カトリック高等学校
小林 千晃	10	187	私立光泉カトリック高等学校
森 健	11	181	私立光泉カトリック高等学校
畑 潤弥	12	181	私立光泉カトリック高等学校
穴見 幸樹	13	186	立命館守山高等学校
佐藤 華月	14	165	滋賀レイクスU18
角田 康晴	15	181	Lake Force
青・白			

14 京都府			
監督 福嶋 一夫			
選手名	番号	身長	所属
鎌田 煌士郎	4	186	大谷高等学校
福嶋 大翔	⑤	176	京都府立鳥羽高等学校
荻野 眺	6	168	京都共栄学園高等学校
佐藤 久遠	7	179	東山高等学校
横谷 玲	8	187	洛南高等学校
李 睿俊杰	9	190	洛南高等学校
高森 央	10	180	東山高等学校
野洲 大輔	11	177	東山高等学校
今西 大良	12	184	京都精華学園高等学校
金井 克己	13	181	東山高等学校
與那覇 正朋	14	173	洛南高等学校
朱 恒達	15	190	洛南高等学校
ブルーグリーン・白			

15 大阪府			
監督 浅井 直将			
選手名	番号	身長	所属
西山 幸四朗	④	170	関西大学北陽高等学校
中西 清羽	5	182	阪南大学高等学校
西原 知道	6	188	近畿大学附属高等学校
外村 君夏朗	7	176	K's LEO BASKETBALL CLUB
前川 侑毅	8	185	阪南大学高等学校
中西 凌士	9	180	大阪学院大学高等学校
張 世奇	10	190	関西大学北陽高等学校
箕野 泰毅	11	192	関西大学北陽高等学校
山中 星海	12	174	大阪学院大学高等学校
東 大暁	13	164	金光藤蔭高等学校
上地 陽太	14	189	桃山学院高等学校
河地 蓮太郎	15	193	REDFORCES
紺・白			

16 兵庫県			
監督 田中 敬			
選手名	番号	身長	所属
金沢 權	4	173	報徳学園高等学校
浅井 智也	⑤	176	報徳学園高等学校
久保 星太郎	6	185	報徳学園高等学校
瀧澤 宝礼	7	185	報徳学園高等学校
篠田 凧斗	8	167	育英高等学校
山之上 柊吾	9	183	育英高等学校
田中 亮駕	10	183	彩星工科高等学校
江尻 優惟	11	179	三田松聖高等学校
福井 遙陽	12	170	ゴッドア
吉本 拓志	13	182	ゴッドア
高橋 巧真	14	187	報徳学園高等学校
上野 真拓	15	186	関西学院高等部
紺・白			



少年男子

17 鳥 取 県			
監督 河上 貴博			
選手名	番号	身長	所属
播元 佑哉	4	170	鳥取城北高等学校
角 威武輝	5	175	鳥取城北高等学校
宮城 斗真	6	177	鳥取城北高等学校
山内 貴翔	⑦	185	県立境港総合技術高等学校
松岡 幹汰	8	180	鳥取城北高等学校
松村 拳	9	175	鳥取城北高等学校
杉本 秀虎	10	183	鳥取城北高等学校
上田 陽太	11	178	鳥取城北高等学校
森本 遼	12	180	鳥取城北高等学校
河野 壮真	13	174	鳥取城北高等学校
大徳 愛斗	14	175	米子北高等学校
黒木 祐汰	15	180	鳥取城北高等学校
緑・白			

18 広 島 県			
監督 横田 学			
選手名	番号	身長	所属
随行 太一	④	170	広島県瀬戸内高等学校
重政 来輝	5	180	銀河学院高等学校
胡木 煌夢	6	173	英数学館高等学校
早田 勇亀	7	176	広島県瀬戸内高等学校
東 翠人	8	177	SENDA Bloom
松原 大海	9	176	広島県瀬戸内高等学校
橋本 青空	10	189	県立広島皆実高等学校
曾根 貫汰	11	173	英数学館高等学校
村田 流星	12	170	広島県瀬戸内高等学校
小林 愛翔	13	170	県立広島皆実高等学校
平野 晃成	14	174	広島県瀬戸内高等学校
中山 大斗	15	188	英数学館高等学校
エンジ・白			

19 徳 島 県			
監督 久原 大典			
選手名	番号	身長	所属
佐藤 優悟	④	162	鳴門渦潮高等学校
櫛原 恭真	5	177	城東高等学校
北島 拓馬	6	177	鳴門渦潮高等学校
射場 暖	7	176	鳴門渦潮高等学校
佐々木 涼	8	168	鳴門渦潮高等学校
西岡 拓海	9	177	鳴門渦潮高等学校
西原 伊吹	10	173	鳴門渦潮高等学校
小畠 空	11	180	RIZINGS 徳島
中川 太陽	12	181	鳴門渦潮高等学校
平岡 泰介	13	189	RIZINGS 徳島
朝田 一桜	14	186	海部高等学校
重井 隼颯	15	188	つるぎ高等学校
紺・白			

20 愛 媛 県			
監督 永井 聖太			
選手名	番号	身長	所属
岩井 煌	④	175	愛媛県立松山南高等学校
宇都宮 輝	5	173	新田高等学校
小坂 悠陽	6	170	新田高等学校
森田 美杜	7	179	愛媛県立松山工業高等学校
河村 明慧	8	183	愛媛県立松山北高等学校
荒井 将吾	9	166	愛媛県立松山工業高等学校
神宮 一之亮	10	186	新田高等学校
武田 悠我	11	178	愛媛県立松山工業高等学校
今井 理公	12	183	B.FORCE 愛媛
宇田川 匠蔵	13	171	新田高等学校
森田 圭	14	177	愛媛県立松山工業高等学校
丸金 広翔	15	193	愛媛県立松山東高等学校
オレンジ・白			



少年男子

21 福岡県			
監督 片峯聡太			
選手名	番号	身長	所属
田中 柚 稀	4	172	福岡第一高等学校
平 良 孔 龍	5	176	福岡大学附属大濠高等学校
畠 野 玲 心	6	174	福岡第一高等学校
櫻 井 照 大	⑦	183	福岡大学附属大濠高等学校
久 我 祐 仁	8	185	福岡第一高等学校
讃 井 亮 佑	9	184	福岡第一高等学校
黒 田 健 斗	10	189	福岡大学附属大濠高等学校
栗 本 富美也	11	189	福岡大学附属大濠高等学校
太 田 善	12	194	福岡大学附属大濠高等学校
エルサフィ ファリス	13	192	福岡第一高等学校
白 谷 柱誠 ^{ジャック}	14	195	福岡大学附属大濠高等学校
山 元 珠 來	15	197	福岡大学附属大濠高等学校
青 ・ 白			

22 佐賀県			
監督 舩井宏一			
選手名	番号	身長	所属
中 村 優 日	4	168	佐賀県立佐賀北高等学校
大 屋 虎之助	5	167	佐賀県立佐賀東高等学校
田 崎 敬 也	6	172	佐賀県立佐賀北高等学校
川 口 悠 翔	7	176	佐賀県立佐賀北高等学校
田 中 虎二郎	8	168	佐賀県立佐賀東高等学校
品 川 愛 翔	⑨	177	佐賀県立佐賀北高等学校
福 永 健 太	10	176	佐賀ブルーナーズ U18
金 子 夏惟陸	11	180	佐賀県立佐賀北高等学校
江 口 翔 大	12	180	佐賀県立佐賀西高等学校
西 原 聖 人	13	178	佐賀県立佐賀北高等学校
和 田 睦 生	14	180	佐賀県立佐賀東高等学校
香 月 悠 摩	15	182	佐賀ブルーナーズ U15
水色 ・ 白			

23 熊本県			
監督 田中洋平			
選手名	番号	身長	所属
梶 原 快 斗	4	173	九州学院高等学校
牛 島 優 心	5	190	県立熊本工業高等学校
兼 瀬 心 貴	6	175	九州学院高等学校
藤 原 颯 志	⑦	178	九州学院高等学校
ノーマン 海	8	181	熊本ヴォルターズU15(男子)
浦 下 治 也	9	185	九州学院高等学校
江 藤 想 来	10	180	九州学院高等学校
岩 見 晃 樹	11	188	九州学院高等学校
山 下 翼	12	181	慶誠高等学校
出 井 志 侑	13	195	九州学院高等学校
原 太 希	14	173	熊本ヴォルターズ U15
秋 吉 晟 和	15	182	九州学院高等学校
赤 ・ 白			

24 宮崎県			
監督 時任祐輔			
選手名	番号	身長	所属
中 武 大 翔	④	180	県立宮崎工業高等学校
吉 村 奏 祐	5	180	県立佐土原高等学校
長 山 寧	6	171	延岡学園高等学校
森 琉 真	7	178	県立宮崎工業高等学校
立 元 暖 土	8	170	県立宮崎工業高等学校
多以良 優 葵	9	180	県立宮崎工業高等学校
後 藤 唯 仁	10	185	県立小林高等学校
金 谷 一 輝	11	167	延岡学園高等学校
田 中 晴	12	175	県立宮崎工業高等学校
杉 浦 支 生	13	178	延岡学園高等学校
安 城 辰	14	186	延岡学園高等学校
大 楠 弘 耀	15	179	県立宮崎工業高等学校
青 ・ 白			

少年女子

競技会場

YMITアリーナ
(くさつシティアリーナ)

参加都道府県

- | | |
|--------|--------|
| 1 北海道 | 13 滋賀県 |
| 2 青森県 | 14 京都府 |
| 3 宮城県 | 15 大阪府 |
| 4 秋田県 | 16 兵庫県 |
| 5 埼玉県 | 17 鳥取県 |
| 6 千葉県 | 18 広島県 |
| 7 神奈川県 | 19 愛媛県 |
| 8 山梨県 | 20 高知県 |
| 9 石川県 | 21 福岡県 |
| 10 福井県 | 22 大分県 |
| 11 愛知県 | 23 宮崎県 |
| 12 岐阜県 | 24 沖縄県 |





少年女子

1 北海道			
監督 嶋村圭太			
選手名	番号	身長	所属
石原優月	④	167	札幌山の手高等学校
杉崎椿	5	165	日本航空高等学校北海道校
中西実歩	6	160	札幌山の手高等学校
鳴海咲愛	7	172	札幌山の手高等学校
藤田優海	8	166	日本航空高等学校北海道
菅野愛子	9	172	日本航空高等学校北海道
伊達奏	10	176	札幌山の手高等学校
高橋采恵	11	171	札幌山の手高等学校
岡崎永奈	12	154	日本航空高等学校北海道
軽部あかり	13	168	日本航空高等学校北海道
佐々木桃	14	172	S-UNITE
木下咲弥	15	178	札幌市立東月寒中学校
緑・白			

2 青森県			
監督 小野尚樹			
選手名	番号	身長	所属
古坂楓	4	166	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
駒木芽衣	⑤	169	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
岡田未来	6	172	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
西川優花	7	167	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
花田一夏	8	160	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
須藤来寧	9	157	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
外崎未夢	10	160	青森県立青森商業高等学校
山辺三栗	11	161	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
長尾咲希	12	169	柴田学園大学附属柴田学園高等学校
吉田心優	13	168	八戸学院光星高等学校
今未来莉	14	169	Club D
鈴木咲夢	15	178	ei8htdoor girls
青・白			

3 宮城県			
監督 小野裕			
選手名	番号	身長	所属
池田薫子	④	161	聖和学園高等学校
菅原希音	5	174	聖和学園高等学校
槻田もなみ	6	173	聖和学園高等学校
村岡ひかり	7	167	聖和学園高等学校
佐藤凜	8	171	聖和学園高等学校
佃春瑠	9	170	仙台大学附属明成高等学校
齋藤音乃花	10	166	聖和学園高等学校
千葉逢花	11	169	聖和学園高等学校
谷田薫子	12	169	聖和学園高等学校
幸田なのは	13	165	聖和学園高等学校
宮川歌廉	14	157	聖和学園高等学校
我妻果枝	15	168	聖和学園高等学校
緑・白			

4 秋田県			
監督 成田麻沙美			
選手名	番号	身長	所属
石川美羽	④	173	秋田県立湯沢翔北高等学校
松島のか	5	172	秋田県立秋田北高等学校
宇佐美友彩	6	165	秋田県立湯沢翔北高等学校
鎌田雫	7	158	秋田県立湯沢翔北高等学校
伊藤乃愛	8	162	秋田県立秋田中央高等学校
畠山歌笑良	9	160	秋田県立秋田高等学校
齊藤萌愛	10	169	秋田県立湯沢翔北高等学校
石垣夢凜愛	11	169	秋田県立秋田中央高等学校
村山みお	12	170	秋田県立秋田北高等学校
小林春陽	13	166	秋田県立秋田中央高等学校
平賀凜	14	165	秋田県立湯沢翔北高等学校
阿部叶星	15	162	秋田令和高等学校
エンジ・白			



少年女子

5 埼玉県			
監督 早川 拓			
選手名	番号	身長	所属
倉林 まのか	4	165	埼玉栄高等学校
町田 詩音	⑤	157	埼玉県立久喜高等学校
吉澤 凜花	6	160	正智深谷高等学校
高野 陽葵	7	164	正智深谷高等学校
成田 姫海	8	166	昌平高等学校
戸部 遥愛	9	167	正智深谷高等学校
小川 美波	10	168	正智深谷高等学校
荻原 小春	11	169	HANABUSA
喜多 笑鈴	12	170	正智深谷高等学校
鈴木 凜	13	172	昌平高等学校
森澤 奈々	14	172	埼玉県立久喜高等学校
大口 莉央	15	181	正智深谷高等学校
青・白			

6 千葉県			
監督 高松 淳史			
選手名	番号	身長	所属
洪 潤恵	④	172	千葉英和高等学校
高岡 冬萌	5	173	千葉経済大学附属高等学校
長尾 杏奈	6	172	昭和学院高等学校
山田 莉心	7	175	昭和学院高等学校
中澤 希乃	8	177	昭和学院高等学校
相間 すみれ	9	165	昭和学院高等学校
長山 千鶴	10	167	昭和学院高等学校
北見 千尋	11	168	千葉県立幕張総合高等学校
山本 四葉	12	154	千葉県立幕張総合高等学校
森園 月愛	13	163	千葉英和高等学校
畠澤 花凜	14	170	柏市立柏高等学校
安藤 優菜	15	175	千葉経済大学附属高等学校
青・白			

7 神奈川県			
監督 岡野 晃			
選手名	番号	身長	所属
木村 彩陽	④	168	星槎国際高等学校
横川 光織	6	170	県立横浜立野高等学校
伊藤 結愛乃	5	179	東海大学付属相模高等学校
赤星 妃花	7	167	県立横浜立野高等学校
瀧本 千智	8	173	法政大学第二高等学校
白石 歩	9	164	東海大学付属相模高等学校
本吉 由梨江	10	174	旭丘高等学校
木村 優希	11	171	鶴沼高等学校
五十嵐 優亜	12	172	県立秦野総合高等学校
長谷川 葉南	13	168	県立松陽高等学校
久保田 陽央	14	175	県立相模原弥栄高等学校
棚橋 心結	15	175	鶴沼高等学校
青・白			

8 山梨県			
監督 蒲生 壮扶			
選手名	番号	身長	所属
中川 陽葵	④	174	日本航空高等学校
河野 結生	5	168	日本航空高等学校
長田 一花	6	158	日本航空高等学校
本島 凜	7	163	日本航空高等学校
藤井 春	8	157	日本航空高等学校
石塚 光夢	9	160	日本航空高等学校
桶野 千馨	10	172	日本航空高等学校
種田 愛子	11	170	山梨県立韮崎高等学校
花輪 日葵	12	159	山梨県立韮崎高等学校
花輪 柚沙	13	162	山梨県立韮崎高等学校
松本 彩良	14	151	BC Pesca
廣瀬 莉緒	15	163	BC Pesca
エンジ・白			



少年女子

9 石川県			
監督 中村 勇也			
選手名	番号	身長	所属
金田 弘 楓	④	165	石川県立金沢桜丘高等学校
豊原 璃 佳	5	167	石川県立津幡高等学校
小林 果 歩	6	154	日本航空高等学校石川
井畑 友 伽	7	161	鵬学園高等学校
北脇 未 空	8	166	石川県立津幡高等学校
中山 陽 菜	9	168	石川県立津幡高等学校
関戸 笑 里	10	161	石川県立津幡高等学校
北山 小 桜	11	166	金沢高等学校
安藤 百 花	12	176	金沢学院大学附属高等学校
関 結 菜	13	163	金沢高等学校
岡崎 莉里香	14	160	金沢学院大学附属高等学校
関谷 瑠 那	15	177	金沢学院大学附属高等学校
青 ・ 白			

10 福井県			
監督 満田 高広			
選手名	番号	身長	所属
中尾 咲 良	④	168	足羽高等学校
堀川 来瑠美	5	172	啓新高等学校
阪本 いろは	6	170	福井工業大学附属福井高等学校
宍道 未 空	7	170	福井工業大学附属福井高等学校
田原 莉 桜	8	168	福井工業大学附属福井高等学校
平田 咲 喜	9	167	福井工業大学附属福井高等学校
中村 莉衣奈	10	164	福井工業大学附属福井高等学校
北川 虹	11	162	福井工業大学附属福井高等学校
瀧本 彩	12	162	足羽高等学校
目瀬 汐 莉	13	160	福井工業大学附属福井高等学校
谷 凜々子	14	158	足羽高等学校
中村 綸 花	15	155	福井工業大学附属福井高等学校
紺 ・ 白			

11 愛知県			
監督 福井 崇人			
選手名	番号	身長	所属
竹内 み や	④	161	桜花学園高等学校
太田 莉 央	5	162	桜花学園高等学校
加地 百 花	6	170	桜花学園高等学校
前田 零 奈	7	179	桜花学園高等学校
小田 陽夏子	8	174	桜花学園高等学校
佐藤 亜 美	9	174	桜花学園高等学校
玉木 さくら	10	170	桜花学園高等学校
菅原 ゆ う	11	170	桜花学園高等学校
坂本 青 空	12	170	桜花学園高等学校
熊野 杏 香	13	179	桜花学園高等学校
榎畑 梨 緒	14	165	桜花学園高等学校
ケースク アナヒタ	15	183	桜花学園高等学校
青 ・ 白			

12 岐阜県			
監督 面高 春奈			
選手名	番号	身長	所属
青木 心 夢	④	170	岐阜女子高等学校
信田 琴 和	5	174	岐阜女子高等学校
小池 夏 歩	6	165	岐阜女子高等学校
小嶋 紗 英	7	174	岐阜女子高等学校
上原 小 春	8	171	岐阜女子高等学校
牧川 葵 雲	9	167	岐阜女子高等学校
花吉 詩 南	10	170	岐阜女子高等学校
佐々木 栞 奈	11	174	岐阜女子高等学校
伊藤 里 菜	12	168	岐阜県立岐阜商業高等学校
藤原 有妃那	13	158	岐阜県立岐阜商業高等学校
馬場 咲彩子	14	167	岐阜県立岐阜商業高等学校
白木 まあり	15	162	岐阜県立岐阜商業高等学校
赤 ・ 白			



少年女子

13 滋賀県			
監督 前川 慎 輔			
選手名	番号	身長	所属
青山 流音	④	167	近江兄弟社高等学校
山元 葵	5	169	県立草津東高等学校
大西 心春	6	156	近江兄弟社高等学校
中村 千暖	7	163	県立草津東高等学校
長岡 莉夢	8	164	伊吹高等学校
伊藤 杏果	9	155	伊吹高等学校
藤本 真緒	10	159	県立草津東高等学校
大工谷 真奈	11	167	近江兄弟社高等学校
小島 瑠海	12	166	県立草津東高等学校
伊藤 里桜	13	156	県立草津東高等学校
池戸 莉心	14	162	Team Trust
谷 優羽	15	173	IBS Girl
青・白			

14 京 都 府			
監督 米 長 真 夫			
選手名	番号	身長	所属
田中 里旺	④	161	京都精華学園高等学校
仲江 遥香	5	162	京都精華学園高等学校
奥殿 日南子	6	160	京都精華学園高等学校
外川 穂華	7	162	京都両洋高等学校
松田 梨月	8	159	京都精華学園中学校
永尾 芽希	9	168	京都精華学園中学校
石綿 文	10	186	京都精華学園高等学校
大木 一樺	11	173	京都精華学園高等学校
田中 百音	12	174	京都精華学園高等学校
中村 瑠花	13	176	京都精華学園高等学校
長瀬 萌々奈	14	169	京都精華学園高等学校
オデア カウエル リツ	15	193	京都精華学園高等学校
ブルーグリーン・白			

15 大 阪 府			
監督 安 藤 香 織			
選手名	番号	身長	所属
細澤 幸生	④	174	大阪薫英女学院高等学校
篠岡 紗菜	5	171	関西大学第一高等学校
大槻 佳子	6	163	大阪薫英女学院高等学校
吉田 沙希	7	173	大阪薫英女学院高等学校
今井 優蕾	8	178	大阪薫英女学院高等学校
後藤 稀泉	9	166	好文学園女子高等学校
君島 凜	10	177	大阪薫英女学院高等学校
清水 莉子	11	172	大阪薫英女学院高等学校
桑名 瑠愛	12	162	大阪薫英女学院高等学校
上田 結菜	13	162	大阪薫英女学院中学校
衣斐 小春	14	156	KONAN WILD TRICKYS
原口 侑芽	15	170	RED FROGS
紺・白			

16 兵 庫 県			
監督 常 盤 将 宏			
選手名	番号	身長	所属
小林 明香里	④	160	神戸龍谷高等学校
井村 真依	5	168	三田松聖高等学校
野間口 咲乃	6	159	県立宝塚西高等学校
村岸 芽依	7	167	尼崎市立尼崎高等学校
東平 幸冬	8	165	園田学園高等学校
日比野 仁誇	9	167	三田松聖高等学校
前西 詩音	10	162	神戸星城高等学校
岡田 マリア	11	167	三田松聖高等学校
松本 結月	12	170	三田松聖高等学校
魚住 璃香	13	171	三田松聖高等学校
中村 莉碧	14	163	三田松聖高等学校
笹川 結愛	15	168	team DENY
紺・白			



少年女子

17 鳥 取 県			
監督 石谷 洋 祐			
選手名	番号	身長	所 属
横 山 彩 乃	4	160	鳥取東高等学校
濱 田 そよ花	5	176	鳥取城北高等学校
濱 田 優	6	175	鳥取城北高等学校
安 藤 玲	⑦	181	鳥取城北高等学校
田 尻 百々花	8	165	鳥取城北高等学校
新 美 璃 紅	9	158	鳥取城北高等学校
下 村 恵	10	156	鳥取城北高等学校
阿 部 まりん	11	171	鳥取城北高等学校
渡 邊 愛	12	160	鳥取南中学校
森 岡 怜 那	13	162	SHINY WAVES
前 田 芽 郁	14	167	米子松蔭高等学校
EFEADUE FAVOUR EKEMENA	15	187	鳥取城北高等学校
緑 ・ 白			

18 広 島 県			
監督 畝 本 奈 穂			
選手名	番号	身長	所 属
愛 洲 瑞 絆	④	159	広島県立広島皆実高等学校
東 鬼 莉 子	5	166	呉市立呉高等学校
永 川 里 桜	6	172	清水ヶ丘高等学校
平 川 紗 蘭	7	162	清水ヶ丘高等学校
山 村 柚 子	8	155	比治山女子高等学校
阿 部 明 里	9	156	銀河学院高等学校
酒 井 結 菜	10	164	広島県立広島観音高等学校
丸 山 桃 奈	11	168	広島県立広島皆実高等学校
尾 上 ことは	12	170	比治山女子高等学校
助 宮 朱 莉	13	171	銀河学院高等学校
秋 田 光 梨	14	155	比治山女子高等学校
横 川 柚 季	15	160	広島県立広島皆実高等学校
エンジ ・ 白			

19 愛 媛 県			
監督 後 藤 良 太			
選手名	番号	身長	所 属
権 藤 寧 々	④	168	聖カタリナ学園高等学校
八 木 沙都希	5	170	聖カタリナ学園高等学校
藤 原 安 那	6	172	聖カタリナ学園高等学校
曾我部 好 花	7	169	FC今治高等学校明德校
北 川 遊 稀	8	166	FC今治高等学校明德校
曾我部 琉 依	9	161	FC今治高等学校明德校
清 藤 夏 望	10	168	FC今治高等学校明德校
松 澤 栞 奈	11	167	聖カタリナ学園高等学校
安 藤 心 結	12	155	聖カタリナ学園高等学校
佐 藤 綾 乃	13	167	聖カタリナ学園高等学校
松 下 遥 希	14	161	聖カタリナ学園高等学校
今 川 愉 生	15	171	済美高等学校
オレンジ ・ 白			

20 高 知 県			
監督 高 橋 竜 二			
選手名	番号	身長	所 属
平 良 美 海	④	160	高知中央高等学校
花 岡 芽 紗	5	164	高知商業高等学校
戸 田 樹 里	6	157	高知商業高等学校
市 川 夕 海	7	156	高知中央高等学校
植 木 麻 結	8	168	明德義塾高等学校
大 山 咲 月	9	169	高知商業高等学校
豊 田 詩 依	10	160	明德義塾高等学校
江 良 咲 貴子	11	160	高知中央高等学校
長 尾 菜 花	12	169	高知中央高等学校
山 田 彩 心	13	168	NSH
萬 正 楓	14	172	高知中央高等学校
濱 田 果 乃	15	160	高知商業高等学校
黒 ・ 白			



少年女子

21 福岡県			
監督 大上 晴司			
選手名	番号	身長	所属
松下 ななみ	4	156	精華女子高等学校
岸 副 瑠子	5	155	精華女子高等学校
岩山 友香	6	160	東海大学附属福岡高等学校
竹地 優 茉	7	163	精華女子高等学校
小宮 愛 結	8	164	福岡大学附属若葉高等学校
内野 由 愛	9	166	福岡大学附属若葉高等学校
小浜 結 羽	10	168	東海大学附属福岡高等学校
飯田 結 愛	11	168	東海大学附属福岡高等学校
工藤 結 心	12	168	東海大学附属福岡高等学校
後藤 帆乃果	13	171	精華女子高等学校
弓取 陽	14	173	東海大学附属福岡高等学校
内田 弓 愛	⑮	175	東海大学附属福岡高等学校
青 ・ 白			

22 大分県			
監督 杉山 真裕実			
選手名	番号	身長	所属
中谷 美海	4	156	明豊高等学校
崎谷 華名	5	156	明豊高等学校
繁松 椿	6	158	明豊高等学校
安田 結希	7	158	大分高等学校
前田 さくら	8	161	大分中学校
中川 衣音	9	163	大分高等学校
坂本 郁歩	⑩	164	大分県立日田高等学校
北村 実々	11	166	明豊高等学校
本田 惟千花	12	170	中津 GIGADEINS
小村 梓	13	171	大分高等学校
野田 珠理	14	172	明豊高等学校
竹下 希遥	15	172	大分高等学校
黒 ・ 白			

23 宮崎県			
監督 橘 裕			
選手名	番号	身長	所属
中野 二 琴	④	165	県立小林高等学校
高間 仁 香	5	164	県立宮崎商業高等学校
山下 優 莉	6	156	延岡学園高等学校
山元 楓 愛	7	173	県立小林高等学校
山田 智 香	8	172	延岡学園高等学校
高木 望 叶	9	168	日章学園高等学校
清山 凜 実	10	164	県立宮崎商業高等学校
岑 美紗貴	11	162	県立小林高等学校
徳重 心 晴	12	158	県立小林高等学校
増井 ひなた	13	159	日章学園高等学校
前田 明日香	14	163	県立小林高等学校
佐藤 一 叶	15	171	県立小林高等学校
青 ・ 白			

24 沖縄県			
監督 西田 陽子			
選手名	番号	身長	所属
津波古 七 灯	4	164	沖縄県立那覇高等学校
上原 楓 愛	⑤	153	沖縄県立那覇高等学校
山内 杏 姫	6	170	沖縄県立石川高等学校
今井 圓 子	7	172	沖縄県立向陽高等学校
新垣 璃利子	8	168	沖縄県立石川高等学校
渡久地 日 花	9	168	沖縄県立石川高等学校
平良 香 葉	10	165	沖縄県立向陽高等学校
角田 李 央	11	168	沖縄県立那覇高等学校
神元 笑	12	164	沖縄県立石川高等学校
平良 陽 菜	13	164	沖縄県立知念高等学校
松堂 莉 杏	14	157	沖縄県立石川高等学校
鶴田 りりあ	15	160	沖縄県立知念高等学校
青 ・ 白			



男女総合（天皇杯得点）成績一覽

都道府県	種別 順位得点	成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		参加 得点	合計	順位
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点			
1	北海道											
2	青森県											
3	岩手県											
4	宮城県											
5	秋田県											
6	山形県											
7	福島県											
8	茨城県											
9	栃木県											
10	群馬県											
11	埼玉県											
12	千葉県											
13	東京都											
14	神奈川県											
15	山梨県											
16	新潟県											
17	長野県											
18	富山県											
19	石川県											
20	福井県											
21	静岡県											
22	愛知県											
23	三重県											
24	岐阜県											
25	滋賀県											
26	京都府											
27	大阪府											
28	兵庫県											
29	奈良県											
30	和歌山県											
31	鳥取県											
32	島根県											
33	岡山県											
34	広島県											
35	山口県											
36	香川県											
37	徳島県											
38	愛媛県											
39	高知県											
40	福岡県											
41	佐賀県											
42	長崎県											
43	熊本県											
44	大分県											
45	宮崎県											
46	鹿児島県											
47	沖縄県											



女子総合（皇后杯得点）成績一覽

都道府県	種別 順位得点	成年女子		少年女子		参加得点	合計	順位
		順位	競技得点	順位	競技得点			
1	北海道							
2	青森県							
3	岩手県							
4	宮城県							
5	秋田県							
6	山形県							
7	福島県							
8	茨城県							
9	栃木県							
10	群馬県							
11	埼玉県							
12	千葉県							
13	東京都							
14	神奈川県							
15	山梨県							
16	新潟県							
17	長野県							
18	富山県							
19	石川県							
20	福井県							
21	静岡県							
22	愛知県							
23	三重県							
24	岐阜県							
25	滋賀県							
26	京都府							
27	大阪府							
28	兵庫県							
29	奈良県							
30	和歌山県							
31	鳥取県							
32	島根県							
33	岡山県							
34	広島県							
35	山口県							
36	香川県							
37	徳島県							
38	愛媛県							
39	高知県							
40	福岡県							
41	佐賀県							
42	長崎県							
43	熊本県							
44	大分県							
45	宮崎県							
46	鹿児島県							
47	沖縄県							



過去の成績一覧

回数	開催地	種目	成年男子 (一般の部)	成年男子 (教員種目の部)	成年女子	少年男子	少年女子
第1回	京都府		東京都 (東京学士大)		福岡県 (橘大)	東京都 (墨田工業)	
第2回	石川県					北海道 (札幌一中)	北海道 (函館女高)
第3回	福岡県		東京都 (東京学士大)			京都府 (山城高)	埼玉県 (浦和一女高)
第4回	東京都					北海道 (札幌一高)	埼玉県 (浦和一女高)
第5回	愛知県		神奈川県			福岡県 (福岡高)	埼玉県 (浦和一女高)
第6回	広島県					福岡県 (福岡高)	長野県 (染谷丘高)
第7回	東北三県		東京都 (日本鉱業)		東京都 (興業銀行)	北海道 (札幌南高)	栃木県 (栃木女高)
第8回	四国四県		東京都 (三井生命)		大阪府 (日紡大阪)	佐賀県 (佐賀高)	岡山県 (就実高)
第9回	北海道		大阪府		埼玉県		
第10回	神奈川県		大阪府	静岡県	静岡県	新潟県 (三条高)	埼玉県 (浦和一女高)
第11回	兵庫県		東京都	北海道	秋田県 (秋田営林局)	新潟県 (新発田商工高)	静岡県 (静岡精華高)
第12回	静岡県		東京都	新潟県	埼玉県	埼玉県 (浦和商高)	島根県 (安来高)
第13回	富山県		東京都	新潟県	福島県	島根県 (松江工高)	秋田県 (秋田北高)
第14回	東京都		東京都	神奈川県	埼玉県	京都府 (山城高)	埼玉県 (浦和一女高)
第15回	熊本県		福岡県 (八幡製鉄)	東京都	大阪府 (日紡平野)	東京都 (中大杉並高)	埼玉県 (浦和一女高)
第16回	秋田県		神奈川県 (日本鋼管)	東京都	大阪府 (日紡平野)	静岡県 (静岡高)	栃木県 (栃木女高)
第17回	岡山県		神奈川県 (日本鋼管)	静岡県	愛知県	京都府 (山城高)	静岡県 (静岡精華高)
第18回	山口県		福岡県 (八幡製鉄)	静岡県	愛知県 (三菱電機名古屋)	東京都 (中大附属高)	愛知県 (名古屋女子商高)
第19回	新潟県		神奈川県 (日本鋼管)	新潟県	大阪府 (二子平野)	島根県 (松江工高)	新潟県 (高田北城高)
第20回	岐阜県		東京都 (日本鉱業)	静岡県	大阪府 (二子平野)	山形県 (日大山形高)	愛知県 (安城短大附属高)
第21回	大分県		福岡県 (八幡製鉄)	岐阜県	大阪府 (オール二子平野)	東京都 (中大附属高)	愛知県 (安城短大附属高)
第22回	埼玉県		神奈川県 (日本鋼管)	埼玉県	京都府 (日本レーヨン)	秋田県 (能代工高)	秋田県 (大曲高)
第23回	福井県		大阪府 (住友金属)	静岡県	京都府 (日本レーヨン)	神奈川県 (相模工大附属高)	福井県 (高志高)
第24回	長崎県		東京都 (三井生命)	長崎県	京都府 (ユニチカ宇治)	静岡県 (全静岡)	愛知県 (全愛知)
第25回	岩手県		千葉県 (新日本製鉄)	千葉県	東京都 (日本勤業銀行)	秋田県 (能代工高)	愛知県 (全愛知)
第26回	和歌山県		千葉県 (新日本製鉄)	宮城県	大阪府 (ユニチカ山崎)	東京都 (全東京)	秋田県 (全秋田)
第27回	鹿児島県		愛知県	静岡県	埼玉県	東京都	長崎県
第28回	千葉県		千葉県	宮城県	埼玉県	東京都	秋田県
第29回	茨城県		愛知県	千葉県	東京都	茨城県	大阪府
第30回	三重県		三重県	茨城県	山梨県	秋田県	大阪府
第31回	佐賀県		三重県	熊本県	静岡県	秋田県	東京都
第32回	青森県		東京都	東京都	愛知県	茨城県	大阪府
第33回	長野県		愛知県	熊本県	愛知県	茨城県	大阪府
第34回	宮崎県		秋田県	栃木県	埼玉県	福岡県	宮崎県
第35回	栃木県		千葉県		埼玉県	秋田県	東京都

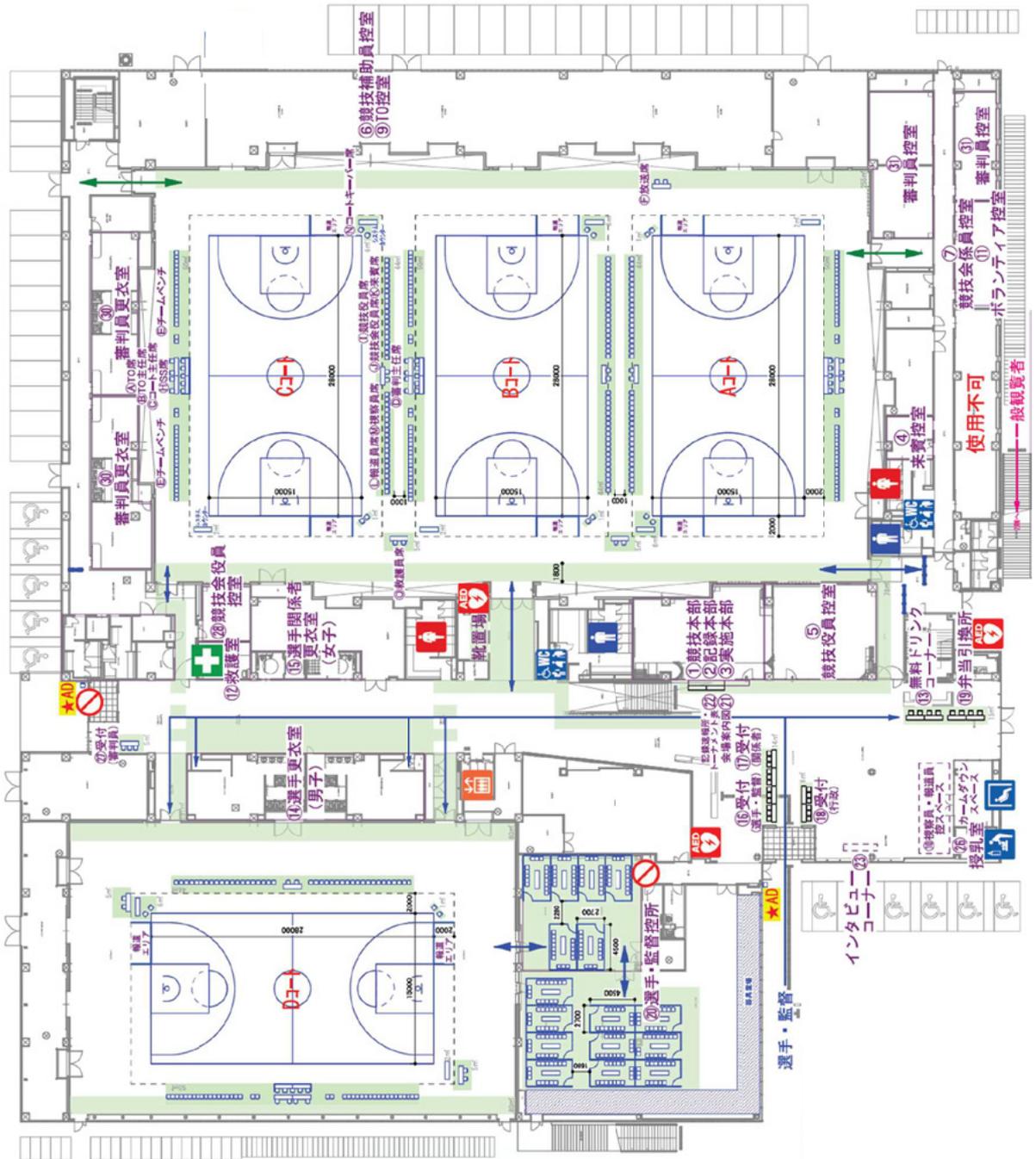


回数	開催地	種 目	成年男子	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子
		(一般の部)	(教員種目の部)				
第36回	滋賀県	滋賀県			大阪府	滋賀県	兵庫県
第37回	島根県	島根県			東京都	秋田県	兵庫県
第38回	群馬県	秋田県			福岡県	秋田県	東京都
第39回	奈良県	千葉県			兵庫県	東京都	東京都
第40回	鳥取県	山梨県			福岡県	秋田県	大阪府
第41回	山梨県	山梨県			福岡県	東京都	千葉県
第42回	沖縄県	秋田県			福岡県	沖縄県	東京都
第43回	京都府	京都府			京都府	秋田県	愛知県
第44回	北海道	秋田県			兵庫県	秋田県	愛知県
第45回	福岡県	山形県			愛知県	京都府	愛知県
第46回	石川県	山形県			愛知県	秋田県	東京都
第47回	山形県	山形県			徳島県	愛知県	愛知県
第48回	徳島県	愛知県			徳島県	福岡県	愛知県
第49回	愛知県	愛知県			愛知県	福岡県	愛知県
第50回	福島県	秋田県			福島県	福岡県	愛知県
第51回	広島県	神奈川県			広島県	秋田県	愛知県
第52回	大阪府	大阪府			大阪府	秋田県	東京都
第53回	神奈川県	熊本県			愛知県	秋田県	愛知県
第54回	熊本県	神奈川県			熊本県	宮崎県	愛知県
第55回	富山県	富山県			愛知県	宮城県	富山県
第56回	宮城県	宮城県			宮城県	千葉県	愛知県
第57回	高知県	愛知県			愛知県	京都府	静岡県
第58回	静岡県	大阪府			愛知県	福岡県	愛知県
第59回	埼玉県	大阪府			愛知県	東京都	福岡県
第60回	岡山県	奈良県			長崎県	東京都	東京都
第61回	兵庫県	福岡県			山形県	福岡県	愛知県
第62回	秋田県	千葉県			秋田県	秋田県	愛知県
第63回	大分県	千葉県			東京都	京都府	東京都
第64回	新潟県	山形県			山形県	京都府	愛知県
第65回	千葉県	千葉県			千葉県	福岡県	北海道
第66回	山口県	東京都			愛知県	宮崎県	北海道
第67回	岐阜県	岐阜県			秋田県	京都府	岐阜県
第68回	東京都	東京都			栃木県	東京都	愛知県
第69回	長崎県	福岡県			秋田県	福岡県	愛知県
第70回	和歌山県	愛知県			山形県	茨城県	愛知県
第71回	岩手県	東京都			栃木県	京都府	愛知県
第72回	愛媛県	秋田県			秋田県	京都府	岐阜県
第73回	福井県	秋田県			熊本県	福岡県	愛知県
第74回	茨城県	秋田県			愛知県	福岡県	愛知県
第75回	鹿児島県				延期		
第76回	三重県				中止		
第77回	栃木県	秋田県			滋賀県	茨城県	愛知県
特別	鹿児島県	秋田県			東京都	茨城県	京都府
第78回	佐賀県	三重県			栃木県	福岡県	京都府
第79回	滋賀県						



滋賀ダイハツアリーナ 会場案内図

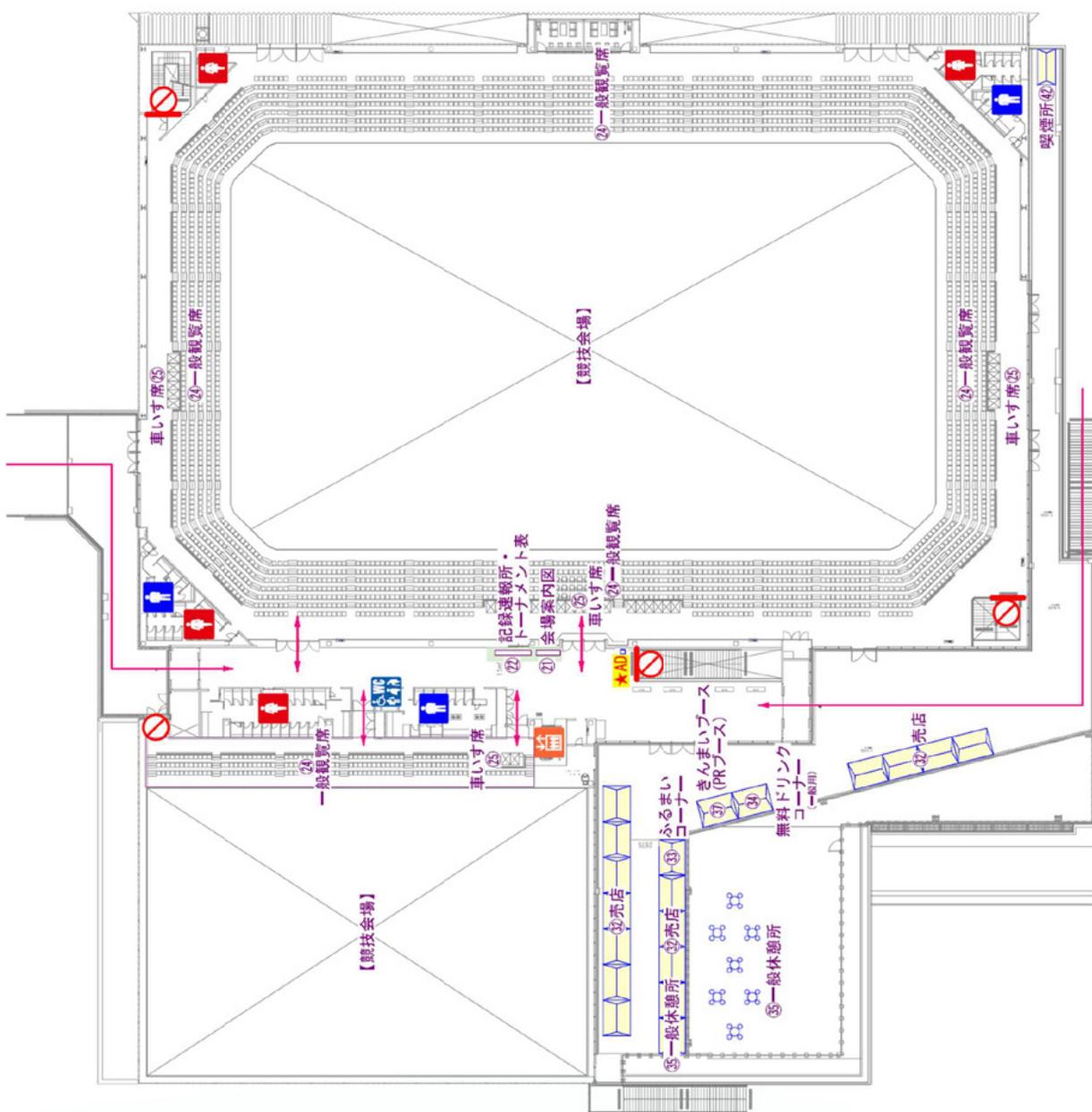
バスケットボール開催1日目 1階





滋賀ダイハツアリーナ 会場案内図

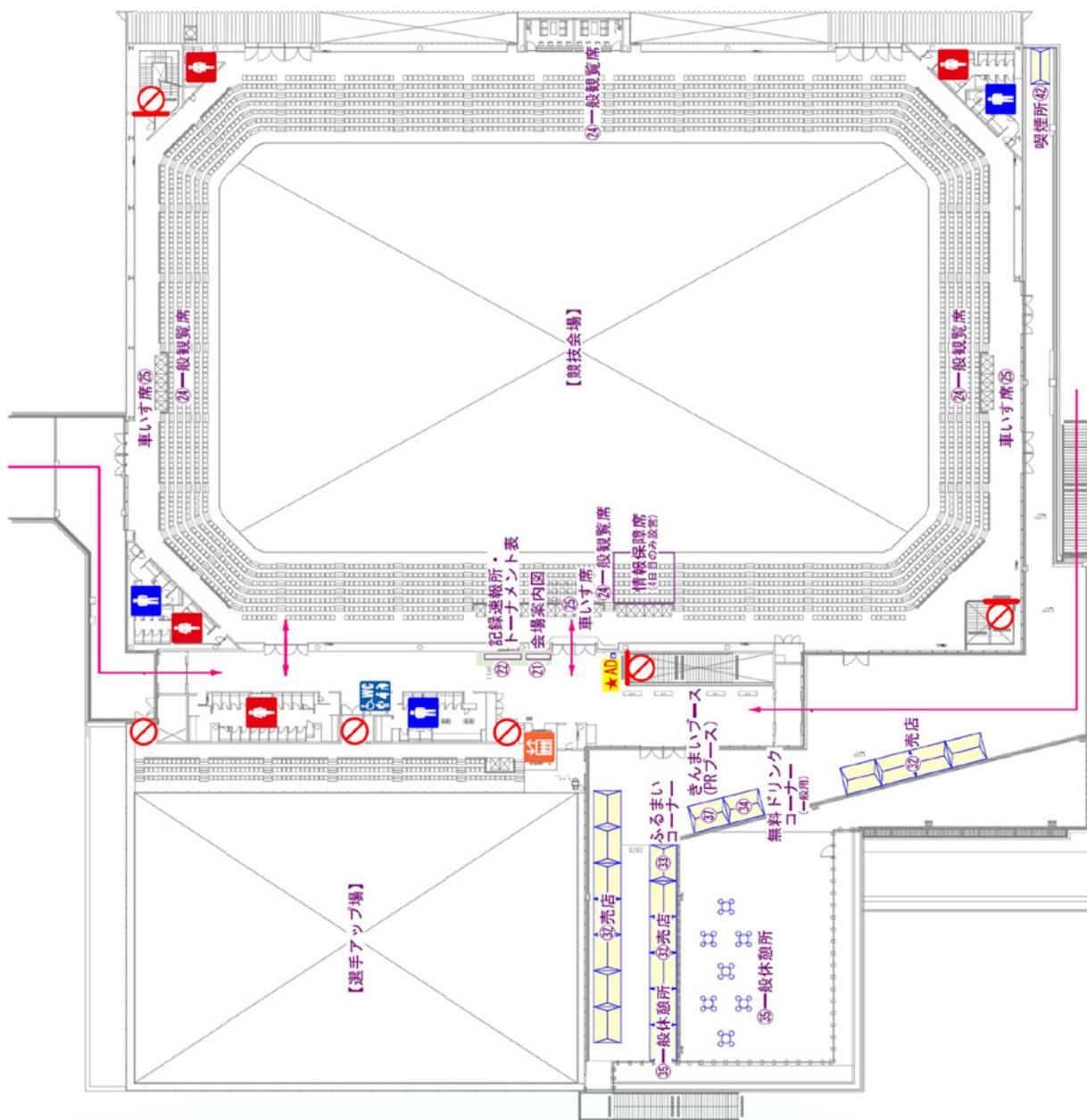
バスケットボール開催1日目 2階





滋賀ダイハツアリーナ 会場案内図

バスケットボール開催2～5日目 2階



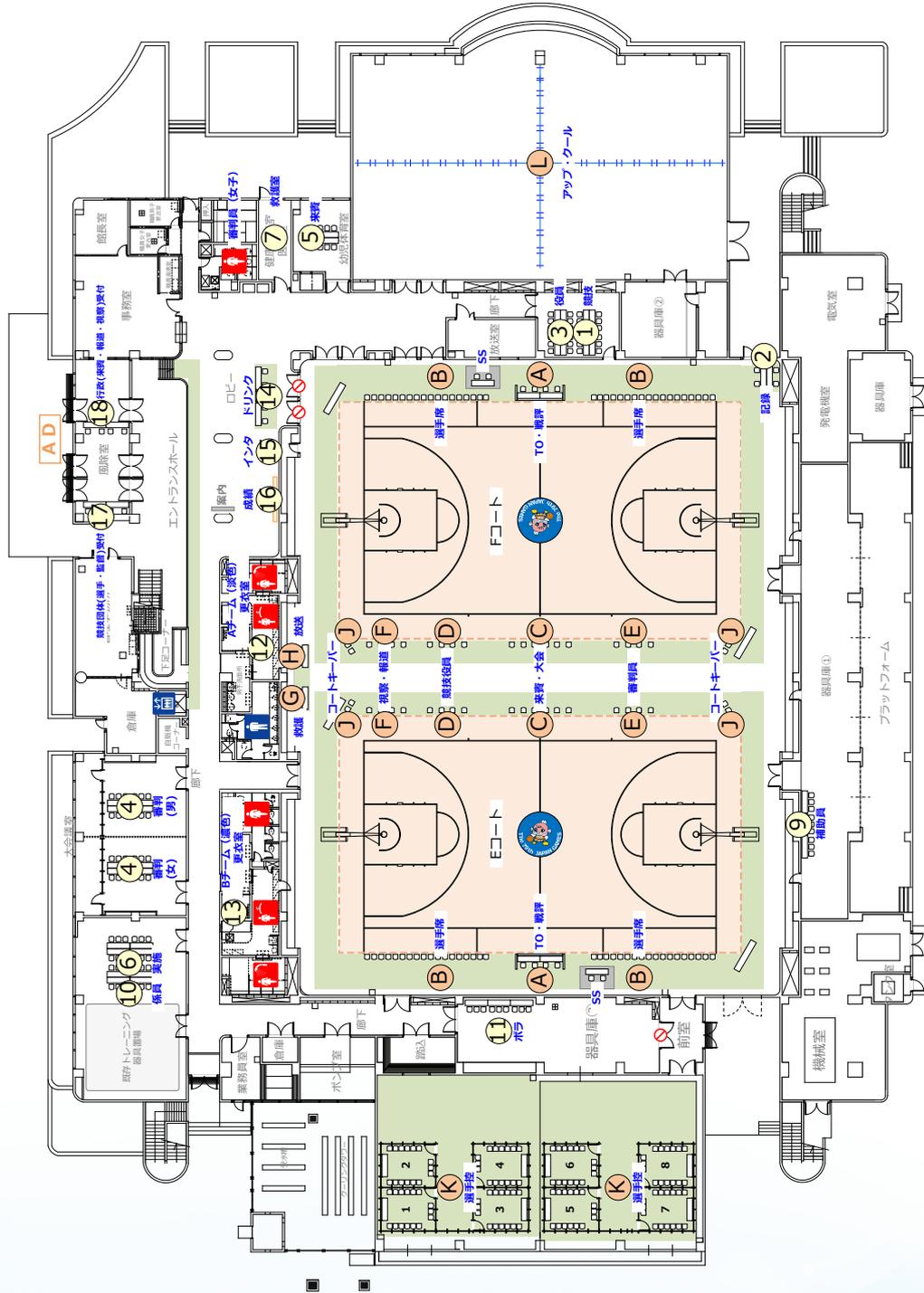


野洲市総合体育館 会場案内図

バスケットボール開催1～3日目 (2コート)

NO.	施設名
A	TO・戦評・SS席
B	選手席
C	来賓・大会役員席
D	競技役員席
E	審判員席
F	視察員・報道員席
G	救放席
H	コートキーパー席
J	選手控室
K	アップ・クールダウンエリア

NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技係員控室
11	ボランティア控室
12	Aチーム(淡色)更衣室
13	Bチーム(濃色)更衣室
14	ドリンクコーナー
15	インタビュコーナー
16	成績掲示板
17	競技団体(選手・監督)受付
18	行政(来賓・報道・視察)受付
19	カームダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉席
22	授乳室
23	



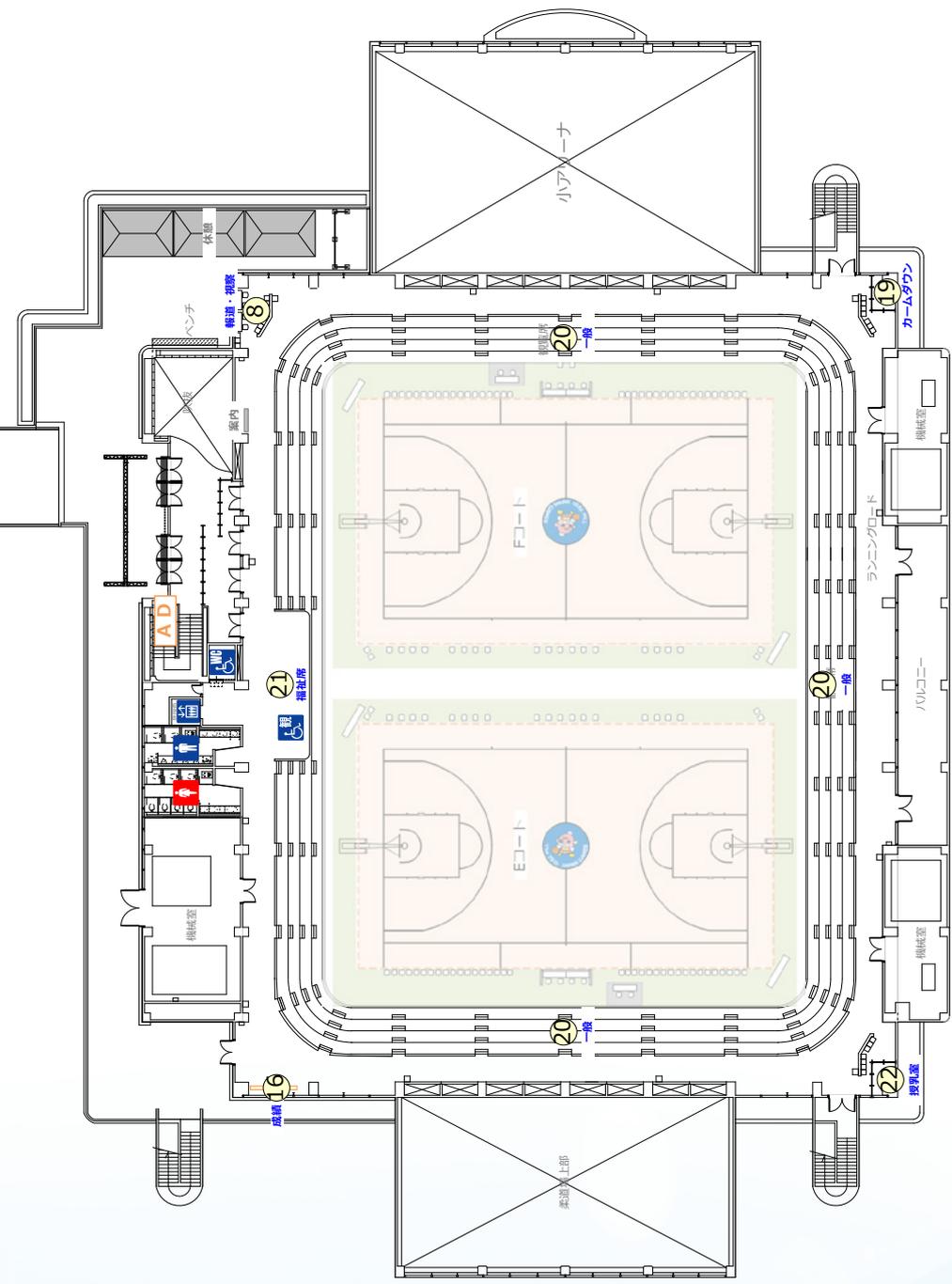


野洲市総合体育館 会場案内図

NO.	施設名
A	TO・戦評・SS席
B	選手席
C	来賓・大会役員席
D	競技役員席
E	審判員席
F	視察員・報道員席
G	救護員席
H	放送席
J	コートキーパー席
K	選手控室
L	アップ・クールダウンエリア

NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技係員控室
11	ボランティア控室
12	Aチーム(淡色)更衣室
13	Bチーム(濃色)更衣室
14	ドリンクコーナー
15	インタビュースタッフ
16	成績掲示板
17	競技団体(選手・監督)受付
18	行政(来賓・報道・視察)受付
19	カムダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉社
22	授乳室
23	

バスケットボール開催1~3日目(2コート)



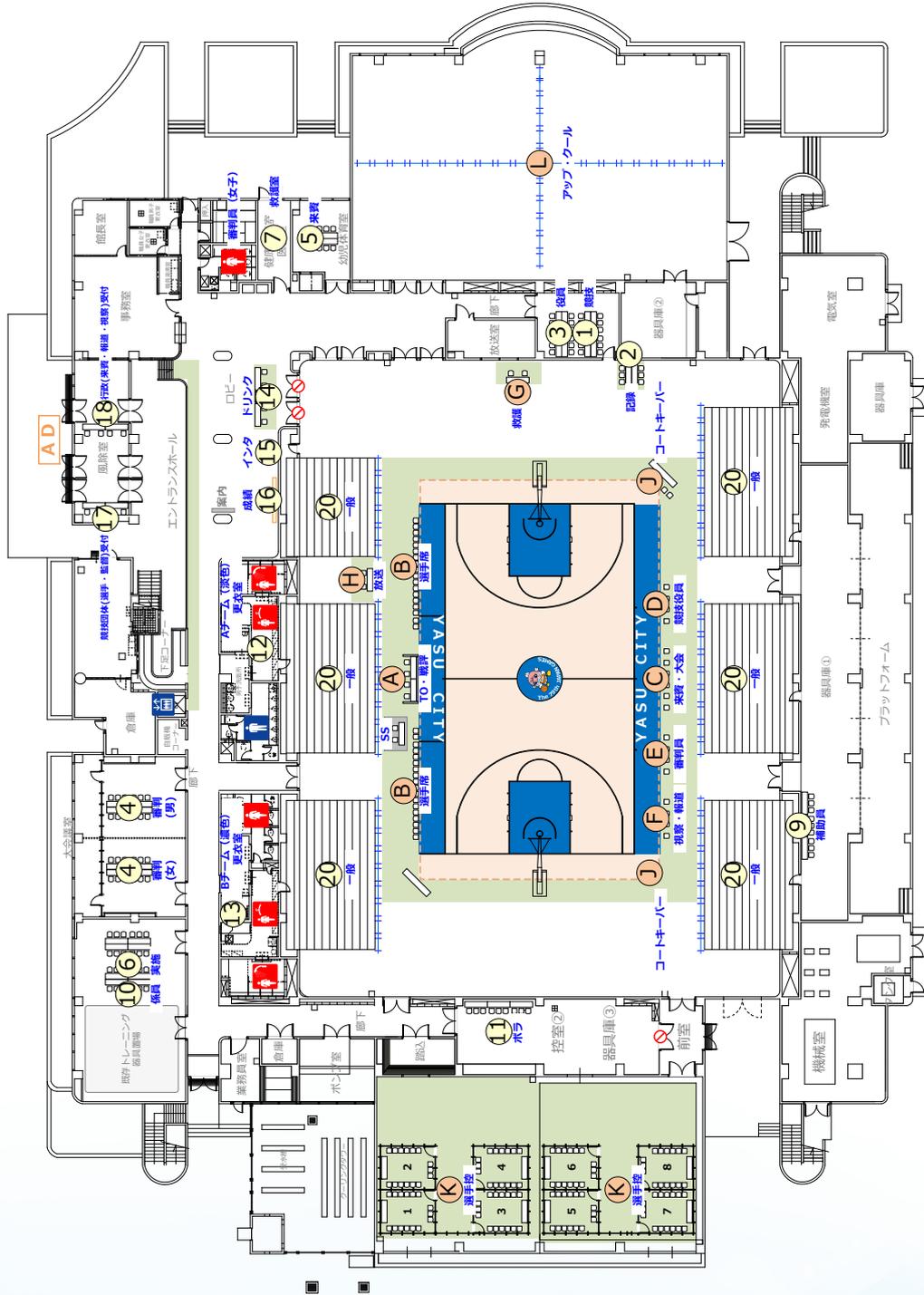


野洲市総合体育館 会場案内図

バスケットボール決勝（1コート）

NO.	施設名
A	TO・戦評・SS席
B	選手席
C	来賓・大会役員席
D	競技役員席
E	審判員席
F	視察員・報道員席
G	救放席
H	コートキーパー席
J	選手控室
K	アップ・クールダウンエリア

NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技係員控室
11	ボランティア控室
12	Aチーム(淡色)更衣室
13	Bチーム(濃色)更衣室
14	ドリンクコーナー
15	インタビュコーナー
16	成績掲示板
17	競技団体(選手・監督)受付
18	行政(来賓・報道・視察)受付
19	カームダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉席
22	授乳室
23	

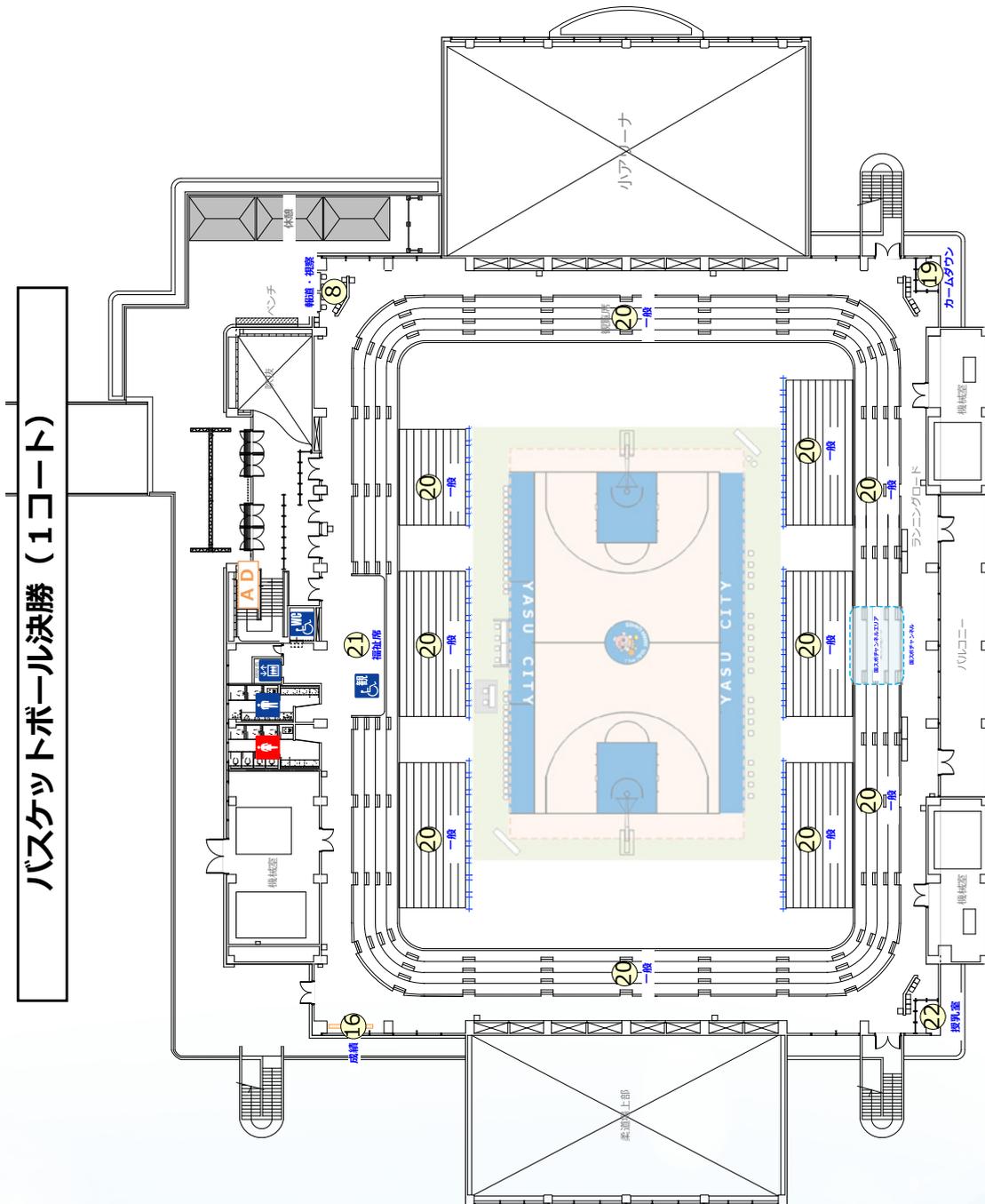




野洲市総合体育館 会場案内図

NO.	施設名
A	TO・戦評・SS席
B	選手席
C	来賓・大会役員席
D	競技役員席
E	審判員席
F	視察員・報道員席
G	救護員席
H	放送席
J	コートキーパー席
K	選手控室
L	アップ・クールダウンエリア

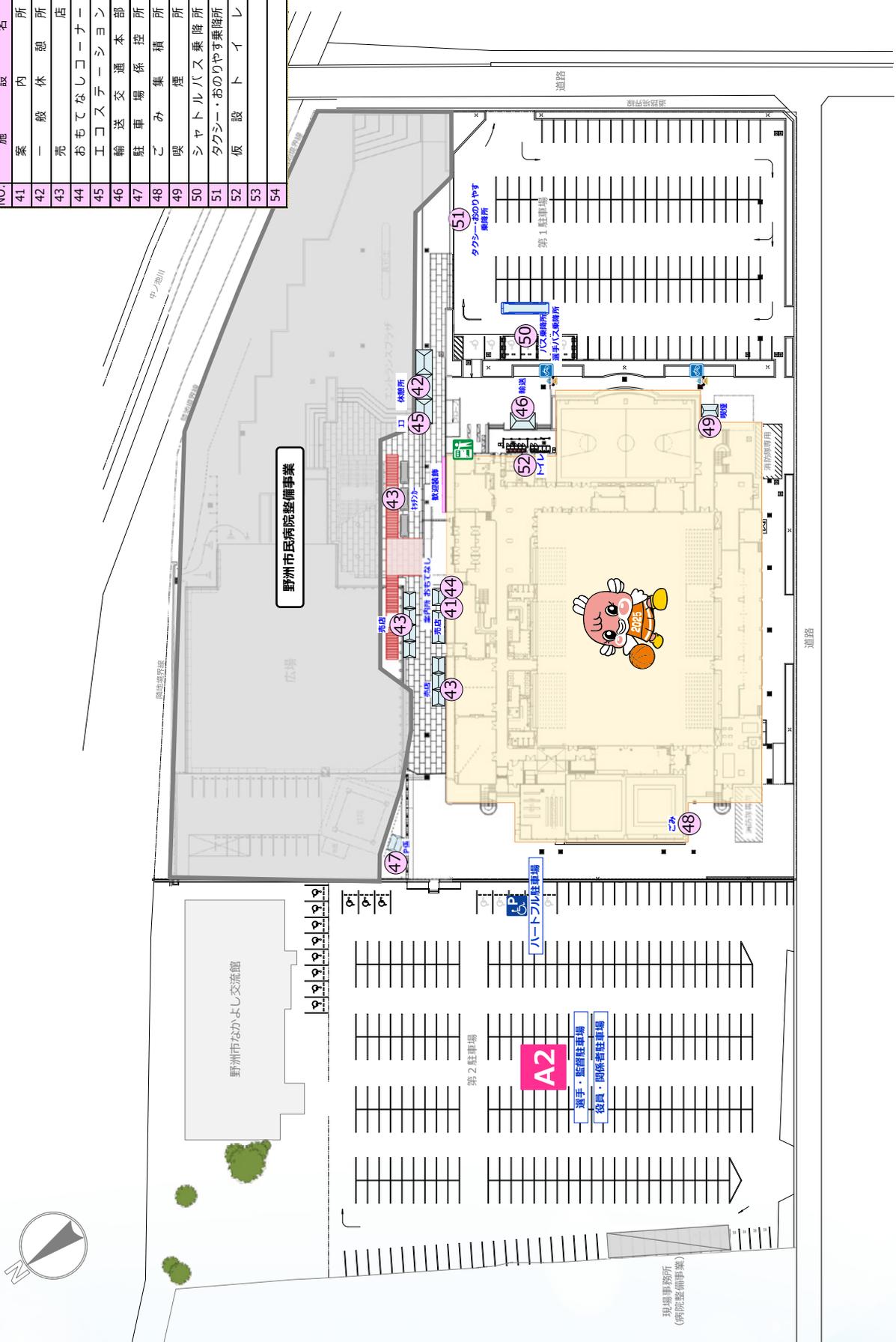
NO.	施設名
1	競技本部
2	記録本部
3	競技役員控室
4	審判員控室
5	来賓控室
6	実施本部
7	救護室
8	報道員・視察員控室
9	競技補助員控室
10	競技係員控室
11	ポランティア控室
12	Aチーム(淡色)更衣室
13	Bチーム(濃色)更衣室
14	ドリンクコーナー
15	インタビュコーナー
16	成績掲示板
17	競技団体(選手・監督)受付
18	行政(来賓・報道・視察)受付
19	カムダウンスペース
20	一般観客席
21	福祉席
22	授乳室
23	





野洲市総合体育館 会場案内図

NO.	施設名
41	案内所
42	一般休憩所
43	売店
44	おもてなしコーナー
45	エコステーション
46	輸送本部
47	駐車場係控所
48	ごみ集積所
49	喫煙所
50	シャトルバス乗降所
51	タクシー・おのりや乗降所
52	仮設トイレ
53	
54	





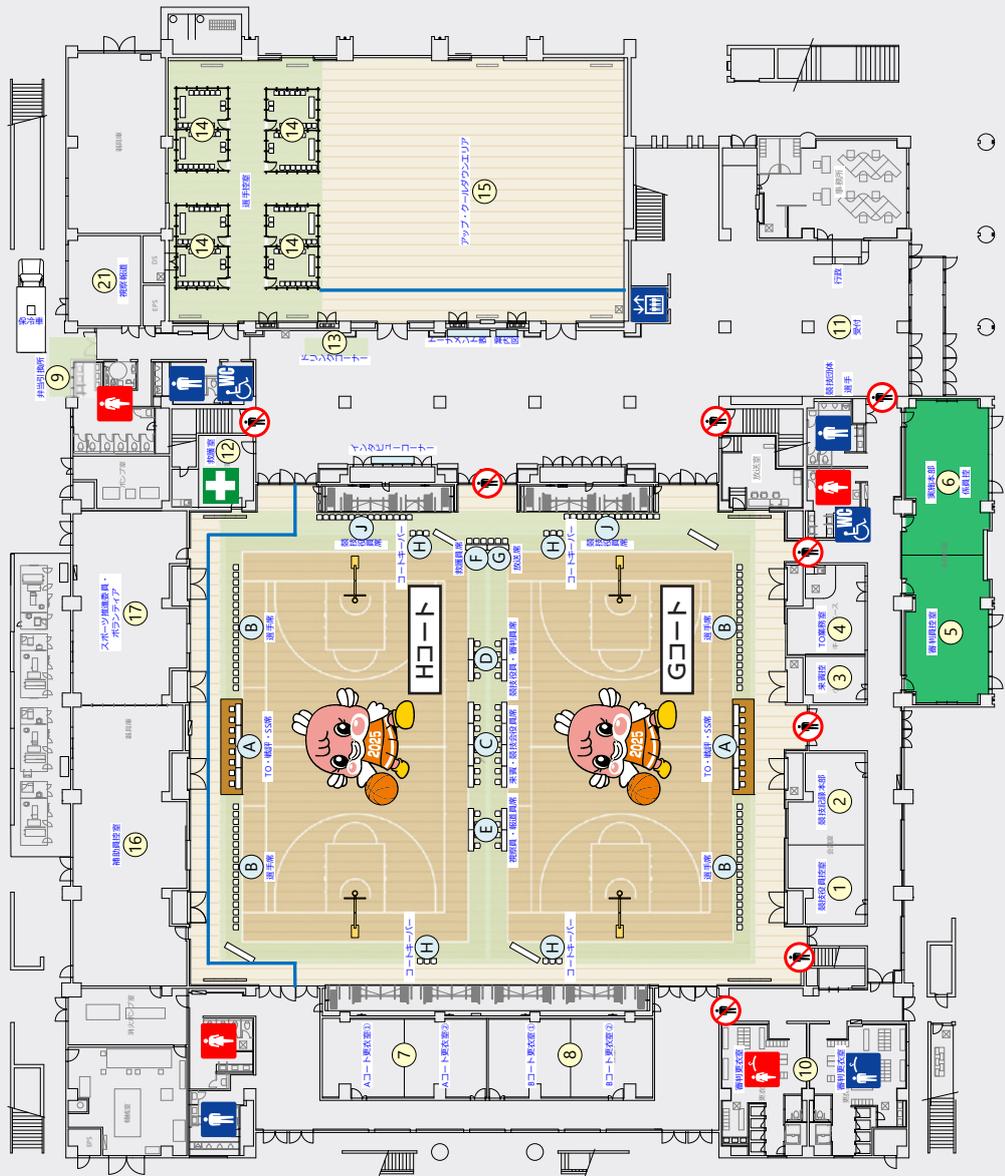
YMIT アリーナ 会場案内図

バスケットボール開催1~4日目(2コート)



バスケットボール		
No.	施設名	称
A	TO・戦評・SS	席
B	選手	席
C	来賓・競技役員	席
D	競技役員・審判員	席
E	視察役員・報道員	席
F	救護員	席
G	放送	席
H	コートキーパー	席
J	競技役員	席

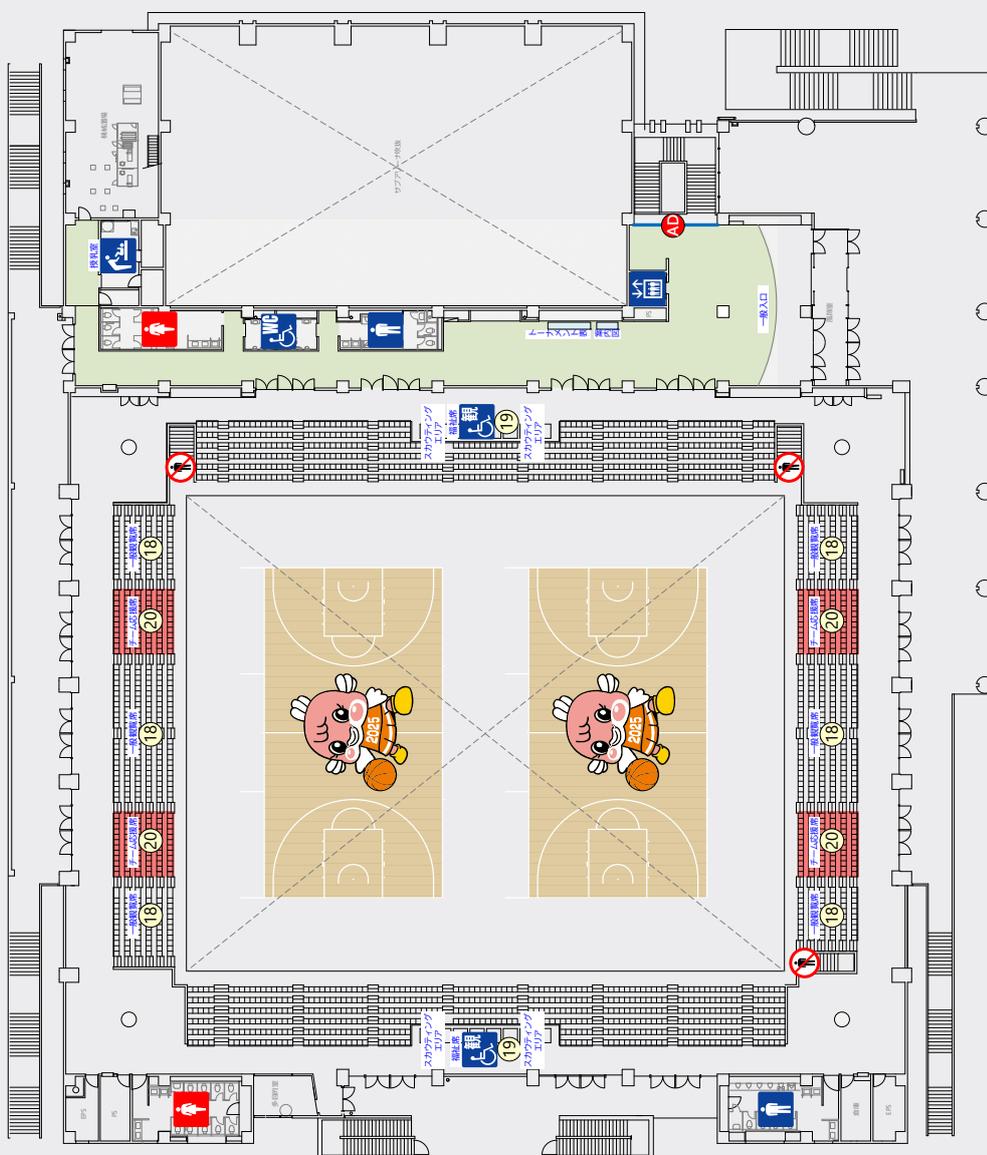
共通施設		
No.	施設名	称
1	競技役員	控室
2	競技記録	本部
3	来賓	控室
4	TO業務	控室
5	審判員	控室
6	実施本部・競技係員	控室
7	Aチーム	更衣室
8	Bチーム	更衣室
9	弁当引換	所
10	審判更衣	室
11	受付	室
12	救護	室
13	ドリンクコーナー	(関係者)
14	選手	控室
15	アップ・クールダウン	エリア
16	競技補助員	控室
17	スポーツ推進委員・ボランティア	
18	一般観覧	席
19	福祉	席
20	チーム応援	席
21	視察役員・報道員	控室





YMIT アリーナ 会場案内図

バスケットボール開催1~4日目(2コート)



共通施設		施設名称	室名
No.	1	競技役員控室	控室
2	2	競技記録本部	本部
3	3	来賓控室	控室
4	4	TO業務室	業務室
5	5	審判員控室	控室
6	6	実施本部・競技係員控室	控室
7	7	Aチーム更衣室	更衣室
8	8	Bチーム更衣室	更衣室
9	9	弁当引換所	所
10	10	審判更衣室	更衣室
11	11	受付	付
12	12	救護	室
13	13	ドリンクコーナー(関係者)	コーナー
14	14	選手控室	控室
15	15	アップ・クールダウンエリア	エリア
16	16	競技補助員控室	控室
17	17	スポーツ推進委員・ボランティア	席
18	18	一般観覧席	席
19	19	福祉社	席
20	20	子ども応援席	席
21	21	視察員・報道員控室	控室



YMITアリーナ 会場案内図

バスケットボール最終日(センターコート)



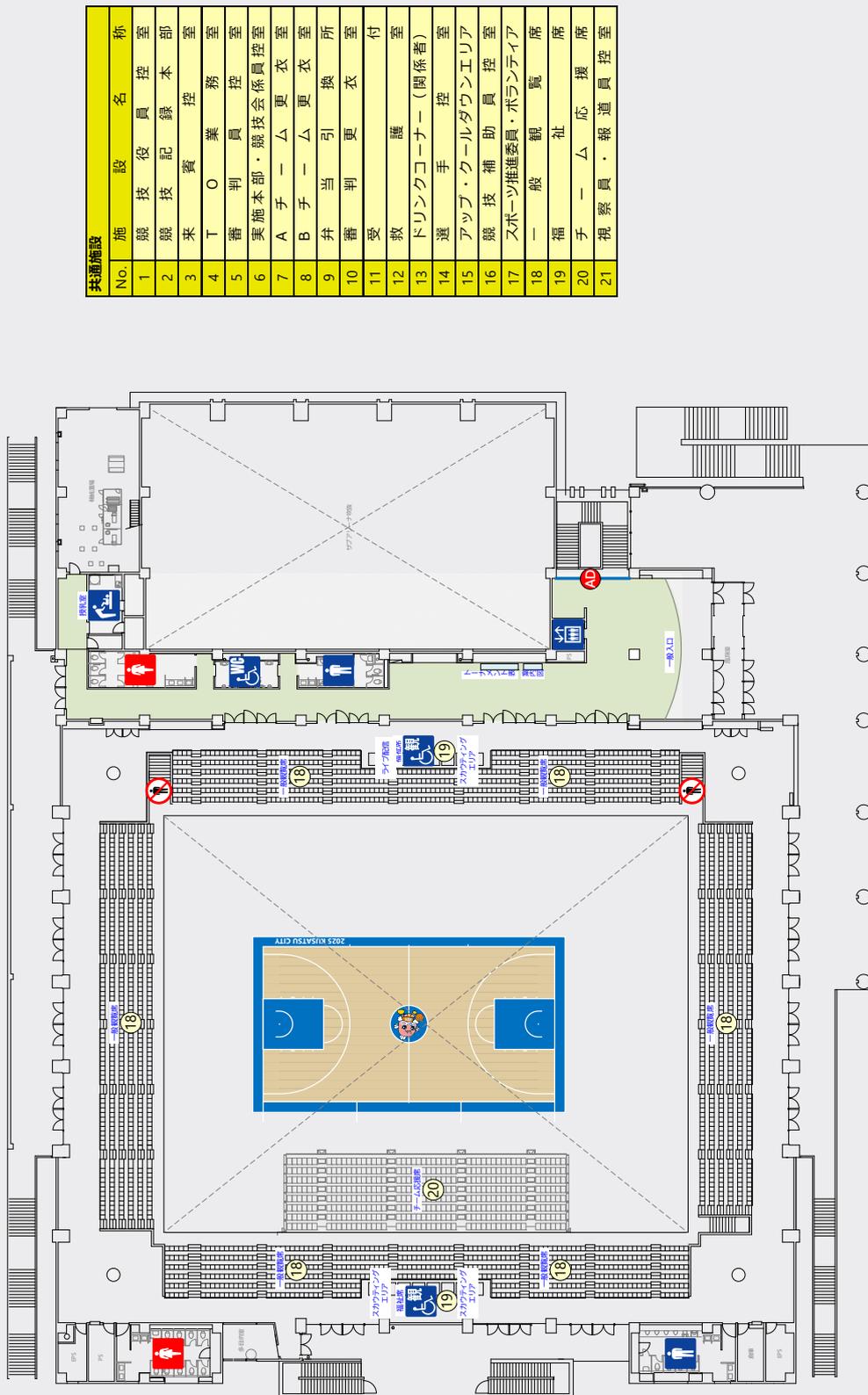
バスケットボール		
No.	施設名	称
A	TO・戦評・SS	席
B	選手	席
C	来賓・競技役員	席
D	競技役員・審判員	席
E	視察役員・報道員	席
F	救護	席
G	コートキーパー	席
H	コートキーパー	席
J	競技役員	席

共通施設		
No.	施設名	称
1	競技役員	控室
2	競技記録	本部
3	来賓	控室
4	TO業	務控室
5	審判員	控室
6	実施本部・競技係	係員控室
7	Aチーム	更衣室
8	Bチーム	更衣室
9	弁当	引換所
10	審判	更衣室
11	受付	控室
12	救護	控室
13	ドリンクコーナー	(関係者)
14	選手	控室
15	アップ・クール	ダウンエリア
16	競技補助員	控室
17	スポーツ推進委員・	ボランティア
18	一般	観覧席
19	福祉	社席
20	チーム	応援席
21	視察役員	報道員控室



YMITアリーナ 会場案内図

バスケットボール最終日(センターコート)

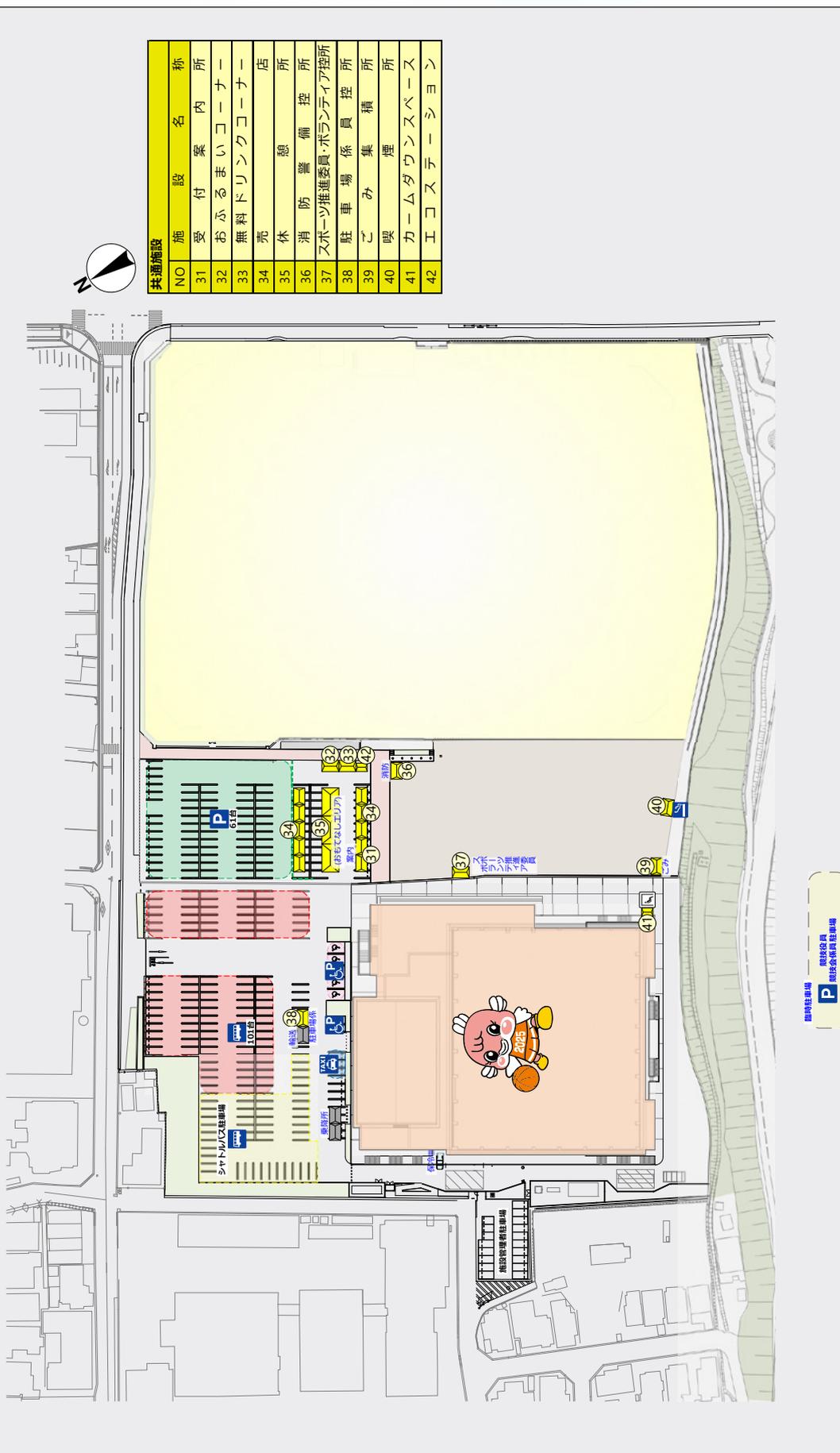


共通施設		施設名称	室名
No.	1	競技役員控室	
	2	競技記録本部	
	3	来賓控室	
	4	TO業務控室	
	5	審判員控室	
	6	実施本部・競技係員控室	
	7	Aチーム更衣室	
	8	Bチーム更衣室	
	9	弁当引換所	
	10	審判更衣室	
	11	受付	
	12	救護	
	13	ドリンクコーナー(関係者)	
	14	選手控室	
	15	アップ・クールダウンエリア	
	16	競技補助員控室	
	17	スポーツ推進委員・ボランティア	
	18	一般観覧席	
	19	福祉席	
	20	子ども応援席	
	21	視察員・報道員控室	



YMITアリーナ 会場案内図

バスケットボール



共通施設		
NO	施設名	場所
31	受付案内コーナー	
32	おふるまいコーナー	
33	無料ドリンクコーナー	
34	売店	
35	休憩所	
36	消防警備所	
37	スポーツ推進委員・ボランティア控所	
38	駐車場係員控所	
39	ごみ集積所	
40	喫煙所	
41	カームダウンスペース	
42	エコステーション	



関係機関連絡先一覧

【事務局】

名称	所在地	電話番号
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ大津市 実行委員会事務局	大津市石場 10 番 53 号	077-528-2919
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ野洲市 実行委員会事務局	野洲市小篠原 2100 番地 1	077-587-8813
わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ草津市 実行委員会事務局	草津市草津三丁目 13 番 30 号	077-561-1510

【競技会場】

名称	所在地	電話番号
滋賀ダイハツアリーナ（滋賀アリーナ）	大津市上田上中野町 779 番地	077-545-0108
野洲市総合体育館	野洲市富波甲 1339	077-587-3477
YMITアリーナ（くさつシティアリーナ）	草津市野村三丁目 3 番 27 号	077-563-1265

【警察・消防など】

分類	名称	所在地	電話番号
警 察	大津警察署（大津市会場エリア）	大津市打出浜 12 番 7 号	077-522-1234
	守山警察署（野洲市会場エリア）	守山市金森町 494 番地	077-583-0110
	草津警察署（草津市会場エリア）	草津市野村三丁目 1 番 11 号	077-563-0110
消 防 ・ 救 急	大津市消防局 東消防署	大津市大江四丁目 18 番 1 号	077-543-0119
	湖南広域消防局 東消防署	野洲市辻町 488 番地	077-587-1119
	湖南広域消防局 西消防署	草津市上笠町 477 番地 1	077-568-0119
保健所	大津市保健所	大津市浜大津四丁目 1-1	077-522-6756
	草津保健所（野洲市・草津市）	草津市草津三丁目 14-75	077-562-3526

【公共交通機関】

分類	名称	電話番号	
鉄 道	JR 西日本お客様センター	0570-00-2486	
バ ス	帝産湖南交通株式会社 田上営業所	077-549-1028	
タクシー	大津市	大津第一交通	0120-524-447
		滋賀ヤサカ自動車	077-522-6767
		琵琶湖タクシー	077-522-6677
		共立タクシー	077-579-2278
		湖西交通	077-577-1760
		滋賀エムケイ	077-526-4141
		光タクシー	0120-077-586・077-587-3366
	野洲市	近江タクシー	077-582-0106
		滋賀エムケイ	077-526-4141
		帝産タクシー滋賀	077-562-3022
	草津市	近江タクシー	077-582-0106
		桜タクシー	077-569-2655
		滋賀ヤサカ自動車	077-522-6767
		滋賀エムケイ	077-526-4141
		滋賀第一交通	0120-553-043
滋賀タクシー		077-553-1211	



挑戦者たちは越えようとする。
 記録を。ライバルを。自分自身を。
 過去の常識も。世界の価値観さえも。
 挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
 これまでも、そしてこれからも、
 わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
 スポーツの持つ様々な可能性で、
 望む未来へたどり着くために。



スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。



NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



『スポハラ』 根絶に向けた取組み



JSPPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち
スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りょうかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



JSPPO事業についてはこちら»»»JSPPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」



『スポハラ』根絶に向けた取り組み



グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

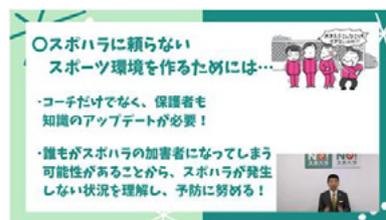


スポーツ現場におけるハラスメント防止動画・情報発信動画の公開

<スポーツ現場におけるハラスメント防止動画>



<「スポハラ」に関する情報発信動画>



ハラスメント防止・啓発セミナーの実施

<令和6（2024）年度の様子（計4会場で開催）>



「NO! スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

<過去開催した研修会等の動画公開>



<ポスター・ロゴ等広報ツール>



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組めます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 競技会場地マップ

2025年8月現在

高島市

- ウエイトリフティング
- ソフトボール
- 銃剣道
- 高等学校野球(軟式)
- 里湖で地域を結ぶウォーキング
- ソフトボール【知】

長浜市

- 水泳(オープンウォータースイミング)
- バレーボール(ビーチバレーボール)
- ソフトテニス
- 相撲
- 柔道
- ★ゲートボール
- ユニカール
- フットソフトボール【知】

彦根市

- 陸上競技
- ハンドボール
- 弓道
- なぎなた
- ボウリング
- △ひこねスーパーカラム
- 陸上競技【身・知】
- ボウリング【知】
- SOバドミントン

米原市

- ホッケー
- フットサル
- ユニホック

多賀町

- ★モルック

東近江市

- サッカー
- ボクシング
- 自転車(ロード・レース)
- 軟式野球
- ソフトボール
- カヌー(スプリント)
- ゴルフ
- △ネットでポンボイ
- グランドソフトボール【身】

近江八幡市

- バレーボール(6人制)
- ハンドボール
- 軟式野球
- トライアスロン
- ★綱引
- △ウォーキング
- バレーボール【身】

愛荘町

- アーチェリー
- アーチェリー【身】

野洲市

- バスケットボール
- 卓球
- ラグビーフットボール
- ★武術太極拳
- △スポーツ鬼ごっこ
- △マリンスポーツフェスティバル
- 卓球【身・知・精】
- (サウンドテーブルテニス【身】含む)

守山市

- サッカー
- バレーボール(6人制)
- 軟式野球
- ソフトボール
- ★エアロビク
- △選歴軟式野球
- △ミックスバレーボール
- サッカー【知】
- ★ゴールボール

甲賀市

- サッカー
- 軟式野球
- ゴルフ
- ★パワースタッフ
- △カローリング
- △ソフトバレーボール
- フライングディスク【身・知】
- ポッチャ【身】

栗東市

- レスリング
- ゴルフ
- ★パワーリフティング
- △スポーツチャンバラ
- △スローイングピンゴ
- △ビリヤード
- ★卓球パレー

草津市

- 水泳(競泳)
- 水泳(飛込)
- 水泳(水球)
- 水泳(アーティスティックスイミング)
- バレーボール(6人制)
- バスケットボール
- 軟式野球
- ソフトボール
- ★バウンドテニス
- △インディアカ
- △スポーツウエルネス吹矢
- △ノルディック・ウォーク
- 水泳【身・知】
- バレーボール【精】

甲賀市

- バスケットボール
- 卓球
- ラグビーフットボール
- ★武術太極拳
- △スポーツ鬼ごっこ
- △マリンスポーツフェスティバル
- 卓球【身・知・精】
- (サウンドテーブルテニス【身】含む)

日野町

- 軟式野球

野洲市

- バスケットボール
- 卓球
- ラグビーフットボール
- ★武術太極拳
- △スポーツ鬼ごっこ
- △マリンスポーツフェスティバル
- 卓球【身・知・精】
- (サウンドテーブルテニス【身】含む)

湖南省

- 剣道
- △ウォーキングフットボール
- △キンボールスポーツレクリエーション
- バレーボール【知】

大津市

- サッカー
- テニス
- ローイング
- 体操(競技)
- 体操(新体操)
- 体操(トランポリン)
- バスケットボール
- セーリング
- フェンシング
- バドミントン
- ライフル射撃(25m)
- カヌー(スラローム、ワイルドウォーター)
- 空手道
- ★高等学校野球(硬式)
- △小倉百人一首競技かるた
- △スポーツ拳法
- △スリースマイルゴルフ
- △ラジオ体操第3(初代・二代目)
- バスケットボール【知】
- 車いすバスケットボール【身】
- ★スポーツウエルネス吹矢

- 国民スポーツ大会**
- 正式競技(37競技)
 - 特別競技(1競技)
 - 公開競技(7競技)
 - デモンストラレーションスポーツ(26競技)
- 全国障害者スポーツ大会**
- 正式競技(14競技)
 - オープン競技(4競技)
- [身] = 身体障害者 [知] = 知的障害者 [精] = 精神障害者
- ※国スポ競技会の詳細については各競技会場市町にお問合せください。
※所在地と運営準備市町が異なる場合があります。

県外開催競技

<p>京都府 向日市</p> <p>自転車(トラック・レース)</p>	<p>大阪府 豊能郡能勢町</p> <p>ライフル射撃(50m、10m、BR・BP)</p>	<p>兵庫県 三木市</p> <p>馬術</p>
-------------------------------------	--	--------------------------

びわこ国体・びわこ大会から44年ぶりの開催!

- 国スポ実施期間** 令和7年 9月28日(日)~10月8日(水) [11日間開催]
- 国スポ会期前実施競技** 令和7年9月6日(土)~9月15日(月)、令和7年9月21日(日)~9月25日(木)
- 障スポ実施期間** 令和7年10月25日(土)~10月27日(月) [3日間開催]

大会PR 動画を公開!

さらなる高みを目指して、日々努力するアスリートの姿を臨場感あふれる競技音と合わせてご覧ください。

大会公式SNS・HPはコチラから! [滋賀2025](#) [検索](#)

2024年から国民体育大会(国体)は、国民スポーツ大会(国スポ)に名称変更されました。

Instagram

X

大会HP

湖国の感動 未来へつなぐ



わたSHIGA輝く国スポ

第79回国民スポーツ大会

2025



バスケットボール競技会

国スポの観覧・観戦に関するお問い合わせ

わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ実行委員会 大会お問い合わせ窓口

コールセンター：0120-550-882 (9:00 ~ 18:00)

競技・記録結果について



PC・スマホ

URL : <https://kirokukensaku.net/5NS25/index.html>



フィーチャーフォン (ガラケー)

URL : <https://kirokukensaku.net/5NS25/mob/index.html>



2026年は青森県で開催!

青の煌めきあおもり国スポ

2026

翔ける未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会



バスケットボール競技 2026年10月15日(木)~10月19日(月)



八戸市 (成年男子)
いかずきんズ



十和田市 (少年男子)
駒松くん・駒桜ちゃん



むつ市 (成年女子)
むつ市 PR キャラクター
ムツシュ・ムチュラン1世
承認番号第 07006 号



三沢市 (少年女子)
ほきのすけ・ホッキーナちゃん